

第七十三回帝國議會
衆議院

國家總動員法案委員會會議錄(速記)第十二回

付託議案
國家總動員法案(政府提出)

會議

昭和十三年三月十一日(金曜日)午前十二時
十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小川郷太郎君

理事中村不二男君 理中豐田 豐吉君

理事中山 福藏君 理事西岡竹次郎君

理事宮脇 長吉君 理事篠原 義政君

理事井阪 豐光君 理事西尾 末廣君

作田高太郎君 齋藤 隆夫君

櫻井兵五郎君 古屋 慶隆君

増田 義一君 山本 厚三君

林 平馬君 眞鍋 儀十君

眞鍋 勝君 池田 秀雄君

小山 谷藏君 高橋壽太郎君

川崎末五郎君 長井 源君

河野 一郎君 小高長三郎君

泉 國三郎君 羽田武嗣郎君

濱田 國松君 板野 友造君

河上 哲太君 熊谷 直太君

植原悦二郎君 猪野毛利榮君

牧野 良三君 若宮 貞夫君

岩元榮次郎君 藤本 拾助君

山崎 常吉君 清瀬 一郎君

守屋 榮夫君 三輪 壽壯君

淺沼稻次郎君 今井 新造君

三田村武夫君 立川 平君

同日委員河野一郎君辭任ニ付其ノ補關トシ

テ立川平君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 公爵近衛 文麿君

外務大臣 廣田 弘毅君

海軍大臣 米内 光政君

司法大臣 鹽野 季彥君

陸軍大臣 杉山 元君

商工大臣 吉野 信次君

鐵道大臣 中島知久平君

文部大臣兼 侯爵木戸 幸一君

出席政府委員左ノ如シ

企畫院總裁 瀧 正雄君

企畫院次長 青木 一男君

企畫院部長 植村甲午郎君

企畫院部長 橫山 勇君

企畫院書記官 內田源兵衛君

內務參與官 木村 正義君

內務省警保局長 富田 健治君

陸軍政務次官 加藤久米四郎君

陸軍參與官 比佐 昌平君

陸軍中將 山脇 正隆君

海軍政務次官 一宮房治郎君

海軍參與官 岸田 正記君

海軍主計中將 村上 春一君

海軍少將 井上 成美君

海軍主計大佐 山本丑之助君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

司法省調查部長 井上 登君

文部政務次官 內ヶ崎作三郎君

文部參與官 池崎 忠孝君

文部省專門 學務局長 男爵山川 建君

文部省實業學務局長 小笠原豐光君

文部省社會教育局長 田中 重之君

文部省圖書局長 石井 忠純君

拓務參與官 伊禮 肇君

拓務省管理局長 棟居 俊一君

厚生政務次官 工藤 鐵男君

厚生次官 廣瀬 久忠君

厚生省警務局長 山本 芳治君

厚生省防務局長 高野 六郎君

厚生省勞働局長 成田 一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國家總動員法案(政府提出)

○小川委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス――

泉君

○泉委員 總理大臣が御見エニナリマセヌ

カラ、司法大臣ニ御同致シマス、私ハ與ヘ

ラレタ時間ヲ最モ有效ニ利用スル爲ニ、率

直簡單ニ質問致シマスルカラ、答辯モ率直

簡單ニ「イエス」「ノー」ノ程度デ願ヒタイ、

是ハ總理大臣ニ聽ク所デアリマスケレドモ、

國務大臣トシテ司法大臣ナリ、其他ノ方ド

ナタデモ宜シウゴザイマスカラ御聽キ致シ

マス、近時我國ノ一部ニハ、現下ノ非常時局

ハ、憲法制定當時ニ豫想シ得ザル時代ノ推

移ヲ來シテ居ルノデアルカラシテ、其非常

時局ニ對應スルニハ、憲法ノ改正モ亦已ム

ヲ得ズトナス者ガアルヤウデアリマスガ、

政府ハ、時局ハ憲法ヲ改正シナケレバナラナ

イ程緊迫シテ居ル、乃至ハ變遷シテ居ルト

御思ヒニナルカ、又ハ將來豫想シ得ラル、時

代ニ於テ、サウ云フコトガアリ得ルカ、ソ

レガ御伺シタイ一點、憲法ヲ無視スル、蹂

躐スル思想ト、政府ガ輔弼ノ責任ニ於テ、

憲法ノ改正ヲ奏請スルコトハ自ラ別箇ノ問

題デアリマスカラシテ、政府ハ輔弼ノ責任

ニ於テ、憲法ノ改正ヲ奏請スル意思ガアル

カ、ソレガ問ハントスルニ點、此點ニ付テ

御伺シマス

○鹽野國務大臣 左様ナ事ハ認メテ居リマセヌ、將來ノ事ニ付テハ……

○泉委員 直接憲法ガ改正セラレナイト致シマシテモ、又直接憲法ノ條規ニ違反セズト致シマシテモ、事實上結果ニ於テ憲法ノ改正、若クハ停止ト同様ノ效果ヲ生ズルコトハ、是レ即チ憲法ノ精神ニ反スルモノデアルト思ヒマスルガ、ソレニ對スル司法大臣ノ見解ハ如何

○鹽野國務大臣 憲法ヲ停止スルトカ、廢止スルトカ云フヤウナ考ハ、毫モアリマセヌ

○泉委員 考デハナイノデアリマス、事實上サウ云フ結果ヲ來サレ、バ、憲法ノ精神ニ反スルト思フガ如何

○鹽野國務大臣 サウ云フ結果ガ生ジヨウトハ、考ヘテ居リマセヌ

○泉委員 本法運用ノ結果ハ、憲法ノ停止又ハ改正同様ノ結果ヲ生ズルコトガアリ得ル、是ハ法的ニアリ得ルト思フノデアリマス、先ヅ長期戰等ニ於キマシテ、其國防上ニ必要ナルコトハ、殆ド委任セラレテ居ルノデアリマスカラ、議會ヲ召集致シマシテモ、之ニ附議スベキ立法事項ナルモノハ、事實上ニ於テハ殆ドアリ得ナイコトニナル、勿

論其他ニ豫算トカ何トカニ關係ハアリマセウケレドモ、事實上ニ於テハアリ得ナイコトデ、長期戰ニナッテ十年、二十年ト戰爭ガ續イタヤウナ場合ニ、先以テ議會ヲ召集シマシテモ、之ニ附議スベキ立法事項ハナイ、歳費ヲ貫テ歸シテ宜シト云フヤウナ、極端ニ想像スレバ、サウ云フ時代モ想像セラレルノデアリマス、ソレガ先ヅ第一憲法ノ停止ト同一效果ヲ生ズルノデアリマス、第二ニハ人的徵用ノ場合ニ於テ、衆議院議員ヲ徵用シ、樞密顧問官ヲ徵用シ、判檢事ヲ徵用スレバ、是ハ憲法上ノ機關ガ總倒レニナッテシマッテ、憲法ノ停止ニナリ得ル、更ニ又之ヲ政略的ニ考ヘマスレバ、詰リ平和ノ御詔勅ヲ仰イデ、戰ッテ居リマスル國トノ間ニ和ヲ講ジテ、平時ニ立還ル場合ニ、平時ニ立還ッテハ、尙ホ政略的ニ不可デアルトシテ、政略的ニ其事ヲ爲サズシテ、戰時時代ニ置イテ、ヤハリ同等ナ法律的效果ヲ引延バスコトモ、法的ニハ可能デアル、斯ウ云フ風ナ場合ヲ豫想シマスレバ、憲法ノ停止又ハ改正ト同等ノ效果ガ、本法ニ於テナシ得ラレルト思フガ、ソレガナシ得ナイト云フ法律的、條文的基礎ガアリマスルナラバ承リタイ

○鹽野國務大臣 本法ノ運用ノ結果ガ、憲

法ヲ停止スルト云フヤウナコトハナイト信

ジテ居リマス、尙ホ本法ガ制定セラレタ以上ニ於テ、議會ニ諮ル事柄ガ無クナル虞ハナイカト云フ趣意ノ御質問デアリマシタガ、本法ト雖モ將來戰ニ於ケル必要ナル事項ノ全部ヲ網羅シテ居ルモノトモ思ハレナイノデアリマシテ、將來持久戰等ノ場合ニ於キマシテハ、尙ホ他ノ事項ニシテ總動員上必要ナルモノ、若クハ其他ノ關係カラシテ、人民ノ權利義務ヲ束縛スル必要ノ起リマシタ際ニ、或ハ非常大權ニ據ル場合モアリマセウガ、又持久戰ノ爲ニ相當ノ時間的餘裕ノアル場合ニ於キマシテハ、之ヲ立法致ス爲ニ議會ノ協賛ヲ要求スルコトガアルト考ヘルノデアリマス、尙ホ議員其他相當ナル職務ニアル人ヲモ、徵用スルヤウナコトガアリハセヌカト云フ御趣意ノ御質問デアリマシタガ、此點ハ當然各種ノ必要ナル機關ノ働キヲ停メルト云フヤウナコトハ想像サレナイコトデアリマシテ、現在ニ於テハ兵役令等ニ餘人ヲ以テ代フベカラザル者ハ召集ヲ免除スルト云フヤウナ規定モアリマスルシ、左様ナコトハ常識的ニ考ヘマシテモ、本法ヲ運用スル場合ニ於キマシテ、左様ナ支障ヲ生ズルヤウナコトヲ考ヘテハ居ラナイノデアリマス

○泉委員 常識的ニハ私モサウ云フコトヲ豫想シナイノデアリマス、若シサウ云フコトガ常識的ニ豫想サレルト致シマスレバ、其場合ハ國家ノ破壞デアルカラ、ソレデ私ハ常識的ニハサウ云フコトハ勿論豫想シナイ、併シ本法ニ於テハ非常識的ニ出來テ居ルカラ、サウ云フコトガヤハリ爲シ得ル、ソレガ何等カ法的根據ニ於テ防ギ得ルカト云フコトヲ聽イテ居ルノデアリマス、私ハ本法ヲ提出スルト云フコトヲ先ヅ知ツタ場合ニ——國家總動員法ガ出ルト云フコトヲ聞イタ時ニ、國家總動員法ト云フモノハ、是非ナケレバナラスモノダト、斯ウ思ヒマシタ、更ニ今度ハ本法ヲ條文ニ就イテ一々見タ場合ニ、是ハ洵ニ危險ナ法律デアルト思ツタ、大變ナ法律デアルト思ツタ、更ニ讀ンデ行ッテ居リマス間ニ、私ハ是ハ面白い法律デアルト思ツタ、是ガ運用ノ仕様デハ、何デモ出來ル、之ヲ俺ニヤラシテ見タラト思ツタ、現在議院モ政府モ餘リ力ハ無イ、本法ガ通ツタナラバ其運用ヲ自分ニヤラシテ吳レタラ、思切ッテヤッテ見セルガト斯ウ思ツタ、又斯ウ云フ考ト云フモノハ、精神ガ法ヲ支配スルノデハナクテ、法ノ條文ガ精神ヲ支配スル、詰リ唯物辯證的ナモノデアリマシテ、逆效果ヲ及ボスモノデアアル、ソコ

デアリマス

デ制定スル場合ニハ、何ノ法律デモサウデ
ゴザイマス、暴力行爲等處罰ニ關スル件ト
云フ法律ガ通ル時ニハ、労働運動ヤ農民運
動ヲスル者ハ、團體ノ威力ヲ以テ云々ト云
フノデアリマスカラ、之ヲ以テ労働爭議ヤ
農民爭議ガ、取締ラレハシナイカト云フコ
トヲ憂ヘタ、併シ其時法ノ制定者ハ制定理
由トシテ、將來農民爭議ヤ労働爭議ニハ之
ヲ適用シナイト言ツタ、然ルニ焉ンゾ知ラ
ン、此法ガ制定サレタ場合ニ、其法律ニ依ッ
テ労働爭議デモ、農民爭議デモ取締ラレテ
居ルノデアリマス、又治安維持法ハ共產黨
シカ罰セラレナイト思ツタケレドモ、併シ今
度ハドノ程度ニ帝大ノ先生達ガ、共產黨ニ
關係シタカ分リマセヌケレドモ、ソレ等ノ
者ヤ、又本議院カラモ引張ラレタ人ガ澤山
アル、アノ條文ヲ廣義ニ解釋シテヤリマス
レバ、必シモ人民戰線バカリトハ限ラス、
政友會デモ民政黨デモ皆引括ラレルカモ知
レナイ、行政執行法ト云フ法律デモサウデ
アリマス、アノ行政執行法ニハ「泥酔者、
瘋癲者、自殺ヲ企ツル者」ト云フコトガア
リマスガ、吾々モ始終檢束サレタ組デアリ
マシテ、私ハ瘋癲者デモ、泥酔者デモナカッタ
ノデ、檢束セラレル時ニハ「自殺ヲ企ツル
者」ト云フノデヤラレタノデアリマス、才蔭

デ今迄保護サレテヤッテ來テ、議員ニモ出デ
來ラレルコトニナツタノデアリマスガ、兎
ニ角法律ト云フモノハ、制定サレル時ニハ
サウ云フコトヲ豫想シナクテモ、出テシマ
ヘバ、法ノ魅力ガ執行者ヲシテサウ云フコ
トヲ爲サシメルコトガアリ得ル、ソコデ私
ハソレヲ禁止スル法の根據ガアルカト云フ
コトヲ聞クノデス、常識的ニハサウ云フコ
トガアリ得ルコトヲ想像シマセヌガ、非常
識的ニ考ヘタ場合、ソレヲ禁止スル法の根
據ガアルカナイカト云フコトヲ聽キタイ
○鹽野國務大臣 法的根據ハ、勅令ノ内容
ニ定メラレルモノデアリマス
○泉委員 其勅令ハ私達ガ参加シテ出ス勅
令デナイ、ソコデ私ハ憂ヘル、兎ニ角此法
律ノ上ニハ、法的根據ガ無いモノデアルト
承ツテ置キマス
更ニ進ンデ本法案ハ憲法第十九條以下
ノ、臣民ノ權利義務ニ關スル立法事項ヲ、
命令ニ委任シテ定メントスルモノデアリマ
ス、法律的ノ私ノ信念ト致シマシテ、立法
事項ヲ命令ニ委任スルコトハ、憲法ガ法律
ヲ以テ定メルト云フ規定ニ拘ラス、其權限
ヲ分ツテ之ヲ命令ニ委任スルモノデアルトシ
テ、憲法ニ違反スルモノデアアル、斯様な法
的信念ヲ持ツテ居ル者デアリマスルガ、政府

ハ命令ニ立法事項ヲ委任スルノハ、憲法違
反デハナイト、先日來答辯サレテ居リマスガ、
其違反デナイト云フ憲法上ノ條文的根據ガ
アルカドウカ、其點承ツテ置キマス
○鹽野國務大臣 委任命令ガ立法デアルト
云フコトハ、理論上認メラレテ居ル所デア
リマス、尙ホ先程言葉ガ漏レマシタガ、微
用スベキ人ニ對スル制限ニ付キマシテハ、
勅令ニ規定スルバカリデナク、本法第一條
ニ既ニ總動員上必要アル時ハト云フ目的ヲ
掲ゲデアリマスルカラ、ソレニ於テモ斯様
ナ御疑念ハナクナルコト考ヘマス
○泉委員 只今ノ答辯デハ、理論上ハ委任
命令ガ憲法違反デアルト云フコトモ立チ得
ル、斯ウ云フ風ナ御説デアッタト承ツテ居リ
マス、ソコデ政府ハソレニ據ルベキ前例ガ
アル、斯ウ先日來言ハレテ居ルノデアリマ
スルガ、成程小部分ニ付テハ委任シタ前例
ガアルノデアリマス、今回ノ如ク一切ヲ舉
ゲテ委任シタ前例ハナイ、私ハ小部分ノモ
ノデモ之ヲ命令ニ委任スルト云フコトハ、
純法理論カラ言ツテモ憲法違反デアアル、斯
ウ思フノデアリマスガ、今マデ委任シタ部
分ハ甚ダ小部分デアリマスカラ、謂ハハ是
ハ微罪不檢舉ノ部分ニ屬スル、所ガ今度ノ
ハ殆ド大部分ヲ委任スルノデアリマスカラ、

是ハ微罪デハナイ重罪ノ部分ニ屬スルト思
フ、一厘事件ノ如キモノモ、理論上ハ米
一粒ヲ取ツテモ竊盜罪デアリマスケレドモ、
是ハ罰シナイノガ普通デス、犯罪ヲ構成シ
ナイト見ルノガ普通デアリマスケレドモ、
ソレガ全部ヲ委任スルト云フ場合、ソレガ
憲法違反デナイト云フ譯ニハ私ハ行カナ
イと思フ、例ヲ申上ゲテ甚ダ失禮デアリマ
スケレドモ、「日本臣民ハ法律ニ依ルニ非スシ
テ逮捕監禁審問處罰ヲ受クルコトナシ」斯ウ
云フヤウナ規定ガアル、其規定ガアル爲ニ、
一切ノ刑罰法令、刑法ノ如キ大法令ガ出テ
居ル、サウ云フ場合ニ命令ニ委任シテ、不
正ナル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ死刑以下
ノ罪ニ處分スルコトヲ得ルト定メテ、ソレ
デ其委任命令ガ憲法ニ違反シナイト云フ風
ニ御考ニナルカ、此點承ツテ置キタイ
○鹽野國務大臣 委任命令ハ法理上憲法違
反ニアラズト申上ゲテ居ルノデアリマシテ、
其根據ハ法律ニ依ツテ臣民ニ義務ヲ負ハセ
ル、其義務ヲ負ハシタル法律ヲ根據ト致シ
マシテ、其義務ノ範圍内ニ於テ、細カイ規
定ヲ勅令ニ讓ル、命令ニ讓ルト云フ程度ニ
於キマシテ、委任命令ハ適法デアアル、斯ウ
申上ゲルノデアリマス
○泉委員 假ニ憲法ニ違反シナイトシテモ、

憲法ノ精神ニハ反スルト思フ、是ハ法理論

デハナクシテ政治論デス、憲法ノ制定者ガ是ダケノコトハオ前達ハ法律ヲ以テ作レ、斯ウ命ジテ居ルノニ拘ラズ、ソレヲ法律ヲ以テ作ラナイデ、命令ヲ以テ作ル、是ハ政治論のニハ憲法ノ精神ニ反スルト思ヒマスガ、其點如何デアリマスカ

○鹽野國務大臣 法律ヲ以テ定メテアル範圍内ニ於テアルノデアリマスカラ、決シテ違憲デハナイト考ヘマス

○小川委員長 泉君、發言セラレル時分ニハ委員長ニ發言ヲ求メテカラ御願シマス

○泉委員 承知シマシタ——立法事項ヲ命令ニ委任スルモシナイモ、立法ハ獨自ノ立場ニ於テ之ヲ決スベキモノデアリマスカラ、法理論トシテハ立法事項ヲ命令ニ委任シナケレバナラナイト云フ義務ハ無論ナイ、隨テ議會ガ命令ニ委任ヲシナイト云ッテ、法理上ニ於テ何等ノ責任ヲ負フベキ筋合デハナイ、是ハ當然過ギル程當然ナコトデアッテ、聽クダケ野暮ナコトダト思ヒマスルケレドモ、一應此點ニ付テ所信ヲ質シテ置キマス、議會ガ立法事項ヲ命令ニ委任シナイトシテモ、法律上ソレハ當然爲スベキコトヲ爲シタダケノコトデアル、是ハ法理論的ノコトデア

○鹽野國務大臣 御説ノ通りデアリマス

○泉委員 諒承致シマシタ、更ニ國家總動員法第一條ニ所謂「戰爭ニ準ズベキ事變」ト云フコトガアリマスルガ、現ニ起ッテ居ル支那事變ハ、本法第一條ノ、所謂戰爭ニ準ズベキ事變デアルカ否カ、其點承ッテ置キマス

○鹽野國務大臣 本法第一條ノ「事變」ニ當ルモノト考ヘマス

○泉委員 サウスルト是ハ平時規定バカリデナク、全部ガ議會通過ト同時ニ、全效果ヲ生ズルモノデアル、斯ウ承ッテ宜イノデスネ

○鹽野國務大臣 通過ト共ニ直チニ效力ヲ發シナイノデアリマシテ、一應公布シテ施行期ヲ定メル、ソレニ應ズル勅令ヲ決メマシテ、是ガ實際ニ働キヲ始メルノハ餘程後デアリマス

○泉委員 勿論公布ヤ何カガナクシテ、效力ヲ生ズルトハ私モ思ッテ居リマセス、其點ハソコ迄言ッタノデハナイノデアリマス、詰リ委任勅令ハ、政府ノ言フ所ニ依リマスレバ、將來事態ガ様々ニ變化スル、其變化ニ對應スル爲ニハ、今成文化シ得ナイ部分ガ多々アルノミナラズ、軍機ニ關スル部分モアルノデ、成文化シナイ部分モ多々アル、斯ウ云フヤウナコトヲ言ハレタヤウニ思ッ

テ居ルノデアリマスルガ、勅令ガ公布セラレルモノデアリマスルカラ、假令戰時ト雖モ、軍ノ機密ニ關スルコトヲ發表シ得ザル場合ガアリ得ルト思フノデアリマス、公布スル勅令ノ中ニ〇〇トカ××ト書ケナイ所モアリマセウカラ、サウ致シマスルト、勅令其モノモ又更ニ具體化サセナイデ、例ヘバ軍ノ所要數ヲトカ、軍ノ希望スルモノヲトカ、サウ云フ抽象的ナ言葉ガ、其勅令ノ中ニモ必然出テ來ナケレバナラナイ、斯ウ云フヤウニモ考ヘラレルノデアリマス、又勅令ガ更ニ何等カノ命令ニ委任スルト云フ場合モ考ヘラレルノデアリマスルガ、ソレ等ニ對シテ御見解ハ如何デアリマスルカ

○鹽野國務大臣 勅令ハ全部公布致スモノデアリマスカラ、其内容ニ軍ノ機密ニ關スルコトハ出スベキモノデハナイノデアリマス、併ナガラ全部公布致シマスル事項ノ中ニモ、間接ニハ軍機ニ影響ノアルモノモ自然想像サレルノデアリマス、隨テ勅令ヲ公布致シマスル時期等ニ付テハ、餘程考慮シナケレバナラナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテアル積リデアリマス

○泉委員 何レニ致シマシテモ、勅令ノ中ニ軍ノ機密ニ關スルコトハ規定出來ナイノデアリマスカラ、ソコニヤハリ勅令ト云ッ

タモノモ、例ヘバ物資ニ關シテモ品等、數量ノ如キモノハ、勅令ニ出テ來ナイト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニ之ヲ國民ガ知ルニ由ナイ、ドノ位ノモノヲドウサレルカト云フコトヲ、豫メ知ルコトガ出來ナイ、非常ニ疑惑ヲ生ジテ來マス、ソコデ第三十二條或ハ第三十三條ノ如キ罰則ハ、例ヘバ政府ノ命令シタモノニ對シテ、之ニ違反シタト云フヤウナ場合ヲ罰セラレルノハ已ムラ得マセス、命ジタコトニ背イタト云フトキニハ已ムラ得マセスケレドモ、色々ノ罰則ノ中ニハ非常ニ嫌疑ヲ蒙リ易イモノガ出テ來ル、何ガ徵用サレルカ分ラナイ場合ニ、オ前ノ所カラ是ダケノモノヲ徵用スルカラ出セ、出セト云フ命令ガ下ッタニ拘ラズ出サナイ、之ヲ罰セラレルノハ差支ナイノデアリマスガ、實ハソレヲ豫メ知ルコトガ出來ナイカラ、オ前ノ所デ是ダケノモノヲ徵用スルカラ出セト言ッテ來タ時ニ、只今誰々ニ賣ッテシマヒマシタト云フコトガアリ得ル、サウスルト之ヲ妨ゲタルモノトシテ、命令ヲ拒ンダモノトノ疑ヲ以テ、直チニ檢舉サレル虞ガアル、是ハ洵ニ恐ロシイ結果ヲ惹起スルト思フノデアリマス、本人モ知ラナイサウ云フ疑惑ヲ蒙ル虞ガ是等ノ條文ニ出テ來ル、例ヘバ三十三條ノ四

ノ中ニ總動員物資ノ使用又ハ收用ヲ拒ミ」トアル、拒ンダノハ宜イ、又ハ忌避シタ者トカ云ツヤウナ嫌疑ヲ受ケル、ソレ等ニ付テ如何様ニ考ヘラレマスカ、私ハ是ハ運用次第ニ依ッテハ非常ニ危險ダト思フ

○鹽野國務大臣 御尋ノ問題ハ法ノ執行ニ關スルコトデアリマシテ、是ハ個々ノ事實ニ依ッテ決スベキモノデ、必シモ本法ノミノ問題デハナイノデアリマス、現在行ハレテ居リマスル法令ニ付キマシテモ、同様デアリマシテ、犯罪ノ構成ニ付キマシテハ、故意ガアルヤ否ヤト云フコトガ必要ナ點デアリマスルカラ、左様ナ御心配ハ不必要ト考ヘマス

○泉委員 勿論裁判ノ結果ニ依ッテ判定ガ出來ルデセウ、所ガ裁判ノ結果ガ先ニ來ルノデハナクテ檢舉サレタ後ニ來ル、ソレヲ私ハ憂ヘルノデアリマスガ、サウ云フ議論メイタコトハ私ハ追究シマセヌ、本法ノ第四條、第五條ニハ、人ヲ徵用スル場合ニ、之ニ給與ヲ爲スノ定ガナイノデアリマス、勿論資料トシテ戴キマシタモノニハ、勅令ニ於テ定ムルヤウナコトヲ書イテアルノデアリマスルガ、本法ニハ給與ニ關スルコトハナイ、所ガ物資ヲ徵用、使用、收益スル場合ニ之ヲ求償スル——損失ヲ補償スル規

定ハ、本法ノ中ニ澤山アルノデアリマス、私ハ是ハ立法ノ形態トシテ、甚ダ本末ヲ顛倒シタモノダト思フ、物ヲ徵用スル場合ニハ金ヲ拂フ、人ヲ連レテ行ク場合ノコトハ規定シテ置カナイ、是ハ人ヨリモ物ヲ大事ニスルト云フ甚シキ誤レル立法技術ダト思フ、ドチラモ勅令デ定メルナラバ、物ノ値段ヲ拂フ場合モ勅令デ定メル、物ノ値段ヲ拂フコトヲ法律デ定メルナラバ、人ニ對スル給與モ法律デ定メナクテハナラヌト思フ、私達ノ考デハ、國家ノ非常時局ニ際シテ、被徵用者ノ生活ヲ不安ナラシメナイデヤルト云フノデアッタラバ、物ナド沒收シタツテ差支ナイト思フ、人ヲ徵用スル、——一家ノ中心デアル人ヲ徵用スル場合ニハ相當ノコトヲシテ、其家族マデモ含メテ生活ヲ不安ナラシメザルコトヲシナクテハナラナイト思フ、併シ此立法ノ形式ハ、物ノ値段ヲ拂フコトハチヤント法律デ決メテ居テ、人ニ對スル補償ハ決メテ置カナイ、是ハ洵ニ誤レル思想ノ甚シイモノデアル、命ハヤルカラ金ダケハ助ケテ呉レト云フ、斯ウ云フ誤ッタ思想ナンドス、斯ウ云フ唯物史觀的ナ考デハ、私ハイカスト思フ、何故ニ物ヲ重シトシテ、人ヲ輕シトシタカ、其點ヲ承リタイ

○青木政府委員 第四條ノ徵用ノ規定ニ補償ノ條項ガアリマセヌノハ、決シテ物ヲ貴シトシテ、人ヲ輕シズル意味デハナク、寧ロ反對デアリマシテ、此徵用ノ義務ト云フノハ、兵役ノ義務ニ準ズルヤウナ重大ナル是ハ國家ニ對スル御奉公ノ精神デアリマスカラ、之ニ對シテ直チニ國家ガ金錢其他ノ物質的代償ヲ與ヘルト云フ立前ハ執ッテ居リマセヌ、併ナガラ總動員業務ニ從事セシムルコトニナリマスルト、其事業主ハ此義務ニ依ッテ利益ヲ得ルノデアリマスルカラ、其勞働ノ對價トシテ、事業主トノ間ニ御話ノ如キ給與ヲ爲スト云フ問題ガ起ッテ來マス、併シ本法ニ依ッテ直チニ國家ハ金錢其他ノ給與ヲ爲スコトハ、原則トシテ考ヘテ居リマセヌ

○泉委員 第二條八號ノ生産ノ中ニハ、農業ヲ含ムカドウカ承リタリ

○鹽野國務大臣 勿論入リマス

○泉委員 入ルトスレバ如何ナル形態ニ於テト云フコトヲ問ヒタイノデアリマスガ、ソレハモウ關係シテ居リマセヌカラ、私聽キマセヌ、第七條ニ損失補償ノナイノハドウ云フ譯デアルカ、ソレヲ私ハ御問ヒシタイノデアリマス、其他ノ部分ニハ大體ノ補償ガアル、勞働爭議ノ豫防解決ニ關シテ必

要ナル處分ヲ、サウ云フ時局ニ於テ爲サルコトハ尤モデアリマス、併シ後段ニ於キマシテ、作業所ノ閉鎖、作業若ハ勞務ノ中止ヲ命ズル、サウ云フ場合ニ何等ノ補償ナキハ如何ナル意味デアリマスカ、是ダモ長期間ニ亙ッテ作業所ノ閉鎖ナリ、作業若ハ勞務ノ中止ヲ命ゼラレル場合ガアルト思フ

○青木政府委員 第七條ニ依リマシテハ、作業所ノ閉鎖、作業若ハ勞務ノ中止ヲ制限若ハ禁止スルノデアリマスカラ、作業所ヲ閉デテハイケナイ、勞務ヲ止メテハイケナイト云フノデアリマスカラ、却テ仕事ヲ繼續サセル趣旨デ出來テ居ルノデアリマス

○泉委員 諒承シマシタ、第十四條ノ場合ニ於キマシテ、第十四條ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ鑛業權、砂鑛權及水ノ使用ニ關スル權利ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得ル規定デアリマスルガ、其使用收用ヲ拒ミ若クハ妨害シタ場合ニハ、ドウ云フ處置ヲ執ルノデス、絶對ニ使用ニ應ジナイ、物ヲ引渡サナイト云フヤウナ場合ハドウシマスカ

○青木政府委員 第十四條ノ鑛業權、砂鑛權及水ノ使用ニ關スル件ニ付キマシテハ、是ハ他ノ條項ニ於テ定メタ如キ制裁ヲ用ヒズトモ、政府ノ意思表示ニ依ッテ直チニ其使

用權が發生シ、又ハ所有權が移ルノデアリマシテ、他ノ強制規定ヲ必要トシナイ考デアリマス

○泉委員 是ハ不徹底ダと思フノデアリマスガ、他ノ場合ノ使用収益ヤ何カ拒ンダ場合ニハ罰則ガアル、併シ此規定ニハ罰則ガナイ、權利ハ移ツタ所デ——收用ノ場合ニハ權利ハ移リマセウ、收用ノ場合ニ實力ヲ以テ拒ンダトスレバドウスル、ソコニハ澤山ノ坑夫モ居リマス、オ前達ハ一步モ此處ヘ入ッデハイケナイト言ッテ拒ンダラドウシマスカ、實質上收用出來ナイコトニナル、是ハ立法上大缺陷ダと思フノダガ、サウナリマセヌカ

○青木政府委員 權利ノ實體ノ歸屬ニ付キマシテハ、先程私ノ申述べタ通りデアリマス、若シ實力ニ依ッテ防害其他ヲ致シマスルナラバ、是ハ別ノ問題ト致シマシテ、公務執行防害其他ノ一般法ニ依ッテ、適當ニ處理致シマス

○泉委員 甚ダ以テ奇怪ナ御答辯デアル、一切ノ國家總動員ノ爲ニ、罰則ヲ付シテマデ統制スル爲ニ出來タ法律ニ、サウ云フ場合ハ本法ニハ罰則ガナイカラ、刑法其他ノモノヲ引張り出シテ罰シヨウト云フノデアレバ、一向ソレデハ統制ニモ何ニモナラナ

イ、私ハ甚シク茲ニ缺陷ガアルコトヲ認識シマシテ、其點ハ其位ニシテ置キマス
次ニ第四條、第五條ヲ比較シマシテ、

第四條ノ徵用ニ應ジナイ場合ニハ一年ノ懲役ニ處スルトアルガ、第五條ノ協力シナイ場合ニハ罰則規定ガナイヤウデアリマス——私ノ見落シカ知ラヌケレドモ、是ハ徵用モ協力モ部分的ト全的ト差ハアリマスルケレドモ、結局五十歩百歩デアリマス、此五條ニ依ル協力シナイ場合ニハ方法ガナイ、ドウスル、人間ハ自由ナモノデアリマスカラ、協力シナイト云フ場合ニハ、ドウスルノデアリマスカ

○青木政府委員 協力ノ方ハ現在實行致シテ居リマスル例ト致シマシテハ、防空演習其他デモ御承知ノ通りデアリマスガ、是ハ本務ノ傍ラ、警備トカ或ハ衛生トカ其他ノ仕事ニ手傳ッテ貰フト云フ趣旨ノ規定デアリマシテ、此程度ノモノニ罰則ヲ以テ臨ムコトハ適當デナイ、ヤハリ協力ヲ求メルト云フ德義的ノ問題デ適當デアラウト、斯ウ考ヘタ次第デアリマス

○泉委員 〇私ハ罰則ヲ附ケテ呉レト言フノデハナイガ、四條ト對比シテ見テ五條ニ罰則ヲ附ケナケレバ、四條ノ一年ハ重過ギルト云フコトニナル、是ハ徵用スルトハ違ヒ

マシテモ、何處其處ニ爆彈ガ落ちタカラ、或ハ火災ガ起ツタカラ、消防組モ、青年團モ集マレト言ッテモ、誰モ集マラナイト云ツタ場合ニ——サウ云フ場合ハ豫想シマセヌケレドモ、集マラナイデモ、オ前達ハ良心ガナイカラ仕方ガナイ、斯ウ云フコトニナッデシマフ、私ハ是ヤ其他ノ十四條等ヲ見マスルト、

立法技術ガ洵ニ拙劣デアルト云フコトヲ言フノデアル、立法事項ノ全部ヲ命令ニ委任スル所以ハ、政府ガ今マデ説明シタ所ニ依リマスレバ、將來其情勢ヲ豫想スルコトガ出來ナイ、戰ノ場合ニハ情勢ガ千變萬化デアル、ソレヲ固定シタ法律デハ到底處理出來ナイ、斯ウ云フコトヲ説明シテ居ラレルノデアリマス、尤モ私ト致シマシテモ、全部ヲ成文化スルト云フコトハ、是ハ立法技術ノ上カラ見デモ、不能デハナイトシテモ非常ニ至難ナ業デアルト云フコトダケハ認メルノデアリマス、併シ第四條ノ被徵用者ノ事業範圍トカ、免除事項トカ、順位トカ、給與、サウ云フコトハ豫知シ得ルコトデモアリ、成文化シ得ルコトデアリマス第五條ニ致シマシテモ、第十條ニ致シマシテモ、第十二條ニ致シマシテモ、成文化シ得ルコトデアリマス、一例ヲ申シマスナラバ、第十二條ニ於キマシテ「政府ハ戰時ニ際シ國家總

動員上必要アルトキハ總動員業務タル事業ヲ營ム會社ノ當該事業ニ屬スル設備ノ費用ニ充ツル爲ノ社債ノ募集又ハ資本ノ増加ニ付商法第二百條又ハ第二百十條ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得」トアリマス、商法第二百條又ハ第二百十條ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得」トアルカラ、國民ガ不安ノ念ヲ懷クノデアル、是ハ勅令デナクテモ直グ書ケルノデアル、商法第二百條又ハ第二百十條ノ規定ト云フモノハ、サウ大シタ規定デハナイ、此處ニ持ッテ來テ、「當該事業ニ屬スル設備ノ使用ニ充ツル爲拂込ミタル株金額ヲ超ユル社債ノ募集又ハ株金全額拂込前ニ於ケル資本ノ増加ヲ爲サシムルコトヲ得」ト書ケバ、勅令ニ何モ讓ラナイデ法律ニナルノデアル、或ハ是ダケデ不足ト致シマシテモ、立法技術カラ言ッテ不能デナイコトガ澤山アル、可能ナ部分ヲアナタ方ガ誠意ヲ盡シテ、後ノ立法技術上不可能ナ部分ヲ、勅令ニ讓ッデ呉レト言フナラ、議會ト致シマシテモ其場合ハ已ムヲ得ナイトシテ贊成スルニ吝カデナイト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ簡單ナコトマデ勅令ヲ以テト云フコトニナッテ居リマスカラ、ドウ云フ勅令ガ出ルデアラウカト云フ不安ガアル、幾ラモサ

ウ云フ部分ガアルノデアリマスガ、其點如何デスカ

○青木政府委員 一應御尤モナ御尋ト思ヒマス、先般私ガ申上ゲマシタ如ク、只今御尋ノ如キ形デモ立法ガ出來ルノデアリマス、併ナガラ此第十二條ニ「勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得」ト書キマシタノハ、今御示シノ如キ案文デ書イテ置キマス、無制限ニ何十倍デモ何百倍デモ出セルコトニナリマス、ソレデハ濫ニ流レルコトガアリマスカラ、勅令ヲ以テ其限度ヲ定メタイト云フ趣旨デアリマス

○泉委員 時間ガナイカラ法律的ノコトハ其程度ニ止メテ、外務大臣ニ伺ヒマス、國家總動員法ヲ發動シ運用シナケレバナラナイ事態ガ發生シタ場合ニ於キマシテハ、國家總動員法ノ有無ニ拘ラズ、國ヲ擧ゲテ起チ上ラナケレバナラナイコトハ言フ迄モナイコトデアリマス、蓋シ是ハ當然ノコトニ屬スルノデアリマス、併ナガラ斯カル事態ハ國家ノ存立ニ於キマシテ、萬已ムヲ得ナイ事情デハアリマスルケレドモ、國家ノ存在上斷ジテ好マシキ事態デハナイノデアリマス、日本ハ東亞ノ安定勢力ヲ以テ任ジテ居ルノデアリマス、其東亞ノ安定勢力タル日本ハ、世界平和ノ爲ノ指導勢力トシテ

東亞百年ノ平和ノ確立ニ努力シナケレバナラナイモノデアリマス、世界ノ情勢如何ニ拘ラズ、世界列強ガ如何ニ日本ヲ揣摩臆測シ居ルニ拘ラズ、日本ハ其爲ニ努力シナケレバナラナイモノデアアル、國家總動員法ヲ發動スルガ如キ事態ハ、努メテ避ケナケレバナラナイモノデアアル、私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘル、率直ニ御尋致シマスガ、外務大臣ハ如何ニ御考ニナリマスカ

○廣田國務大臣 日本ノ國際的使命ハ、世界ノ平和維持ニアルト思フノデアリマス、東洋ニ於ケル我が使命ハ、東洋ノ平和ノ安定ヲ圖ルニアツタノデアリマス、今日ノ事件モ將來ニ於ケル永久ノ平和ノ基礎ヲ打立テル爲ニ致シテ居ルモノデアリマス、將來ニ於キマシテ、我國ノ國際情勢ヲ、出來ルダケ安固ニシテ參ルコトハ、當然ノコトデアアルノデアリマス、現在ノ事件ノ進展如何モ、相當警戒ヲシテ參ラナケレバナラスト思ヒマスガ、況ヤ其他ノ方面ニ於ケル外交ニ付テハ、十分慎重ニ處理シテ參ルベキデアルト存ズルノデアリマス

○泉委員 大體ニ於テ諒承シマシタ、日本ト獨逸ト伊太利トノ間ニ、防共協定ガ成立シテ居リ、是等ノ國トノ間ニ、理解アル友好關係ヲ保ッテ行クト云フコトハ、勿論現時

局カラ見テ必要デモアリ、斯クナケレバナラナイモノデアアルコトハ當然デアリマス、併シ其協定ノ有無ニ拘ラズ、ヤハリ現在ニ於キマシテハ、英米二大國ハ、世界ノ安定勢力デアルト、私ハ斯ウ信ジテ居リマス、隨テ我國ノ外交方針ト致シマシテハ、此安定勢力タル二大國トノ間ニ、ヤハリ協調ヲ保ッテ時局ニ處シテ行ク心構ガナケレバナラナイト、私ハ考ヘテ居リマス、勿論日本ノ希望スルガ如キ状態ニ於テ、英米ハ支那事變ヲ認識シテ居リマセヌ、却テ日本ノ希望セザル状態ニ於テ認識シテ居リマス、併シソレニモ拘ラズ、私ハ此間ニ協調ヲ保ッテ行ク爲ニ、努力スベキデアルト考ヘテ居リマス、外務大臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○廣田國務大臣 我が外交方針ハ先程述べマシタヤウニ、世界列強トノ關係ニ於テハ、平和維持ヲ以テ基礎ト致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ世界ニハ色々平和ヲ破壊スル勢力ガアルノデアリマス、今日ニ於テ其最モ大ナルモノハ、共產思想デアルト思フノデアリマス、隨テ此思想ヲ絶滅スル爲ニ、日本ハ獨逸、伊太利ト提携ヲ致シタノデアリマス、此提携ニハ世界各國總テ共產思想ヲ排撃スル國ヲ誘ッテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ我が外交ノ不偏的ノ

世界一般ニ及ボス外交方針デアアルノデアリマス、ソレハ防共ノ精神ニ基ク外交方針デアリマスガ、併ナガラ其外ニ於キマシテ世界各國、殊ニ日本ト利害關係ノ多イ國トノ間ニハ、ソレノ又其間ノ色々ノ關聯ニ依リマシテ國交維持、進シテ親善關係ノ樹立ニ進シテ參ラナケレバナラナイ、只今御述ニナリマシタ英米等歐羅巴ノ大國ハ、ソレニ屬スルト思フノデアリマス、是等ノ國トノ關係ニ於キマシテ、今日日本ガ極東ニ於テ執テ居リマス所ノ、此大使命ノ遂行ヲ理解スル國トハ、益々親善關係ガ増進シテ參ルト思フノデアリマス、若シ是ノ理解ヲマダ十分致シテナイ國ニハ、出來ルダケ其理解ヲ速カナラシムルヤウ努力シテ參ラナケレバナラスト思ヒマス、其結果我國トソレ等ノ國トノ關係ハ、一層親善ヲ加ヘテ參ルコトト存ズルノデアリマス

○泉委員 日本ガ現地解決、事件不擴大ノ立場ヲ一擲シテ、支那事變ノ爲ニ立ツタ所以ノモノハ、排日、抗日ノ蔣政權ヲ膺懲シテ、同時ニ共產勢力ノ東漸ヲ防止スルト云フコトニアツタコトハ、私ガ言フ迄モナイノデアリマスガ、熟シ事變ノ推移ヲ見マスルノニ、蔣政權ガ長期抗戰ノ態度ヲ執リ、其間ニ處シテ支那共產黨ノ周恩來トカ、朱德トカ、毛

澤東トカ云フ人達ノ勢力ト云フモノハ、現在抗日勢力トシテノ中心ヲ爲シテ、勢力ヲ伸長シテ居ルヤニ思ハレルノデアリマシテ、吾々ノ憂ヘマス所ハ、支那ノ共產化ヲ防グ爲ニ立ツ所ノ聖戦ガ、却テ支那ヲシテ共產化シハシナイカト云フコトヲ、非常ニ心配ノ對策ガアリマス、此點ヲ承ツテ置キマス

○廣田國務大臣 最近ノ内部ノ事情ハ、蔣介石政權ガ漢口ニ根據ヲ決メマシテ、對日持久戰ノ態度ヲ執ツテ居ルノデアリマス、其蔣介石ノ周圍ニハ、只今御述ニナリマシタ如キ共產黨系ノ分子ガ、相當活躍ヲ致シテ居ルノデアリマス、隨テ此勢力ト共產黨ニ反抗シテ居ル所ノ勢力トガ、互ニ蔣介石ノ周圍デ爭ツテ、内訌ヲ起シテ居ルノガ現状デアリマス、此間ニ立チマシテ、蔣介石ハドウ云フ思想ニ引摺ラレテ居ルカト申シマス、今日ノ事態デ共產黨分子ヲ全然排斥スルコトハ到底不可能デアリ、相當共產黨ニ引摺ラレテ居ル傾向ガアルノデアリマスガ、又一面共產主義ニ反抗スル勢力ハ、之ヲ牽制シテ居ルト云フ状態デ、殆ド自由意思ノ活動ノ出來ナイヤウナ事態ニ立ツテ居テ、若シ一方ノ説ニ從ヘバ、他方ノ反對ヲ受ケテ暗殺サレル虞ガアル、ドツチニ附クコトモ出

來ナイ、何レカ一方ニ附ケバ一方カラ暗殺サレルト云フヤウナ状態ニ立ツテ居リマスノデ、殆ド自暴自棄ノ状態デアルト思フノデアリマス、勿論日本ト致シマシテハ、蔣介石ノ從來ノ反日抗日ノ思想ト、共產黨ノ共產主義宣傳ノ思想、竝ニ日本ニ對スル反抗ノ思想トガ相俟ツテ、今日ノ漢口政府ノ中心勢力ヲ成シテ居ルト思フノデアリマス、是ハ日本トシテハ、共產主義ニ反對ノ方面ノ勢力ハ、徐々ニ蔣介石ノ方カラ引離シテ、日本ト到底兩立ノ出來ナイ政府ハ、自然壊滅ニ歸シテ行クヤウニ努力シテ參ラナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス

○泉委員 マダ聞キタイノデアリマスガ、時局ハ非常ニ重大デアリマスカラ、外交上誤リナキヲ期セラレタイト云フ希望ヲ述ベテ、外務大臣ニ對スル質問ヲ打切ツテ置キマス、更ニ私ハ總理大臣、陸軍大臣、海軍大臣ニ對スル質問ヲシタイト思ツタノデアリマスカ、私ノ與ヘラレタ時間ハ無クナリマシタカラ、私ハ自肅致シマシテ打切ツテ置キマス

○小川委員長 齋藤隆夫君

○齋藤委員 私ノ質問ハ主トシテ法制ニ關スルコトデアリマスカラ、大臣デモ政府委員デモ、ドナタデモ宜シウゴザイマスカラ、

極メテ簡單ニ御答願ヒマス、此法案ハ戰時ノ場合ト平時ノ場合デアリマスガ、戰時ノコトヲ規定シテ居リマスノハ第一條、第二條、第三條、是ハ總論デアリマスガ、第四條以下第二十條迄ノ條項ト憲法第二章トノ關係デアリマスガ、此中ニハ憲法第二章ニ關係ノアル條文ガ澤山アリマスシ、ナイ條文モアルヤウニ思フノデアリマスガ、政府ハドウ見テ居ラレマスカ、本法第四條カラ第二十條迄ノ條項ト憲法第二章ト照シテ、憲法第二章ノドノ條項ト關係ガアルカト云フコトヲ、極メテ簡單ニ御説明ヲ願ヒタイ

○鹽野國務大臣 御説ノヤウニ第四條カラ第二十條ハ、戰時ニ際シテ活動スル規定デゴザイマス、而シテ何レモ臣民ノ權利義務トシテ、憲法第二章ノ立法事項トシテ、保障セラレル所ニ當ルモノト考ヘテ居リマス

○齋藤委員 ソレデハ一寸御尋シマスルガ、第四條ト憲法第二章トハ、何處ガ關係ガアリマスカ

○青木政府委員 第四條ハ憲法第二章臣民ノ權利義務ニハ直接該當スルトハ申上兼ネマスガ、徵用ノ結果トシテ第二十二條ノ居住移轉ノ自由ニ間接ノ影響アルコトハ認メル次第デアリマス

○齋藤委員 帝國臣民ヲ徵用シテ、總動員

業務ニ從事セシメルコトガ、憲法二十二條ノ住居及ビ移轉ノ自由ノ條項ト關聯ヲ持ツテ居ルト云フ御見解ハ、少シ當ラヌヤウニ思ヒマスガ、適切ニ言フト、是ハ憲法上ノ立法事項デアリマスカ、立法事項デアリマセヌカ、ドウ御考デスカ

○青木政府委員 先程申上ゲマシタ如ク、間接ノ影響トシテ、憲法第二十二條ニ關聯ヲ持ツテ參リマスガ、直チニソレヲ目的トスルモノデアリマセヌカラ、狭イ意味デハ立法事項トハ申上ゲ兼ネマス、併シ法律ヲ以テスルコトヲ適當ト考ヘタ次第デアリマス

○齋藤委員 第五條ハ如何デスカ

○青木政府委員 第五條ハ立法事項ト考ヘテ居ラナイノデアリマス

○齋藤委員 第六條以下各條ニ付テ御説明ヲ願ヒマス

○青木政府委員 本法ヲ憲法第二章ニ對照致シマスレバ、先程申上ゲマシタ如ク、憲法第二十七條ノ所有權ノ關係ガ主ナルモノデアリマシテ、其他ハ第二十九條ノ言論著作等ノ關係ニ於テ、一部該當條文ガアルノデアリマスガ、其他ハ第二章ノ規定ニ直接關聯ヲ持タナイモノト考ヘテ居リマス

○齋藤委員 第六條及ビ第七條、是ハヤハリ別ニ憲法上ノ立法事項ト云フノデハナイ

ノデスカ

○青木政府委員 左様ニ考ヘテ居リマス

○齋藤委員 第八條、第九條、第十條、第十一條、第十二條、第十三條、第十四條、第十六條、はハヤハリ何レモ憲法二十七條ノ所有權カラ來テ居リマス

○青木政府委員 左様ニ考ヘテ居リマス

○齋藤委員 要スルニ第四條カラ第二十條マデノ大部分ハ、憲法第二章ニ關係ヲ持つト云フコトニナルノデアリマス

○青木政府委員 先程申上ゲマシタ如ク、所有權關係ノ關聯條文ガ、一番多イト思ヒマス

○齋藤委員 ソレカラ勅令ノ中ニ法律事項ヲ含シテ居ル勅令ト、法律事項ヲ含シテ居ラス、即チ法律ヲ執行スル爲ニ要スル勅令、即チ執行命令ト云フコトノ區別ガアリマスカ

○青木政府委員 本法ニ於テ勅令ノ定ムル所ニ依ルト云フ勅令ノ意味ハ、御説ノ如ク兩方含シテ居ルト考ヘテ居リマス

○齋藤委員 ドノ條項ノ勅令ハ立法事項バカリデアル、ドノ條項ノ勅令ハ執行命令バカリデアル、ドノ條項ノ勅令ハ立法事項ト執行命令ヲ含シテ居ルト云フ區別ガ立チマスカ

○青木政府委員 是ハ先般來屢、申上ゲマシタ通り、勅令ニ規定スベキ事項ノ内容ガ

マダハッキリ決ッテ居リマセヌカラ、此席ニ於テ分ケテ申上ゲルコトハ出來兼ネマス

○齋藤委員 此中ノ憲法第二章ニ規定セル條項ト關係ノアリマスル本案ノ條項デアリマス、其中ノ勅令即チ立法事項ヲ含シテ居

リマス勅令ハ、是ハ所謂憲法第三十一條ノ規定ニ依ッテ、法律ノ委任ヲ受ケナクテモ、大憲ノ獨立ニ依ッテ、自由ニ制定スルコトガ

出來ルト思ヒマスガ、ソレハ如何デスカ

○青木政府委員 先程御述ノアリマシタ如ク、施行令ニ關スル部分ハ、固ヨリ法律ノ委任ナクシテ出來ルコトナリマス

○齋藤委員 ソレハ分ッテ居リマスガ、立法事項ヲ含シテ居ル勅令ハ、第三十一條ノ大憲ノ發動ニ依ッテ、自由ニ出來ルコト思ヒマスガ、ソレハ如何デスカ

○青木政府委員 固ヨリ第三十一條ニ依ッテ出來ルト思ヒマス

○齋藤委員 出來ルナラバ別ニ法律ノ委任ハ要ラスシ、議會ノ干涉スベキコトデハナイト思ヒマスガ、如何デスカ

○青木政府委員 其點ハ政府カラ先般申上ゲマシタ如ク、三十一條ニ期待シテ放ッテ置クヨリハ、此際立法行政各般ノ手段ヲ盡

シテ、準備ヲスル方ガ宜シイト云フ見解カラ來ルノデアリマス

○齋藤委員 ソコヲ問ウテ居ルノデハナイノデス、戰時及ビ事變ニ當ッテ、憲法第二章ノ臣民ノ權利自由ヲ變更スルノハ、三十一條ノ大憲ノ作用ニ依ッテ出來ルノデアリマス

カ、是ハ法律ノ委任ヲ受ケナクテモ、議會ノ干涉ヲ受ケナクテモ、大憲ノ發動ニ依ッテ自由ニ出來ル、ソレヲ此立法事項ヲ勅令ニ讓ルガ爲ニ、議會ノ協贊ヲ經ルト云フノハ、

ドウ云フ譯カ、是ハ憲法ノ法理論ニナリマスカラ、御調ニナッテ居ルコト思ヒマスガ、此點ヲ明ニシテ載キタイト思ヒマス

○青木政府委員 三十一條ニ基イテ、勅令其他ノ方法ニ依ッテ、同ジ目的ガ達シナイト云フ意味デハナク、ソレハ適當デナイ、寧ロ今回政府ノ執ツタ處置ノ方ガ妥當デアアル、斯ウ云フ見解ヲ執ッテ居ルノデアリマス

○齋藤委員 ソレハ少シ間違ッテ居リハシマセヌカ、アナタ方ハ大權ノ發動ニ、二ツモ三ツモ種類ガアル、甲ノ大權ト乙ノ大權トアル、非常大權ト通常大權ガアル、斯ウ

云フ工合ニ考ヘテ居ルカモ知レマセヌガ、大權ハ一デアッテハナイ、如何ナル場合ニ於テモ勅令ノ即チ大權ノ發動ナンデス、憲法第三十一條ニ依ッテ、此場合ニ於テハ、此

大權ノ發動ニ依ッテ、自由自在ニ憲法第二章

ノ事項ヲ制限シ剝奪スルコトガ出來ルト思フ、此大權ノ發動ニ依ッテ、ドンナコトデモ

ナスコトガ出來ル、何モ議會ノ協贊ヲ經ナクテモ、法律ニ依ラヌデモ、大權ノ發動ニ依ッテ自由ニ出來ル、出來ルノミナラズ

ソレガ合法ナンデス、ソレヲ議會ガ干涉スルト云フ所ニ大權干犯ト云フ理由ガ出テ來タ、一體私ハ大權干犯ナドト云フコトハ、

憲法上ニ於テアルベキ筈ハナイト思フ、是マデモ屢、政治上ニ於テ、政黨内閣ハ大權ヲ干犯スルトカ、或ハ倫敦ノ軍縮會議ガ、天

皇ノ統帥大權ヲ干犯スルト云フ議論ガアリマシタケレドモ、ソレハ干犯デモ何デモナイ、私此法案ヲ見テ初メテ大權ノ干犯ニナリハセヌカト云フコトニ氣ガ付イテ來タ、詰リ 天皇ノ大權獨立ニ依ッテ、自由自在ニ

出來ルコトヲ、ソレヲ議會ガ干涉スル、法律ノ委任ヲ受ケルト云フ所ニ、大權ノ干犯ノ事實ガ現ハレテ來ルノデナイカ、斯ウ思ッテ

居ルノデアリマスカラ、其點ヲ餘程明ニセラレスト、此問題ヲ解決スルコトガ出來ヌヤウニ思ヒマスガ、ドウデスカ

○青木政府委員 其點ニ付キマシテハ、政府ノ見ル所ト若干御考ガ違フコトト思ヒマス、政府ハ三十一條ノ規定ニ依ッテ、勿論出

來得ルコトデハアルガ、是ハ從來ノ多數ノ
前例ニ倣ヒマシテ、議會ノ協賛ヲ經テ國權
發動ノ限界ヲ定メ、又其委任勅令ニ依ッテ其
時々必要ナル準則ヲ定メ、之ヲ國民ニ知ラ
セテ運用シテ行ク方ガ妥當デアル、斯ウ云
フ見解カラ來テ居ルノデアリマス

○齋藤委員 ソレナラ外ノ角度カラ行キマ
スト、若シ茲ニ勅令ノ定ムル所ニ依ルト云
フ文字ガナカッタト假定スル、此法律ニ憲法
第二章ニ依ル關聯條文ハ、勅令ノ定ムル所
ニ依ルト云フ文字ガナカッタナラバ、而シテ
此法律ヲ執行スルニ當ッテ、立法事項ヲ要ス
ルト云フ場合ニ當ッテハ、ソレハ大權ノ發動
タル勅令ニ依ッテ、此法律ノ不足ヲ補フコト
ガ出來マスカ

○青木政府委員 假ニ本法ノ規定ノ中カ
ラ、勅令ノ定ムル所ニ依ルト云フ字句ヲ
取ツタラ、其運用ハドウナルカト云フ御質問
ノヤウデアリマスガ、此場合ハ法律ニ依リ
マシテ目的、限界ハ定ッテ居リマスノデ、ソ
レヲ發動スル場合ニハ、直チニ行政處分其他
ノ行政權ノ發動デ出來ルコトモアリマシテ、
準則ナシデモ出來ルト云フコトモアリマス、
併ナガラソレデハ適當デナイノデアリマス
カラ、ヤハリ勅令デ規定ノ準則ヲ定メテヤッ
タ方ガ宜シカラウ、斯ウ云フ見解ヲ取ツタノ

デアリマス

○齋藤委員 勅令デ定メラレルコトニ異議
ハナイ、大權ノ發動ハ勅令ノ形式ニ依ル外
途ハナイノデスカラ、ソレデカラ勅令ノ定
ムル所ニ依ルト云フ文句ハナクテモ、ヤハ
リ此法律ヲ執行スルニ當ッテハ、法律事項ヲ
規定スル勅令ガ必要デアル、此法律ノ執行
ニ要スル執行命令ガ必要デアルト云フ場合
ニ於テハ、自由ニ勅令デモ其他ノ命令デモ
出セルノデアリマスカラ、勅令ノ定ムル所ニ
依ルト云フ文句ハナクテモ、此法律ヲ執行
セラル、ニ當ッテ、何等ノ差支ハナイ、斯ウ
思フノデスカ、ソコハドウデスカ

○青木政府委員 勅令ノ定ムル所ニ依ルト
云フ規定ガアリマセズデモ、國權ノ發動ニ
付キマシテハ、差支ナイモノモアルト思ヒ
マス、但シ是ハ當然施行令其他ニ依ッテ規
定スベキモノモアリマセウ、併ナガラ第三
十一條ノ大權ノ發動其他ニ仰ガズトモ、本
法ノ形デ運用ハ出來ルト思ヒマス

○齋藤委員 ソレハモウ少シ御研究ニナッ
タラドウカト思ヒマス、是ハ憲法上ノ非常
ニ大切な問題デアリマシテ、是マデノ立法
例ニハサウ云フ間違ッタコトハアリマセス、問
違ッテ居ルカ、間違ッテ居ナイカト云フコト
ハ斷言致シマセスガ、實ハ私ハ前ノ立法例

ニ於テ——サウ云フコトニ關係シタコトハ
ナイノデアリマシテ、此法案其モノハ極メ
テ重大問題デアル、憲法上ノ重大問題デア
ルト云フコトニ氣ガ付イタノデアリマス、
デアリマスルカラ能ク外ノ大學ノ憲法學者
トデモ御研究ニナッテ、誤ラヌヤウニセラレ
ルコトガ宜シイト思ヒマス、尤モ近頃ノ憲
法學者ハ、時代風潮ト云フカ何カ知リマセ
スガ、一種ノドウモ政府ノ學說ヲ擁護スル
ヤウナ妙ナ風ニ傾イテ居ッテ、學者ノ獨立ガ
有ルカ無イカ私ハ疑問ニ思ッテ居リマスル
ガ、是ハ非常ニ大切な問題デアリマスカラ、
能ク御研究ニナッテ、此委員會ガ終ル迄ニ、
更メテ御答辯ヲ願ヒタイ、ソレカラ私思ヒ
マスルニ、此法案中最モ重點トナッテ居リ
マスノハ、委任立法ノ範圍ガ廣イト云フコ
トナノデス、ソレデ若シ此勅令ノ定ムル所
ニ依ルト云フ文字ヲ、此文カラ除イタラ、
ドウ云フコトニナルカト申シマス、此法
律ヲ執行スルニ當ッテ、必要ナル法律ノ規定
ニ依ッテ、法律ヲ制定スルコトモ出來ル、又
ソレガ間ニ合ハネバ緊急勅令ト云フコトモ
出來ル、ソレデモ間ニ合ハネバ、大權ノ發
動ニ依ル勅令ニモ依ルトコトガ出來ルト云フ
コトデ、非常ニ政府ノ此法律ノ運用セラル、
方法ガ廣クナル、即チ法律デモヤレルシ、

緊急勅令デモヤレル、又三十一條ノ大權ノ
發動ニモ依ルトコトガ出來ル、政府ハ其時ノ
事情ニ應ジテ、議會ガ開ケテ居ルナラバ議
會ニモ諮ラレルガ宜シイシ、諮ル暇ガナイナ
ラバ緊急勅令ニ依ラレテモ宜シイシ、ソレ
ガ尙ホ都合ガ惡イト云フナラバ、三十一條
ノ大權發動ニ依レバ宜シイノデアッテ、政府
ハ委任命令トカ云フヤウナ責任カラスツカ
リ逃レテ、ソレコソ憲法ノ條規、憲法ノ精神
ニ則ッテ、サウシテ此法律ヲ活用セラル、ニ
少シモ差支ナイ、所謂一舉兩得ト云フヨリ
ガ此法律ヲ制定サレルニ當ッテ、最モ正シイ
途デハナイカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデ
アリマスルカラ、此點ヲ能ク御研究ニナル
ガ宜カラウト思ヒマス

ソレカラモウ一ツハ國家總動員法案ト現
行法令トノ關係一覽表ト云フモノヲ貫ヒマ
シタケレドモ、之ヲ對照シテ見マシテモ、
私等ニハ一寸分リマセヌカラ伺ヒタイト思
ヒマスガ、現行ノ法令ニ規定ナクシテ、此
法案ニ特ニ規定ノアルモノト云フノハドウ
云フモノデアリマスカ、ソレガ分リマスレ
バ大體御話ヲ承ッテ置キタイ

○青木政府委員 ソレハ大體先般對照表ヲ
御配付申上ゲタヤウニ考ヘテ居ルノデア

リマスガ……

○齋藤委員 此法文中戰時ニ關スル分ダケデ宜シ、ドノ條文ニ當ル譯デスカ、現行法ニ規定ガナクシテ、新シク此法律ニ規定セラレマシタ所ノ條文ニ、ドレガ當ルノデスカ

○内田政府委員 一口ニ現行法ト申シマシテモ、軍需工業動員法モアリマスシ、其他ノ事變關係ノ法文モゴザイマスノデ、色々複雑ニナルノデアリマスガ、假ニ軍需工業動員法ニ比較シテ御説明申上ゲマス、軍需工業動員法ニ比較致シマス、全然新シク入ッテ來タモノト申シマスノハ、第五條、第六條、第七條、第十一條、第十二條、第十四條、第十七條、第十八條、第十九條、第二十條、斯ウ云フコトニナリマス、其次ニ今申上ゲマシタ中デ、事變關係ノ臨時諸法律ニ於テ規定ヲ設ケマシタ以外、斯ウ云フコトニナリマス、多少複雑ニナリマシマスガ、第五條、第六條、第七條、斯ウ云フモノガ全然新シクアル譯デアリマス、ソレカラ第七條、第十四條、第十七條、第十八條、第十九條、第二十條、斯ウ云フ工合ニナッテ居リマス、ソレカラ更ニモウ一步突込ミマシテ、是等ノ全然新シク入リマシタ法律ノ規定ノ中デ、臨時諸法律デハナイガ、現行

法ニ於テ或ル程度規定ガアルモノ、例ヘバ第七條ト云フノハ全然新シク、軍需工業動員法ニモ規定ガナイ、其他事變關係ニモ規定ガナイト申シマシタガ、現行法ニ於テハ勞働爭議調停法デ、或ル程度一部のニハ之ニ關スル規定ガアル譯デアリマス、サウ云フコトニナリマス、今全然新シイト申シマシタコトモ、現行法ニ或ル程度アルト云フコトニナルノデアリマス、例ヘバモウ一ツ例ヲ舉ゲマスルト云フト、第十九條ニ於テ價格ニ關スル必要ナル命令ヲ爲スコトラ得トアル、是ハ軍需工業動員法ニモゴザイマスルシ、且又事變關係ニモ全然ナイト申シマシタガ、一部ニハアルノデアリマス、例ヘバ船舶管理法ニ其ノ製造若クハ賣買ノ價格、或ハ船舶ノ賃賃料ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトラ得ト、斯ウ云フ規定ガアリマス、ソレカラ尙ホ事變關係以外ノ諸法律ト致シマシテハ、例ヘバ商工省令トシテ出テ居リマス暴利取締令ニ、暴利ノ取締ニ付テノ規定ガゴザイマス、斯ウ云フヤウニ申シマスルト、非常ニ複雑ニナリマスルガ、大體軍需工業動員法竝ニ事變關係ノ諸法律ニ規定ノナイモノト云フノハ、十九條ヲ除イテ前申上ゲタヤウナ譯ニナル譯デアリマス

○齋藤委員 一體此國家總動員法ニハ、ドウ云フコトラ規定スルモノデアルカト云フコトハ、是ハ中々難カシイ問題デアラウト思ヒマスガ、第二條ノ總動員物資ト云フモノガアリ、第三條ニ總動員業務ト云フモノガ書イテアリマス、詰リ總動員法ノ對象トナルモノハ、總動員ノ物資トソレカラ總動員ノ業務、此二ツガ此法律ノ對象トナルベキモノデアアル、斯ウ思ッテ居リマスルガ、此見地カラ見マスルト第九條ノ輸出入ノ制限禁止トカ、或ハ輸出稅、輸入稅ヲ新シク取ルトカ、或ハ之ヲ増課減免スルトカ、第十一條ノ銀行ヤ會社ニ對シテ種々ノ制限ヲスルトカ、或ハ第十二條ノ條項トカ、斯ウ云フモノハ總動員法ノ支配下ニ置クト云フヨリカ、寧ロ是ハ一般行政ノ支配下ニ置クノガ適切デアルト思ヒマスガ、ドウデセウカ、是マデ輸入輸出統制ニ關スル云々トカ何トカ云フヤウナモノモ出テ居リマスガ、サウ云フヤウナ一般行政ノ見地カラ見テ、統制セラル、ノガ政策上至當デハナイカト思フノデアリマスルガ、ソレハドウデアリマスカ

○吉野國務大臣 今輸出入其他ノコトニ付テ御尋ガゴザイマシタカラ、便宜私カラ御答申上ゲマス、輸出入ノ禁止制限ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、御承知ノ通りニ極ク古イ時代ニハ、一般ノ行政命令デモヤレル、斯ウ云フ解釋ヲ取リマシテ、歐羅巴戰爭ノ時ニハ輸出入ノ禁止制限ハ、皆單純ナ省令デ以テヤリマシタコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレカラ段々ニソレハイカスト云フノデ、政府ニ於テモ其行政ノ慣例ヲ改メマシテ、最近デハ總テ立法ニ根據ヲ置クト云フコトニナッテ居リマス、サウシテ今御話ノアリマシタ通りニ、現在ノ貿易統制其他ノ法制ニ於キマシテモ、輸出入ノ禁止制限ト云フコトニ付テハ規定ガゴザイマスケレドモ、唯其目的ガ何レモ決ッテ居リマシテ、此總動員關係ノ如クニ、平和經濟カラ戰時經濟ニ「カーブ」ヲ切ルト云フ規定ハ、現在ノ法制ニハナイノデアリマス、ソコデ此總動員法ノ輸出入ノ禁止制限——文字ハ單純デアリマスケレドモ、總動員態勢ト云フコトラ考ヘル場合ニ、輸出入制限ノ内容ニナリマス、唯物ノ輸入ヲ止メル、輸出ヲ止メル、ソレヲ許可主義ニスル、其以外ニ例ヘバ大正年間ニモアリマシタヤウニ、對敵通商ノ關係デアリマス、サウ云フヤウナ色々ナ場合ガゴザイマスノデ、平時ノ商工省關係ノ立法ナリ行政ナリト云フモノトハ、角度ガ違ッタ關係ニ於テ、サウ云フ

ヤウナ輸出入ノ禁止制限ト云フモノニ付テ
ノ立法ガ必要ニナツテ來ル、サウ云フコトデ
ゴザイマスカラ、總動員ト云フモノニ於テ、

ドウシテモ戰時經濟ニ變ルト云フ時ニ於キ
マシテハ、特別ナ立法ガ今御話ノアリマシ
タヤウナ輸出入ノ禁止制限ニ付キマシテ
モ、必要デアルト考ヘテ居リマス

○齋藤委員 輸出入ニ關シテ特別ノ立法ガ

必要デアルト云フコトニ付テハ、誰モ異議
ガナイ、其點デハナイ、之ヲ總動員法ノ中

ニ規定スルコトガ適切デアルカナイカト云
フコトナノデアリマス、是ハ平時ト云ハ

ズ、戰時ト云ハズ、殊ニ戰時狀態ニナリマ
スト、軍事上ノ目的バカリデハナイ、一般

ノ政策上輸出入統制ヲヤルトカ、新シク税
ヲ課スルトカ、銀行會社ニ向ッテ種々ノ支配

權ノ發動ヲスルト云フコトハ、唯總動員ノ目
的バカリデハナイ、國家全體ノ上ニ、一般行

政ノ上ニ於テヤラレルコトガアルト思フ、又
ヤラナケレバナラヌト思フ、其處ノデス、特

ニ狹イ所ノ動員法ダケノ支配ニ置カズシテ、
國家一般ノ大所高所カラ見テ、國家ノ一般

政策ノ發動トシテヤラレルノガ至當デハナ
イカ、ソレガ爲ニ總動員法ノ施行ニ付テ、

苟且ニモ障礙ヲ與ヘルベキモノデハナイ、
此法トコチラト相俟ッテ運用ヲ滑カニスル

ト云フコトガ、國家ノ政策上必要デハナイ
カ、此點ナノデス

○吉野國務大臣 大體私モ同ジ考デゴザイ

マス、唯此總動員ト云フノハ、何カ軍需品
ノ動員ト云フヤウナ風ニ御考ニナリマス、

サウ云フヤウナ御考ガ出ルノデハナイカト

思ヒマスガ、詰リ總動員ト云フコトハ、軍
需品ノミナラズ、今御話ニナリマシタ戰時

經濟ノ體制下ニ於キマシテ、民需モ無論含
メテ、詰リ國民經濟ト云フモノノ全體ノ運

行ヲ滑ニシヨウ、斯ウ云フコトデゴザイマス、
要スルニ平時ノ場合ナラバ、平生ノ經濟ニ

關スル行政ト云フモノハ別ニゴザイマス、ケ
レドモ、戰時ニナリマスレバ、ソレガ總テ

戰時經濟體制ニナルノダト云フコトニ、スッ
カリ引括メテ私共ハ考ヘテ居リマス、ソレ

デゴザイマスカラ、御話ノ御氣持ハ全然同
ジデゴザイマス、其事ガ即チ國家總動員ト

云フコトダ、斯ウ云フ風ニ私ハ承知致シマ
ス

○齋藤委員 別ニ議論スル譯デハアリマセ

ヌガ、サウ云フ工合ニ戰時經濟ト云フコト
バカリ擴張スレバ、又總動員ト云フコトバ

カリ擴張スレバ、實際國防ニ迄狹義、廣義
ガアルノデアッテ、廣義國防ノ見地カラ見

思想モ悉ク是ハ廣義ニ於ケル國防ニ關係ガ
アル、ソレデアリマスカラシテ、今ノヤウ

ニ輸出入トカ銀行ニ關スルコトバカリガ、
總動員ニ關係ガアルノデハナクシテ、國家

一般ノ財政經濟悉ク關係ガアルノデアリマ
スカラ、其處ハ相當ノ標準ヲ立テテ、直接

ニ總動員ニ關係ノアル對象物、之ヲ支配ス
ルコトラ總動員法ノ範圍ニ置イテ、其外ノ

コトハ主トシテ此銀行會社ノコトノミニ限
ラズ、又輸出入ノミニ限ラズ、又一般ノ財

政經濟、生産分配ノ如キモノハ一般ノ行政範
圍ニ置クノガ至當デハナイカト云フ私ノ考デ

アリマス、別ニ其以上御答辯ガナケレバ宜
シウゴザイマスガ、私ノ考ハ其處ニアルト

云フコトラ御承知ヲ願ッテ置キマス、私ノハ
此點ハ是デ宜シウゴザイマス

○小川委員長 各閣僚ハ朝香宮殿下、松井
大將、柳川中將等ノ凱旋將軍ノ歡迎午餐會

ニ御出席ニナルサウデアリマスカラ、是ニ
テ休憩致シマシテ、午後二時ヨリ開會致シ

マス
午後零時一分休憩
午後二時四十分開議

○小川委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ
マス、此際一言申上ゲルコトガアリマス、

昨日ノ祕密會ニ於キマシテハ、豫メ理事ノ

諸君トモ協議ヲ致シ、委員會ニ入場シ得ル者
ノ範圍ヲ制限致シマシテ、其内容ガ外部

ニ漏レザルヤウ、十分努力致シタノデアリ
マス、然ルニ其内容ノ一部ガ外部ニ漏洩致

シマシタコトハ、洵ニ遺憾ノコトト委員長
ハ考ヘテ居リマス、此事ハ議會ノ信用保持

ノ上カラ見マシテモ、極メテ重要ナルコト
ト考ヘマスカラ、委員竝ニ其他ノ各位ニ於

カセラレテモ、此點ニ十分御留意アラシ
トヲ切ニ御願致ス次第デアリマス、是ヨリ

質疑ヲ繼續致シマス——山崎常吉君
○山崎委員 御許シヲ戴キマシテ、御質問

致シマス、順序ト致シマシテ近衛總理大臣
ニ一應御聞ヲシタ上デ、各般ニ互リマシテ

御質問申上ゲタイト思ヒマシタガ、議事ノ
都合上司法大臣ニ御聽キシテ吳レト云フヤ

ウナ御言葉モゴザイマスノデ、順序ガ違ヒ
マスケレドモ、一應御質問申上ゲタイト思

ヒマス、同時ニ私ハ御質問申上ゲマス前ニ、
本案ニ對シマスル私ノ所信ノ一端ヲ申サシ

テ戴キタイト思ヒマス
現在ノ我國内情勢ヲ十分認識スル時、且

又日支事變ヲ起點ト致シマシテノ國際情勢
ヲ考ヘマスル時、世界ノ人類ガ戰爭ヲ好ム

ト好マザルニ拘ラズ、又日本國民ガ戰爭ヲ
好ムト好マザルニセヨ、各國共我國ニ對ス

ル對戰準備ガ、益々強化擴大サレツ、アルノ
デアリマス、斯様ナ時局ニ於テハ、何時如
何ナル一大危局ガ惹起スルカモ知レナイト
云フコトハ、想像ニ餘リアルコトハ勿論デ
アリ、之ニ對シマスルニハ全國民ガ舉國一
致シテ、益々國防ノ充實完壁ヲ期セネバナ
ナイコトハ言フ迄モナイ、國家總動員法ハ
戰爭事變等ノ國家危急ノ際ニ備ヘルガ爲デ
アリ、斯ウシタ國家危急ノ際、絶對的ナ目
標ハ戰ニ勝ツコト以外ニハナイ、戰ヒ敗レ
テ何ノ國民生活、何ノ國民福祉デアリ、國
威失墜シテ何ノ自由、何ノ民權デアラウカ、
ソレダカラ戰爭ニ勝ツト云フ絶對的ナ、無
上ノ目的ノ爲ニハ如何ナル手段、如何ナル
方法ヲモ講ジナケレバナライ、其場合事
態切迫シ、戰勝確得ノ困難ガ増セバ増ス程、
其手段方法ハ益々擴大強化サレ、勢ヒ國民ガ
國難ノ爲ニ負擔スル獻身奉公ノ犧牲モ増加
セザルヲ得ナイ、而モ斯ル國家危急ノ場合
ニ、我々ハ日本國民デアル限り、獻身奉公
ノ犧牲ニ異議ヲ唱ヘル者ガアラウトハ思ハ
レマセヌ、祖國戰勝ノ爲ニハ、強權ノ壓迫
感位ハ問題デナイト思ヒマス、左様ナ考ニ
基キマシテ、本法案ガ慎重ニ審議サレ、此
時局下ニ國法トシテ立法ナサレマスコトヲ
衷心ヨリ望ンデ居ル者デアリマス、申上ゲ

マシタル意見ニ基キマシテ、御質問申上ゲ
ル考ヘデアリマス

此際簡單ニ申サセテ戴キタイと思ヒマス、
私ハ法ノ内容ニ觸レルニ先立チマシテ、近衛
總理大臣ノ時局ニ對スル決意ヲ、一應御聽
キスル考デアリマスガ、併ナガラ近衛總理
大臣ガ御見エニナリマセヌノデ、法ノ内容
ニ付キマシテ簡單ニ司法大臣ニ質問致シマ
ス、只今冒頭ニ申上ゲマシタヤウナ考ヲ持ッ
テ居リマスノデ、此法ガ全的ニ惡イトハ考ヘ
マセスケレドモ、過日來各委員諸君ノ御意
見ヲ色々承リマシテ、大變參考ニナリマシ
タ、ソレハ此法ニ對シマシテ、國體ノ本義、
國民性ニ立脚シテノ立法ノ立法方ナサラ
ナケレバナライト云フ考ヲ御持チニナッ
テ居ルコトト、私ハ拜承スルノデアリマス、
私モ然ルベク考ヘマス、斯様ナ危局ノ場合
ニ、此法案ガ確ニ必要デアルト云フコトハ、
心カラ左様ニ感じテ居リマス、併ナガラ法
ノ全體ヲ見マシタ時ニ、私ハ非常ニ遺憾ノ
點ガアルコトヲ申上ゲタイ

〔委員長退席、豐田委員長代理著席〕

ソレハ此法ノ全體ヲ私ガ素人ナガラニ見マ
スル時ニ——此法ノ根據ヲ成ス各國ノ資料
ヲ戴キマシタガ、其資料ヲ一別致シマス時
ニ、盛ラレテ居ルモノガアル、併シ盛ラレ

テ居ルモノガアルガ爲ニ、我國ノ法律トシ
テ立法化スルニ、ソレヲ持ッテ來テイケン
イト云フ理論ハ立チマセヌノデ、私ハ諸外
國ト我國ノ國體ノ違フ點、國民性ノ優レタ
點、之ニ立脚シテノ法ノ立法方ナサレテ居
ラネバナラスト思ヒマス、ソレハ人的動員、
物的動員ヲ私共ガ考ヘマスノニ、此法案ノ
主タル目的ハ人的動員デアルト思ヒマス、
人間ガ最モ大切ニ扱ハレナケレバナラスト考
ヘマス、所ガ此法ノ組立法、國家ニ對スル
責任、義務ヲ十分使用サレマス、若シ間違ッ
テソレヲ拒否シタ場合、若シ間違ッテソレ
ヲ誤ッタ場合ニハ、嚴罰ヲ以テ臨マレテ居
ルノデゴザイマス、併シ國家危急ノ場合ニ、
國民ト致シマシテハ是モ甘受シナケレバイ
ケナイ、恐ラク日本國民ト致シマシテハ、誰
シモ其困難ヲ克服スルト云フ決意ハ持ッテ
居ルノデゴザイマス、デアルガ爲ニ其儘デ
宜イト云フコトモ考ヘラレナイ、私ハ外國
ノ立法ヲ取容レマシテ、我國ノ立法ニ置換
ヘル場合ニハ、國體ニ基イタ所ノ立法ノ立
テ方ヲシテ貫ヒタイト考ヘルノハ今申上ゲ
ル是ナノデス、義務ヲ負ハス、責任ヲ盡サス
ト云フ其一方ニハ、完全ニ其義務ヲ了セ、
其仕事ヲ立派ニ仕上ゲタ場合ニハ、表彰ノ
規定ヲ設ケラレナケレバナライデハナイ

カト思ヒマス、是ハ外國ノ參考資料ヲ戴キマ
シテ研究致シマスノニ、何處ノ立法ノ立法
方ノ中ニモ是ガアリマセヌ、併ナガラ我が
國體ハ申上ゲル迄モナク一國一家主義ノ、
外國ニ例ノナイ國體デゴザイマス、デア
ルガ爲ニ一方デ不心得ナ者ニ對シマシテハ嚴
罰ヲ科シマシテモ、是ハ已ムヲ得マセヌケ
レドモ、實際御國ノ役ニ立ツタト御認ニナ
ラレル節ガゴザイマシタナラバ、之ニ對シ
マシテハ表彰ノ規定ヲ是非設ケテ戴キタイ、
私ハ此立法ノ立法方ニ付キマシテ、罰則ノ
點ニ付キマシテハ斯様ナ考ヲ持ッテ居リマ
スガ、司法大臣ハ之ニ對シマシテ如何ナル
御考ガゴザイマセウカ伺ヒタイ

○鹽野國務大臣 國家總動員ノ場合ニ於キ

マシテ、國民ガ進ンデ之ニ協力スルコトハ
疑ハナイノデアリマス、併ナガラ其際ニ如
何様ナル方向ニ向ッテ働クベキカ、又如何ナ
ル方法ニ於テヤルカト云フコトノ大本ヲ定
メテ置クコトガ宜イト考ヘテ仰セニナッ
タデアリマスガ、之ニ對シテ罰則ヲ設ケテ
アルガ、表彰ノ規定ガナイト云フ御話ハ、
一應御尤デアリマスルガ、罰則ヲ設ケルト
云フコトハ、甚ダ遺憾デハアリマスルケレ
ドモ、事實ニ於テ今次ノ事變ニ於キマシテ
モ、二三「スパイ」ノ問題モ出デ居ルコトモア

ルヤウナ次第アリマス、萬一總動員ノ運
營ノ上ニ支障ヲ來スヤウナ行爲ヲスル臣民
ガアリマシタナラバ、之ニ對シテハ十分取
締ヲ致サナケレバナライト考ヘルノデア
リマス、又總動員ニ對シテ大イニ力ヲ致シ、
功績アル者ニ對シテハ、固ヨリ之ヲ表彰ス
ルコトハ差支アリマセヌケレドモ、單ニ法
文ノ上ニ於テ、臣民ノ義務ヲ盡ス者ニ對シ
テ特ニ表彰ヲスルト云フ規定ヲ置クコトハ、
寧ロ臣民ノ誇ヲ傷ケルモノデハナイカト考
ヘルノデアリマス、此表彰ノ問題ハ別ニ褒
彰條例等ガアリマシテ、然ルベク處置セラ
レルコトハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山崎委員 御説明ヲ戴キマシテ一應分リ
マシタガ、尙ホ不滿デゴザイマス、ソレハ
私が御尋致シマスノハ、此處ニ罰則ヲ御設
ケニナツタ、是モ已ムヲ得ナイト思ヒマス、
私共社會ノ實情ヲ知ツテ居リマス者カラ考
ヘマス時ニ、罰則モナケレバナライト云
フコトハ考ヘテ居リマス、併ナガラ此罰則
ノ立テ方ニ付キマシテハ、相當私共ハ考ヘ
サセラル論點ノ餘地モ殘サレテ居リマスル
ケレドモ、是ハ時間ノ關係上申上げマセヌ
ガ、唯左様ナ表彰ノ方法ハ又別ノ條項ガア
ルト仰シヤイマス、或程ソレハ各種各般ニ
互リマシテアリマスケレドモ、此國家總動

員ト云フ法律ハ、此法律ニ總テガ一貫サレ
タ所ノ大變大切ナ法律デゴザイマス、此中
ニ本當ニ此法律ノ線ニ沿ツテ有終ノ美ヲ濟
シタ者ニ對シテハ、斯様ナ表彰ノ方法モア
ルト云フコトヲ設ケテ戴クコトハ、此法ノ
精神ヲ非常ニ和ルモノデハナイカト云フ
コトヲ私ハ考ヘマスガ、司法大臣ニ於カレ
マシテハ、左様ナコトヲ御研究下サル考ハ
ナイカドウカト云フコトヲ、一應御尋シタ
イト思ヒマス

○鹽野國務大臣 表彰ニ付キマシテハ、別
ニ表彰ニ關スル大權ノ御發動モ奏請スル場
合モアルドラウト思ヒマス

○山崎委員 司法大臣ニ御尋スルコトハ、
此程度宜シウゴザイマス

○豐田委員長代理 ソレデハ文部大臣ガ御
見エニナリマシタカラ、眞鍋勝君ノ發言ヲ
許シマス

○眞鍋(勝)委員 此法案ガドレダケ文部省
ニ關係ガアリマスカ、餘リ關係ハナイノデ
アリマスガ、昔ハ大學ノ教授ト言ヘバ知名
ノ士デ、國民ハ多大ノ敬意ヲ表シテ居リマ
シタ、日露戰爭ノ當時ニ於キマシテハ、大
學七博士ハ率先シテ、暴露討ツベシト云フ
結論ニ到達シタ結果トシテ、國民ニ呼掛ケ
テ、全國民ノ輿論ニ魁ケテ大イニ活躍ヲサ

レタノデアリマスガ、近頃ノ大學教授ハド
ウカト見マスルト、是ハ既ニ同僚諸君ノ中
デモ屢々問題ニナツタノデアリマスガ、警視廳
ニ留置ヲサレテ、巡查ノ取調ヲ受ケルト云
フヤウナ有様デ、洵ニ今昔ノ感ニ堪ヘヌノ
デアリマス、而シテ此大學内部ニ於キマシ
テハ、經濟學部デアリマスガ、二派ニ分レ
テ、モウ斯ウナツタ以上ハ教授會トシテハ
處決ヲ促シタラ宜カラウト云フ説ト、之ニ
反對ヲスル説トアリマシテ、遂ニハ部長ノ
辭職トナリ、而モ直チニ其辭職ヲ許ス譯ニ
モ行カヌト云フノデ、マダ此事件ハ落著ヲ
セヌト云フヤウナコトデアリマシテ、今日
ノ斯ノ如キ教授ノ有様ヲ見ルト、如何ニモ
自己ノ研究シタ學說ニ對シテ、信念ト申シ
マセウカ、確信ト申シマセウカ、兎ニ角サ
ウ云フヤウナ自信ヲ缺イテ居ルノデハナイ
カ、中ニハ轉向ヲシテ御用學振リヲ發揮シ
テ居ルヤウナ者モアリマシテ、私共カラ考
ヘテ見マスト、甚ダ遺憾ナ點ガアル、凡ソ
大學ニ——最高學府ノ教壇ニ立ッテ、多數ノ
天下ノ子弟ヲ指導シテ行キマスニハ、相當
ノ研究ヲ爲シ信念ガナケレバナラス、其信
念ニ基イテ致シマシタ所ノ其講義ガ、若シ
其當時ノ時代ニ容レラレナカタナラバ、潔
ク教壇ヲ退イテ他ノ職ニ轉ズルカ或ハ又

退イテ考ヘルベキデハナイカ、是ダケノ學
問ニ對スル所ノ確信ガナケレバナラスト私
ハ思フノデアリマスガ、近頃ハ時勢ノ然ラ
シムル所カ、ドウモ大學ノ先生ガ昔ノ如ク
ニ國民ノ敬慕ノ的トモナラズ、又國民ノ尊
敬ノ念モ、昔ノ如クナイヤウニ考ヘルノデ
アリマスガ、此點ニ關シマシテ外國アタリ
ノ例ヲ見ルト、餘程權威ノ上ニ相違ガアル
ヤウニ思フ、事柄ハ古イノデアリマスガ、
明治二十七年ノ七月ノ末デアッタト思ヒマ
スガ——八月ノ一日デアリマシタカ、清國
ニ對スル對清宣戰ニ先立ツコト數日、軍艦
浪速ガ、清國ノ將卒ヲ朝鮮ニ向ケテ輸送シ
ツ、アッタ高陞號ヲ擊沈シタノデアリマス
ガ、船長ハ英人デアッテ、船尾ニハ英國ノ國
旗ガ掲ゲラレテアル、英國ノ輿論ハ是ガ爲
ニ沸騰シ、「タイムズ」等ノ諸新聞ニハ、對日
宣戰論マデ出テ居ツタ、所ガ「ホルランド」及
ビ「ウエストレーキ」ノ兩國國際法學者ガ、日本
ノ行動ヲ以テ一向差支ナイト云フ意見ヲ「タイ
ムズ」紙上ニ發表シテカラ、英國ノ對日輿論
ハビツクリト鎮マツタ、此事實ハ英國ニ於テ
輿論ガ重シザレルコト、學者ノ權威ガ認
メラレテ居ルコト、竝ニ忌憚ナキ批判ガ許
サレルコト、併セテ又英吉利ノ國民性ノ極
メテ冷靜ナルコトヲ證スルト私ハ思フノデ

アリマスガ、英國ガ大學教授ニ對スル所ノ此冷靜サ、而シテ又國ヲ異ニシテ居リナガラ、輿論沸騰セルニモ拘ラズ、毅然トシテ自己ノ學說ヲ「タイムス」紙上ニ公表スルダケノ此勇氣、スルガ如ニ是ダケノ權威ガアルモノト認メルノデアリマスガ、今日我國學界ニ於ケル教授ノ研究ノ自由ト思ヒ合セマス、吾々ハ感慨無量ナルモノガアルノデアリマス、此點ニ對シテ文相ハ如何ナル御考ヲ持ッテ居ラレマスカ、御所見ヲ伺ッテ見タイノデアリマス

○木戸國務大臣 只今ノ眞鍋サンノ御尋ニ御答ヲ致シマス、最近大學教授ノ中ニ檢舉セラレタ者ガアリマス、ソレニ伴ヒマシテ大學内部ニ於キマシテ、色々ト新聞ニ出テ居ルヤウナ問題ガアリ、此真相ハ必シモ本當ノコトハ傳ヘテ居リマセヌガ、兎ニモ角ニモ斯ノ如キコトガ外部ニ出マシテ、マダ其處置ガ十分ニ今日確定致シテ居リマセヌコトハ、甚ダ遺憾デアリマス、併ナガラ、所謂大學ノ肅正問題ハ中々簡單ニハ參リマセヌ、只今御話ノヤウニ近時一部ノ學者ノ中ニ、所謂所信ニ忠實デナイト云フヤウナ者ガアツタリ、其結果ハ學者ノ權威ト云フモノニ付テ、若干ノ批評ヲ受ケルヤウニナリマシタコトハ甚ダ遺憾デアリマス、大學ノ

肅正ト云フコトニ付キマシテハ、今後私ハ大學當局トモ十分隔意ナク話合モシテ、是非建直シテ行キタイト考ヘテ居リマス、尙ホ學者ノ權威ト云フコト、學說ニ對スル自己ノ所信ニ對シテ忠實デアルベキト云フヤウナコトニ付テノ只今ノ御話ハ、全ク御同感デアリマス

○眞鍋(勝)委員 次ニ私ハ、今日ノ世ノ中ヲ見マス、此總動員ニモヤハリ關係致シマスガ、一體人物ノ總動員ト云フコトガ出來テ居ルカドウカ、適所適材主義ガ行ハレテ居ルカドウカト云フコトニ對シマシテモ、亦少カラザル疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、今ヤ我國ハ對支軍事行動ノ進展ニ伴ヒマシテ、支那ノ國防、外交、財政ノ三ツハ指導的立場ニ立タナケレバナリマセヌガ、ソレニハ、先ヅ第一ニ支那ノ國民ノ精神ヲ握ラナケレバナリマセヌ、大國民ノ襟度ヲ以テ臨マナケレバナラスノデアリマスガ、我國ノ今日ノ教育ノ狀況ヲ見マス、利口ノ人バカリ甚ダ多イ、而シテ昔カラ剛毅木訥仁ニ近シト言ヒマスガ、此剛毅木訥仁ニ近イ人間ハ容レラレナイヤウナ感ジガスルノデアリマシテ、私ハ斯ノ如クニシテ段々今日ノ此情勢ヲ見ルト、果シテ我國ノ行ク先々ハドウ云フヤウニナッテ行クノカ、殊ニ

ドウシテモ是ハ政治ナリ、或ハ其他社會萬般ノコトデアリマシテモ、要ハ畢竟人物ニアルノデアリマスカラ、其人ヲ得ナケレバナリマセヌ、凡ソ一國ガ隆盛ニナラントシタナラバ、ヤハリ國民ノ興望ヲ擔ヒ、國民最大多數ガアノ人ナラバト云フ立派ノ人ガ、世ノ中ニ餘計出テ働カナケレバナリマセヌノハ當然デアリマス、然ルニ今日ノ此時世ヲ見マス、動モスレバ利口ニ立廻ル人ガ重要ノ地位ヲ占メテ、サウデナイ者ハ相當ノ器デアッテ、國事ヲ負擔シ、大事ヲ引受ケテ大イニ君國ノ爲ニ役立ち得ルヤウナ人デアッテモ、動モスレバ出テ來レナイヤウナ感ジガアルノデアリマシテ、ドウシテモ國ノ隆盛ヲ思フ時ニハ、其國ノ一番立派ナ人、立派ナ考ヲ持チ、立派ナ決心ヲ持チ、中々動ゼザル所ノ肚ノ確ッカリシタヤウナ人ガ出テ、政治ノ局ニ當リ、其他萬般ノ事ニ當ラナケレバナリマセヌ、此總動員法ニ關シマシテモ、之ヲ運用スルノハヤハリ人デアリマスガ今日此時世ヲ、後世歴史家ガ如何ニ筆ヲ揮フカ、天下萬民ヲ擔フ所ノ人必ズシモ其興望ニ副ハズ、鷄鳴狗盜ノ士或ハ天下ニ横行スルト云ッタヤウナコトヲ、一體歴史家ハ如何ニ叙スルデアラウカト云フコトヲ、私ハ興味ヲ持ッテ見テ居

ル、所ガ人ハ、歴史家ハ眼光紙背ニ徹スルダケノ透徹シタル考ヲ持ッテ居ルカラ、君ガ心配シタヤウナコトハナイ、必ズ後世歴史家ハ其真相ヲ擲ンデ書クト申シマセウガ、サウナレバ結構デアリマス、一體今日ノ此現象ヲ見マスルナラバ、私ハ今申上デマシタ如ク賢人——果シテ今日ドレダケノ賢人ガアルカ知リマセヌケレドモ、洵ニ立派ナ人ガ世ニ現レテ、力一杯ニ働イテ居ルカト云フコトニ甚ダ疑ナキヲ得ヌノデアリマス、大學ノ教授ノ有様ヲ見マシテ、而シテ今日ノ吾々ノ經驗カラ致シマシテ、若イ人ト相當年取ッタ人ハ、思想ニ於テ非常ニ懸隔ガアル、例ヘバ四十五歳ナラバ四十五歳、ソレトソレ以下ノ人ト、ソレ以上ノ人ヲ見マス、非常ニ思想ト申シマスカ、而シテ世ノ中ノ認識ト云フモノガ違ウテ、吾々カラ見ルト一向合點ガイカス、合點ガイカスコトガ常識デアリ、吾々ガ不思議ガラレルト云フヤウナ調子デ、一概ニハ申セマセヌケレドモ、サウ云フ觀察モシ得ル、餘程教育方針ヲ立テ、掛ラナケレバナラス、我國ハ今ハ一億デアリマセウガ、今後日支事變ガ片付キ、サウシテ支那ニ臨ムト云フヤウナコトニナリマスレバ大國ニナル、英吉利ハ自分ノ國ハ四千五百万、植民地ガ四億五千万

デ、合セテ四億九千五百万デアリマスガ、日本ト支那人人口ヲ合スト六億ニモナリマセウガ、ソレダケノ人ニ接シテ、之ヲ如何ニ運用シ、而シテ又支那人ノ精神ヲ擱シデヤッテ行クト云フニハ、今日ノヤウナ教育デ、果シテ支那人ノ精神迄モ擱シテ行クコトガ出來ルデアラウカ、否カト云フコトニ付テ、疑ナキ能ハヌノデアリマスガ、是等ノ點ニ關シテ、文相ハ今後ノ教育方針ニ付テ、指導原理ト申シマセウカ、指導精神ト申シマセウカ、御考ニナル所ヲ御洩ラシ下サレタナラバ仕合セニ存ジマス

○木戸國務大臣 只今ノ御話ノ點ニ付キマシテハ、我國ノ教育方針ハ、申込モナイコトデアリマスガ、教育勅語ニ御述ニナッテ居ルノデアリマシテ、之ヲ遵奉致シマシテ、萬般ノ方針ヲ決メテ居リマス、併ナガラ只今モ御話ノヤウニ、最近教育ノ實際ガ、各方面ニ於テ行詰ッテ居ルト云フ批評ハ、屢、聞ク所デアリマス、又知識偏重ニナッテ居ル、人格教育ガ缺ケテ居ルデハナイカト云フヤウナコトモ聞カレルノデアリマス、或ハ詰込主義ニ墮シ、本當ノ知識ノ教育ニナッテ居ナイト云フ議論モアリマス、彼此レ綜合致シマシテ、今日只今御話ノヤウナ人物ガ出テ來ナイト云フ點ハ、吾々モ同感デアリマス、其意味ニ於キ

マシテ、今回教育審議會等ノ設置モ見タ譯デアリマシテ、教育ノ内容其他ニ付テ再檢討ヲ致シマシテ、將來更ニ飛躍スベキ日本ノ人物ヲ養成スル爲ニ、十分ナル檢討ヲ加ヘテ、新シイ制度ヲ出來得ルナラバ速ニ立テタイ考デ居リマス

○眞鍋(勝)委員 教育ノ總動員ヲ織込シテ學制改革其他ニ付キマシテハ、何レ又其場合ガアラウト思ヒマスガ、直接總動員ニ關シテ、多少關係ガアルノデ御聽キ致シマスガ、第三ハ學問ノ自由ト云フコトニ關スル、文相ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、是モ一ツ例ヲ舉ゲテ申上ゲタイト思ヒマス、千九百三十六年六月二十七日カラ三十日ニ掛ケテ、獨逸ノ「ハイデルベルク」ノ大學創立五百五十年記念祭ヲ行フコトニナリマシテ、其時ニ世界ノ文明國ニ對シマシテ、此記念祭出席方ニ關シテ招待狀ガ發セラレマシタ、日本ニモ同様其招待狀ガ來テ、多分日本ハ歐羅巴ニ派遣サレタ留學生、其他ノ人ガ便宜上出席サレタト存ジマスガ、其中デ英吉利ト亞米利加ハ之ニ贊意ヲ表セナカッタ、ト言フノハ何故デアアルカト言フト、五百年トカ六百年トカ云フ區切ヲ付ケタ記念祭ナラバ兎モ角、五百五十年ナドト云フ半端ナ記念祭ニ出席スルノハ如何デアラウカ、ノミ

ナラズ此「ハイデルベルク」ノ大學ハ舊キ歴史ヲ持ッテ居リマシテ、此大學ニ教授トナルコトハ、全獨逸ノ非常ナ名譽トスル所デアアル、ト言フノハ詰リ研究ノ自由ト云フコトデ、如何ナル人——猶太人ノ如キデモ誰デモ、兎ニ角其一ツノ各學科目ニ對シテ權威アル者、兎ニ角其當時獨逸ニ於ケル所ノ最高權威ノ人ガ集ッテ居ッタノデアリマス、所ガ「ナチス」ノ政治ニナッテ、研究ノ自由ヲ抑壓スルノデ、「ナチス」政權ノ御用機關ニ成下ッテシマッタ、此「ハイデルベルク」大學ノ記念祭ニ參加スルコトハ「ナチス」反動政策ヲ、間接ニ援助スルモノデアアルカラ、學者ノ名ニ於テ斷ジテ參加スルコトハ不可デアルト言フノデ、英吉利ト亞米利加ハ斷ルヤウナ形勢ガアッタノデ、其招待狀ヲ英吉利ナリ、亞米利加ニ對シテハ取消シタト云フ、學界ニ取ッテハ珍ラシイ話ガアルノデアリマス、是位ニ英國、亞米利加ノ如キハ、學問ノ自由ト云フコトニ對シテハ、非常ニ心ヲ勞シテ居ル、然ルニ獨逸「ナチス」黨ニナリマス、自己ノ政權維持ニ不利デアルト云フ學說ハ、悉ク排シタノデアリマシテ、猶太人ノ學者デアルトカ、アノ「ハイデルベルク」ノドノ學科ニ於テモ、皆ソレレ、權威アル學者デアアルニモ拘ラズ、ソレ等ヲ一時罷メサシテシマッテ「ナチ

ス」政權ニ脱帽シタル學者バカリ——御用學者バカリニシタ、是ハ「ハイデルベルク」バカリデナシニ、全獨逸ノ大學ガサウデアアルヲシイノデアリマスガ、兎ニ角今日ノ獨逸ノ大學ハ、學問研究ノ自由ト云フモノハナイラシイノデアリマス、是モ僅カノ間ナラバ、一國ノ文化ニ大シタ影響モナイデアリマセウガ、學問ハサウ云フ風ニ一政權ノ爲ニ左右サルベキモノデアリマセズ、眞理ヲ深究スルノガ、即チ學問デナケレバナラス、一政權ニ左右サレテ動クト云フコトデハ、眞理ノ探究ハ出來ナイ、斯ウナッテ見ルト、果シテ學問ノ自由ヲ認メテ、自由ニ研究ヲサセル所ノ亞米利加、或ハ英吉利ノ如キガ、長イ眼ヲ以テ見テ、國家隆盛ノ爲ニ役立ツカ、或ハ「ナチス」政權維持ノ爲メト申スカ、獨逸國ノ爲メト思ッテ、自己ト合ハヌ學說ヲ立テル者ハ、之ヲヤッ附ケテ行クト云フコトガ國家ノ隆盛ノ爲ニナルカ、是等ノ事ヲ深ク研究シテ見タラ、何レガ國家永遠ノ爲ニ必要デアアルカト云フヤウナコトモ自ラ分ラウト思フノデアリマスガ、私ハ今日ノ日本ノ大學ノ有様ヲ見ルト、或ハ「ナチス」ノ如クニ、學問ノ自由ハナイノデハナイカト云フヤウナ感じガシテナラスノデアリマス、文部大臣ハ此大學ノ獨立、學問ノ研究

ノ自由ト云フコトニ對シテ、如何ナル御考ヲ御持ニナルカ、今日ノ大學ノ現狀ハ果シテ如何ナル方向ニ進シテ居ルカ、而モ之ヲ國家永遠カラ考ヘマシテ、如何ニ御考ニナリマセウカ、戰時ナラ戰時ニ於テハ、戰爭目的ヲ貫徹スル爲ニハ、或ハ學問ノ自由ヲ奪ツテモ宜イト云フ御考デアリマセウカ、是等ノ點ニ對シテ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○木戸國務大臣 只今學問ノ自由ト云フコトニ付テノ御考デアリマスガ、我國ハ獨逸ノ如ク「ナチス」ノ政權ニ依ツテ急轉廻ラシテ、一ツノ政策ヲ實行シテ行クト云フ國家デハアリマセヌ、幸ナコトニ 上二天萬乘ノ天皇皇室ヲ戴イテ居ル、隨ヒマシテ我國ハ學問ヲ研究致シマスニ付キマシテモ、特ニ政策ニ依ツテ左右サレルト云フ狀態ハ、將來モ起リマセヌシ、過去ニ於テモナカッタ思フノデアリマス、而シテ只今御話ノヤウニ、學問ノ自由ト云フコトハ、要スルニ是ハ國家ノ中ニ於テ行ハレルコトデアリマシテ、只今御話ノヤウニ、特ニ或種ノ政權ニ左右サレルト云フコトハアリマセヌガ、而モ我が日本ノ國體ニ反スルガ如キコトハ、是ハ學者トシテモ自ラ限界ガアルト考ヘルノデアリマス、併ナガラ一面ニ於テ學問ガ、他ノ

制肘ヲ受ケズシテ十分ニ研究セラルベキコトハ當然デアリマス、其意味ニ於キマシテ、私ハ現在ノ大學ニ於テモ、其意味ノ自由ハアルモノト考ヘテ居リマス

○眞鍋(勝)委員 折角ノ文相ノ御答辯デアリマスケレドモ、私ハドウモ満足シ兼ねル點ガアルノデアリマス、今日ノ學者ノ說、所謂經濟學部ニ於ケル論爭ナルモノヲ見マシテモ、吾々ヲシテ極端ニ評セシメルナラバ、ヘドヲ吐クヤウナ學說ヲ吐イテ居ル人ガ、文部省ノ受ケガ好イヤウニモ見エルノデアリマス、此點ニ對シテ私ハ深キ憂ヲ持ツテ居ル、今申上ゲマシタ如ク、國家永遠ト云フ點カラ考ヘテ、多少如何カと思フ所モ、凡ソ國家ニ害ガアツテハナリマセヌカラ、相當大學、學校ノ研究ノ自由ト云フモノヲ認メテ置クノガ、我國ニ爲ニナルノデハナイカ、ト申シマスノハ私共能ク東洋永遠ノ平和ト申シマスガ、東洋永遠ノ平和トハ抑、何デアルカ、何處マデ行ツタナラバ、其目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアルカ、之ヲ私共ノ私見ヲ以テシマスルト、東洋永遠ノ平和ヲ確保スルニハ相當我國ノ力モ増シ、兎ニ角東洋ニ於キマシテハ、亞米利加ノ所謂「モンロー」主義ト云フヤウナモノカラ言ヘバ、東洋「モンロー」主義デモ宜シイ、兎ニ角日

本ガ東洋有色十億ノ人間ノ盟主ト致シマシテ、長ク白色人種ノ爲ニ虐ゲラレ、ソレノ奴隸ノ境地ニアル所ノ彼等有色人種ヲ解放致シマシテ、我尊キ東洋三千年ノ大精神文化、即チ我が皇道精神ニ浴セシムルコトガ、東洋永遠ノ平和ヲ期待スル所以デハナイカト思フノデアリマス、シテ見レバ吾々ハ東洋有色十億ノ人間ヲ支配スベキ所謂大國ニナルノデアアル、隨テ我國ニハ大國ノ襟度ト云フモノガナケレバナラス、今直ニ大國ニナレト言ツタノデハイカヌ、大國ニナルノニハソレダケノ用意ヲシナケレバナラス、教育ニシテモ其ノ效果ト云フモノハ、三年や五年デ現ハレテ來ルモノデハナイ、五年、十年、二十年モ先デナケレバ現ハレナイモノデアアル、是ダケノ理想ヲ持ッテ居ル大和民族ト云フモノハ、其時ニ際シテモ一向差支ナイ所ノ大ナル人物ヲ養ッテ置カナケレバナラス、サウシテ彼等ヲ容レル所ノ肚ヲ養ッテ置カナケレバナラス、唯獨善的ニ指導スルノデアツテハナラナイ、世界ヲ指導スルニハ、ソレダケノ基礎ヲ持ッテ居ナケレバナラス、ソレダケノ用意ガナケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、唯細カク日本ダケ考ヘルノデハナクシテ——世界ノ日本ト云フノデハナク、日本ノ世界ト云フ

見地カラシマシタナラバ、私ハ大學ニ付キマシテハ色々ナ點ヲ考ヘテ置カネバナラスト思フ、我國ノ歴史ヲ見マシテモ、佛教來ラバ之ヲ入レルシ、儒教來ラバ之ヲ入レ、外國ノ物質文明ガ來タナラバ之ヲ入レ、各、其「エキス」ヲ探ツテ今日ノ日本ヲ建設シテ來タ、五箇條ノ御誓文ニハ廣ク知識ヲ世界ニ求メヨト云フコトガ書カレテアルノデアリマスカラ、其良イ所ヲ取ツテヤルノデアアル、唯小サク日本ト云フダケデハナク、將來ノ日本ハ世界ヲ指導スベキ立場ニナッテ居ルコトヲ考ヘルナラバ、凡ソ學問ノ自由ヲ求メナケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、ノミナラス先刻申上ゲマシタ如ク、我が帝國ハ今ヤ北支ヲ席捲シ、中支ニ於キマシテハ、上海、南京ヲ攻略シテ居ル、而シテ中支ヲ押ヘントスレバ、ドウシテモ漢口マデハ行カナケレバナラスシ、中支、北支ニ於テ支那膺懲ヲシテモ、ヤハリ南支ガ殘ッテ居ッテハ何モナラヌカラ、ヤハリ廣東マデモ行ッテ、徹底的ニ之ヲ膺懲シ反省セシメラヌ、日本ト提携スルヤウニナラナケレバナラス、シテ見ルト、中支、南支、北支各、違ッテ、北支ニハ北支ノ人情、風俗、思想ト云フモノガアリ、中支ニハ又中支ノ人情、風俗、思想ト云フモノガアル、北支ハ孔子、

孟子ノ出身地デアリ、中支ハ老莊ノ出身地デアリマスカラ、北支ニハ儒教、孔孟ノ思想ガ行ハレテ居ルカト思フト、老莊ノ思想ガ多分ニ現ハレテ居リマス、又中支長江一帯ハ久シク英吉利ノ勢力ガ及ンデ、英吉利文明ガ主ニ支配シテ居ル、此歐羅巴文明ヲ打破シテ、日本ノ精神文明ヲ植付ケナケレバナラス、ソレニハソレダケノ用意ガナケレバナラス、又廣東ノ方ハ中支、北支方面ト異ツテ居リマスカラ、之ヲ懷カシメルニハ、ソレ相當ノ人間モ要ルノデアリマスカラ、ソレダケノ用意ヲシテ置カナケレバナラス、一體支那ヲ押ヘ付ケルニハ、唯軍事行動バカリデハイケナイ、唯力ヲ以テ押ヘルコトハイケナイ、精神ヲ奪フコトハ力デハ出来ナイノデアアル、精神ヲ奪フニハ精神ヲ以テシナケレバナラス、彼等ノ氣ニ入ルヤウニシナケレバナラス、デアリマスカラシテ是等ノコトヲ考ヘルト、今カラ用意ガ要ルノデアリマス、唯小サキ日本デハナクシテ大ナル日本トシテ彼ヲ屈服シ、彼ト提携スルヤウナ人物ガ必要デアリマス、多土濟々ノ日本デアリマスケレドモ、先刻申上ゲマシタ如ク、今日ノ日本ヲ後世歴史家ガ如何ニ書クデアラウカト云フコトニ興味ヲ持ツ位、ドウモ私等ノヤウナ固苦シイ者カラ

見ルト、理想ガ行ハレテ居ラヌヤウニ思フノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテ文相ハ如何ナル御用意ト、御決心ヲ以テ支那ニ對シテ居ラレルカ、一例ヲ申上ゲマス、今日語學、殊ニ英語ノ如キハ、中學校邊リデハ或ハ一週七八時間ヤッテ居リマスガ、是ヨリ寧ロ支那語ヲ入レテ、或ハ中學卒業生ヲ入レル爲ニ、支那ノ各所ニ專門學校或ハ同文書院ノヤウナモノヲ置クコトモ必要デアリマセウシ、日本カラ中學校ヲ出タ新進氣鋭ノ人間ヲ支那ニ送ッテ、支那ノ學生ト共ニ研究ヲシ、其間ニ支那語ヲ覺エ、支那人情、風俗ヲ知ッテ活動ヲスルト云フコトモ、一ツノ考ヘ方デアルト思フノデアリマスガ、是等ニ對シテ文相ハ如何ナル御考ヲ御持チデアリマスカ、併セテ總動員法發布ニナツタ時ニハ、アナタハ如何ニ對處ナサレルノデアアルカト云フコトモ、御聽キシテ置キタイト思フノデアリマス

○木戸國務大臣 我國ノ將來大キク發展致シテ行キマスコトニ付テノ只今ノ御話ハ、私モ全然御同感デアリマス、而シテソレニ對處スルコトニ付キマシテハ、先程モ御尋ノアリマシタ通り、教育ノ各種ノ制度、人格教育其他ニ付キマシテモ、十分今後努力シタイト考ヘテ居リマス、又支那ノ事變ニ

付キマシテ、支那語ノ教育ノ普及等ニ付テモ御話ガゴザイマシタガ、其點モ文部省トシテ十分研究致シテ居リマス、將來ハ更ニ支那方面ノ知識、支那語ノ普及ト云フコトニ付テハ、十分努力シタイト考ヘテ居リマス

○眞鍋(勝)委員 文部大臣ニ對スル質問ハ是ダケデアリマスガ、尙ホ念ヲ爲ニ重ネテ伺ヒマスガ、私共ハ第一問ニ御尋シタト同様ニ、今日ノ大學ノ教授ハ、ドウモ學問ニ對シテ忠實デナイ——ト云フコトハ少シ言葉ガ激シイカモ知レマセスガ、兎ニ角自信ガナイ、自分ノ學說ニ對シマシテ、ソレヲ堅持シ主張スルダケノ氣魄ニ乏シイヤウデアリマス、是等ノ氣魄モ亦吐モナイヤウデハ、ヤハリ之ニ學ブ所ノ學生モサウ云フヤウニナツテ來ルノデアリマス、ヤハリ先生ハ先生トシテノ堅キ自信、確乎タル所ノ自信、氣魄、即チ全人格ヲ打込シデ子弟ヲ教育スルダケノ人間デナケレバイケナイト、私ハ思フノデアリマス、是等ノ點カラ考ヘマシテ、今日ノ大學ノ有様ヲ見テ、甚ダ遺憾ニ存ズルノデアリマスガ、是等ノ點ニ對シマシテハ、ドウカ大臣ハ深甚ノ考慮ヲ拂ヒマシテ、飽マデ最高學府トシテノ權威ヲ保タシメ、我國文化ニ對シテ指導

的立場ニ立ッテ、我國ノ繁榮ニ連レテ、ソレニ一歩先ンジテ行クヤウニ御研究ヲ御願致シタイ、私ノ文部大臣ニ對スル質問ハ是ダケデス

○豐田委員長代理 眞鍋君ハ海軍大臣ニ御尋ニナルコトハアリマセスカ

○眞鍋(勝)委員 私ハ海軍ノ方ハアリマセヌ、陸軍大臣ノハアリマスガ是ハ時間ヲ省ク意味ニ於テ總理大臣ト一緒ニ聽イテ戴イテ、答辯シテ戴イタラドウカト思ヒマス

○豐田委員長代理 承知致シマシタ

○西岡委員 議事進行ニ付テ……總理大臣直グオ出デニナリマスカ——此際一言委員長ヲ通ジテ、政府ニ御注意ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、吾々ハ出來ルダケ早く此審議ヲ進メテ行キタイト、非常ニ注意努力シテ居リマス、然ルニドウモ議員ノ要求致シテ居ル所ノ閣僚ノ方々ノ御出席ガ、質問者ノ満足ヲ得ルコトガ出來マセヌ、モウ少シ一ツ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、同時ニ此際私ハ審議ガ遅レテ居ルト云フヤウナ話ヲヨク言ハレマスケレドモ、國家總動員法案ニ關スル限り斷ジテサウデナイ、吾々委員ノ質疑振リハ、十二分ニ努力シテ居ルト私達ハ思ッテ居リマス、大體本格的ニ質問ニ入リマシタノハ今月ノ二日カラデアリマ

ス、寧ろ委員ヨリモ前上ゲマシタ通りニ、委員ノ希望スル所ノ答辯ヲ得ル大臣ノ——私ハ怠慢トハ申シマセヌケレドモ、御出席ガドウモ得ラレナイ、此法案ノ審議ガ遅レルト云フヤウナコトハ、ソレハ委員ニ責任ガアラズシテ、寧ろ政府側ニ一層ノ御注意アラシコトヲ私ハ希望致シマス

○**豊田委員長代理** 政府ニ申上ゲマス、只今西岡委員ノ提議ハ、尤モト考ヘマスカラ、政府ニ於カセラレマシテハ、能ク其邊ヲ諒トセラレマシテ、努メテ出席ヲ御精勵アラシコトヲ希望致シマス

○**西岡委員** 更ニ議事進行デ——總理ハ中御出席ニナラナイヤウデアリマスカラ、猪野毛君ノ御質疑ヲ續ケラレンコトヲ望ミマス

○**豊田委員長代理** 猪野毛君ノ御發言ヲ許シマス

○**猪野毛委員** 總理ニ向ッテ先ツ伺ッテ、然ル後デナクテハ、末ノ方カラ始メルコトデ、本當ハ満足ヲ致シマセヌケレドモ、又重ネテ總理ノ答辯如何ニ依ッテ起ツカモ分リマセヌガ、取敢ズ時間ヲ善用スル意味ニ於キマシテ文部大臣ニ御尋ヲ致シマス、私ノハ自分ノ意見ハ申シマセヌ、又逐條審議ニモ入ラズ、總理大臣並ニ各大臣ノ概念、之ヲ先ツ聽キタイ、然ル後各條ノ審議ニ入ルノデ、

マダ——各條ニハ前途遼遠、斯ウ云フコトダケフ——頭ニ置イテ戴キタイ

今回ノ國家總動員法案ナルモノハ、我が日本ニ取リマシテハ、法案トシテハ前古未曾有——後ノコトハ分リマセヌケレドモ、以前ニ於テハ斯ノ如キ大法案ニ出會ッタコトハ、未ダ立法院ニ於テアリマセヌ、之ヲ通過スルノモ大事ナコト、シナイノ

モ亦大事ナコトデアル、大切ハ兩方ニ跨ッテ居ルノデアリマス、私ガソコデ文部大臣ニ伺ヒタイコトハ、此重要ナル前古未會有ノ大法案ヲ提出スルニ當リマシテ、通過スル、セヌハ後ノコトトシテ、先ツ提出スルト云フ段ニ至リマシタニ付キマ

シテ、文部大臣ハ文教ノ府ノ長官トシテ、如何ナル用意、準備ガソコニ出來テ居ルカ

○**木戸國務大臣** 猪野毛サンニ御答致シマス、只今御尋ノ點ハ極メテ重要ナコトデアリマス、私ト致シマシテハ、此法案ガ通り、此法案ヲ假ニ實施スルヤウナ場合ニハ、最モ人格ノシッカリシタ人物ガ之ニ當ラナケ

レバナリマセヌシ、總テニ於テ教育ヲ充實シ、學校等モ鞭撻致シマシテ、此非常時ニ當ッテ誤リナキヲ期スルヤウナ人物ヲ養成シナケレバナラスト考ヘテ居リマス、而シテ教育ノ方針ニ付キマシテハ度々申上ゲマ

スヤウニ、教育勅語ニ宣ハセラレテ居ル所ヲ方針ト致シテ居ルノデアリマシテ、特ニ此法案ガ通ツタカラト申シテ、特別ナル方針ヲ立テル考ハ持つテ居リマセヌガ、從來立テテ居リマスル方針ガ、先程御尋モアリマシタヤウニ、時ニ或ハ其缺陷ヲ暴露シ、十分ナル效果ヲ擧ゲテ居ナイ點ガ多スアルノデアリマス、此法案ガ通りマシタ場合ニハ、ソレ等ノ點ハ十分再檢討シテ、萬一非常時ノ際ニ於ケル國民ノ心構ヘ其他ニ付キマシテ、萬遺漏ナイヤウニ準備スルコトニ付テハ、十分ナル努力ヲ拂フト云フ決心ヲ持つテ居ルノデアリマス

○**猪野毛委員** 我國ハ肇國ノ初メヨリ今日ニ至ルマデ、文武一致デアル、武ニシテ文、文ニシテ武、武即文、文即武、兩者一體ノ考ヲ持つテ來テ居ルノデアリマス、ソレ故ニ假令戰爭ヲスルニシマシテモ、外國ノ戰爭ハ武デアル、土地ノ侵略デアル、資源ガ欲シイ、斯ウ云フ外道ニ走ッタ所ノ戰爭デア

ガアルノデアアル、ソレ故ニ此法案ガ假ニ通過ヲ致シタト云フコトニナリマスレバ、先ツ文武ト假ニ分ケマス、武ノ進出強化ト云フコトハ、何人ニモ常識觀念ノ上ニ於テ浮

シデ來ルノデアリマス、之ニ説明ヲ加ヘテ、言ヒ譯ラシテモ、ソレハイカス、兎モ角常識ノ上ニ於テ浮シデ來ル、其來ルコトノ善イ惡イヲ私ハ言フノデハナイ、ソレ故ニ此日本ハ武ニ於テ完全デアッタ時ニ文ニ

於テ完全デアル、鳥ノ兩翼、車ノ兩輪デアルト云フコトニ完璧ヲ期サナケレバナラス、サウシテ此日本ノ武ト云フモノハ、武ニシテ即文デアル、丁度母親ガ子供ノ頭ヲ毆ルト同ジデアル、毆ツタコトハ、武デ、痛イケ

レドモ、毆ル所ノ母親ノ心ハ子供ヲ愛スル爲ニ毆ル、吾々ガ支那ニ百万ノ兵隊ヲ送ッテ居ルノモ、此爲メデアル、ドウカシテ四億ノ民ヲアノ苦ミヨリ救ウテヤリタイ、此ハ絃一字ノ大理想、肇國ノ大精神ニ基イタ愛ノ結晶ガ、即チ百万ノ出兵トナッテ居ル、斯ウ云フコトヲ考ヘル時ニ於テ、我國ノ文ト云フモノハ、世界獨自ノモノデアル、今日ノ文部省——今度ノ文部大臣ハサウデモアリマセヌガ、從來ハ大體文部大臣ト云フモノハ、伴食大臣トシテ文教ノ府ヲ輕カラシメタ、此輕カラシメタ爲ニ、最モ此國ノ指

導者ヲ作ラナケレバナラス所ノ大學ノ教授ノ監督ヲ誤ツタ、ソレ故ニ是等ノ教授ニ依ツテ教育サレタ人間ガ方々ノ役所ニ入り、或ハ行政官、或ハ司法官、外交官、或ハ新聞記者トシテ、兎モ角一流ノ所ニ大學ヲ出タ者ガ澤山行ツタ其中ニ、不健全ナ者ガ澤山アルト云フコトハ、今日天下萬人皆認メテ居ル、斯ウ云フコトニ付キマシテモ、此法案ガ出タ機會ニ餘程考ヘラレテ、文部大臣タルモノ從來ノ文部大臣ノヤウナ御座ナリノヤリ方デハ相濟マヌ、ドウシテモ此文武ハ鳥ノ兩翼ナリト云フ見識ヲ持ッテ行カナケレバナラスと思フ、只今ノ文部大臣ノ心構ハソレデ結構デハアルガ、ドウモ少シ私ハ不安ナ感じガスル、少クトモ總理大臣ニ向ッテモ、陸海軍大臣ニ向ッテモ、文ハ決シテ武ニ劣ルモノニアラズ、文ハ即チ武デアアル、文ノ長官即總理大臣、是位ナ見識ヲ持ッテ掛ラナケレバ、到底吾々ノ希望スル所ノ文教ノ大刷新ハ出來ナイ、隨テ立派ナル人材、健全ナル人材ヲ日本ノ上流ノ社會ニ出スコトハ出來ヌト云フ考ヲ私ハ持ッテ居ル、之ニ對シテ文部大臣ノ簡單ナル御所見ヲ伺ヒマシテ、折角總理大臣ガ見エマシタカラ、暫ク文部大臣ノ方ハ保留ヲシテ、總理大臣ノ方ニ移リタイト考ヘマス

○木戸國務大臣 只今御話ノ文武ノ關係ニ付テノ御考ハ能ク分リマシタ、私ハ出來ルダケノ見識ヲ持ッテヤッテ居ル、總理大臣ヲ凌グトカ、陸海軍大臣ト拮抗シテ行クト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、私ハ私ノ出來ルダケノ力ヲ以テ、只今御話ノヤウナ缺點ハ間々アルノデアリマスカラ、ソレノ刷新ニ向ッテ進ンデ行キタイト考ヘテ居リマス

○西岡委員 議事進行ニ付テ申上ゲマスガ、猪野毛君ノ總理大臣ニ對スル質疑ガ終リマシタナラバ、元ニ戻ッテ眞鍋君ノ總理大臣ニ對スル質疑ヲ御許願ヒタイト思ヒマス、眞鍋君ガ終リマシタ山崎君、川崎君、宮脇君、三輪君、今井君、三田村君ノ諸君ノ總理大臣ニ對スル質疑ヲ順次御許アランコトヲ希望致シマス、尙ホ小高長三郎君、泉國三郎君ノ兩君ハ、時間ヲ省略致シマスル意味ヲ以チマシテ、總理大臣ニ對スル質疑ヲ取消サレマシタ

○豊田委員長代理 承知致シマシタ

○猪野毛委員 總理大臣ハ嘗テ衆議院ノ本會議ニ於キマシテ、革新政策ヲ行フガ爲ニハ多少ノ摩擦ハ已ムヲ得ヌ、斯ウ云フ御言葉ガアリマシタガ、此國家總動員法案ヲ通過セシムル爲ニモ、ヤハリ是モ革新政策ト見マシテ、多少ノ摩擦ハ已ムヲ得ヌ、斯ウ

云フ御信念ハ以前ノ通りデアリマセウカ

○近衛國務大臣 此法案ニ付キマシテハ、色々御議論ノアルコトハ承知致シテ居リマス、併シ能ク政府ノ意ノアル所ヲ御説明致シマシタナラバ、御諒解ガ出來ルコトト信ジテ居リマス

○猪野毛委員 今日マデノ總理大臣初メ各大臣、政府委員ノ答辯デハ今マデ質問シタ諸君、又聽イテ居ツタ吾々モ、了解ノ出來ル迄ニハ相當ノ距離ガアル、ソレハ何デアルカト言ヒマス、末梢ノコトハ偕テ置キマシテ、一番大切ナ問題ハ憲法ニ關スルコトデアリマス、ソコデ吾々ハ何トシテモ此憲法ノ條章ニハ相觸レテハナラス、又 明治天皇ガ憲法ヲ御制定ニナツタ其大御心ニ、些カナリトモ背反スルコトハ相成ラス、何トナレバ此憲法ニ觸レテモ宜イトカ云フヤウナコトヲ時々——議場デハ聽キマセヌケレドモ民間ニ於テ、國家ノ爲ニ憲法ヲ少シ位何トカ彼トカ云フコトヲ聞タ聽クノデアリマス、是ハ非常ナル考違ヒデス、能ク此點ハ陸軍大臣モ聽イテ居テ戴キタイト思フノデアリマスガ、神ノ國デアアル所ノ日本ノ憲法ハ、神様ノ權化デアラセラレル 明治大帝ノ、到底申シ盡スコトノ出來ヌ程ノ洪大無邊ナル所ノ大御心ニ依ッテ、御苦心ノ結果、其結

晶デアアル所ノ帝國憲法デアリ、又之ヲ出シテヤラウト仰セラレタル此大御心ト云フモノハ、吾々ノ到底測リ知ルコトノ出來ヌ程貴イモノデアリマス、此貴イ所ノ大御心ヨリ出デタル憲法ヲ、國家ノ爲ニハ少シ位ハドウノ斯ウノト云フガ如キ、サウ云フ不見識ナル妥協的考ヲ持ッテ見ル譯ニハ行カヌ、憲法ヲ輕ンズル心ガ生ズル時ハ國ガ駄目ニナル時デス、吾々ノ常ニ憂フル所ハ此處デス、ドウカ斯ウ云フ時デアルカラ、成ベク政府ノ意ニ副フヤウニ努力シタイト思フケレドモ、憲法ニハ觸レラレナイ、吾々ハ此御制定ノ御趣旨ニ反スルコトハナイカト云フコトヲ、日夜憂フルノデアリマス

ソコデ單刀直入ニ總理大臣ニ御伺シマスガ、國家總動員法ナルモノヲ今日提出セネバ、日本ガ本當ニ立行カヌノカ、戰爭ヲヤッテモ勝ツ見込ガナイノカ、此簡單ナ私ノ問ニ對シテ、一ツ總理ノ率直ナル御答ヲ簡單デ宜シイカラ戴キタイト思ヒマス

○近衛國務大臣 政府ト致シマシテハ、近代ノ戰爭ノ特質ニ鑑ミマシテ、此法案ガ是非トモ必要デアルト考ヘマス

○猪野毛委員 是非トモ必要ト云フ言葉ハ、マア蘊蓄ノアル言葉デアリマスルケレドモ、私ノ間フ所ハモウ少シ眞劍デアアル、言

葉モ心モ相成ルベクハト云フヤウナ意味ハ少シモナイノデス、ソレハ只今總理モ是非トモト仰シヤイマスケレドモ、唯私共ハソレニ付テ政府ガ之ヲ輕ク扱ツタノデハナイカト云フ心配ノアルノハ、此前古未曾有ノ、其取扱方如何ニ依ツテハ、ドウ云フコトヲ起サレルカ分ラヌト云フヤウナ、皆ノ心配シテ居ル法案ヲ出ス迄ノ、政府ノ爲シ來ツタル準備ニ於テ缺クル所ガナカッタカト思フノデス、萬全ノ準備ヲ行ウテ議會ニ此法案ヲ御出シニナリマシタノデアリマセウカ

○近衛國務大臣 準備ノ點ニ付キマシテハ、過日來モ政府委員其他ヨリモ申上ゲマシタヤウニ、相當ノ長イ歲月ニ互リマシテ、政府ト致シマシテハ十分ノ準備ヲ致シ、確信ヲ以テ提出致シタノデアリマス

○猪野毛委員 總理ハ其御積リデ出サレタノデアルカ知レマセスガ、私共ノ見ル所デハ、ドウモ手ノ盡シヤウガ足リナカッタノデハナイカト思フ、第一樞密院ノ議ニ何故之ヲ掛ケナカッタノデアアルカ、之ヲ伺ヒタイ

○近衛國務大臣 樞密院ニ掛ケナカッタ云フコトハ、是ハ決シテ樞密院ヲ回避シタ譯デハナイノデアリマシテ、斯ノ如キ法案ハ、從來慣例トシテ樞密院ノ御諮詢ヲ奏請スルコトニナッテ居リマセヌカラ、其慣例

ニ從ヒマシタ次第デアリマス

○猪野毛委員 假リニ先例ガナイニシタ所デ、又斯ノ如キ法案モ先例ガナイノデス、斯ノ如キ性質ノ法案ニ遭遇シタコトノナイモノガ、先例ニ依ツテト云フ譯ニ、輕ク扱フ譯ニハイカヌ、開闢以來、議會出來テ以來、斯ノ如キ重要ナル大法案ガ出マシタカ、他ノ部分的ナ軍需工業ニ關スル法案トカ云フモノト同一ニ見ラレテハイカヌ、企畫院ナドノ事務的ノ先達テ以來ノ答辯、サウ輕ク見ルモノデハナイ、性質ガ是ハ全然違フノデス、サウ云フ小乗的モノデハアリハシナイ、恐ロシク是ハ大キナ廣イ深イ重イモノナノデアリマス、廣大無邊ト言フモ宜シイヤウナモノデアリマス、斯ウ云フ大キナモノヲ先例ガナイカラト仰シタルニ付テハ、是ハ先例ノアツタ位ノ法案ト見ラレタモノデハナイカ、斯ノ如キ解釋ヲ私ハ致ス、ドウ云フモノ斯ウ云フモノト、樞密院ノ色々官制ガアリマセウ、ソレニハ先例ニ依ルト、斯ウ云フモノハ掛ケナクテモ濟ムト云フ氣ガスルノデセウ、ソレハ先例ノナイコトノ法案ダカラ過去ノ先例デハイカヌ、又陛下ノ大御心ヲ吾々御忖度申上ゲテハ、洵ニ畏多イコトデハアリマスガ、若シ此憲法ノ解釋ニ、聊ナリトモ立法府及ビ議員ニ心配

ガアルヤウナコトガアルナラバ、是ハ樞密院ニ持ツテ來テ、皆ガ相談ヲシテ、審議ヲ臣下ト共ニ致サウト云フコトガ大御心デアラウト思フ、神武天皇以來ノ御詔勅ハ澤山アリマスガ、之ヲ伺ヒマシテモ、悉ク此國ノ大切ナル事ニ向ツテハ皆ト相談ヲシテ、國家ノ爲ニ完全ナル政治ヲ行ヒタイト云フ思召ガ出テ居ルノデス、勅語ノ中ニモ出テ居リマスルシ、明治大帝ノ和歌ヲ少シ御讀ミニ

ナツテモ澤山現レテ居リマス、此大御心ヲ考ヘル時ニ於テ、樞密院ニ掛ケナイデモ宜イト云フ先例ヲ楯ニ取ツテ掛ケナイト云フコトハ、政府ノ獨斷ガ之ヲ輕視シタモノデハナイカト云フ風ナ考ヲ致スノデアリマス、此點總理大臣ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ

○近衛國務大臣 政府ハ決シテ樞密院ヲ輕視スルヤウナ考ハナイノデス、併ナガラ此問題ニ付キマシテハ、政府ノ全責任ニ於テ之ヲ行フ決心ヲ以テ、斯ノ如キ手續ヲ取リマシタ

○猪野毛委員 私ハ樞密院ノ人ニモ實ハ聽イテ見タノデアリマス、何トナレバ私共ハ立法府ニバカリ居リマスルカラ、餘リニ立法府ニ居ル考ダケニ囚ハレハセヌカト思ヒマシテ、世間デハ憲法ノ番人ト言ヒ、又陛下ノ御諮詢ニ答ヘ奉ルト云フ重要ナル

職ニ依ツテ、國家ノ最モ大切ナルコトニ向ツテハ、御相談ニ與ツテ居ル樞密院デアリマスルカラ、此人々ニモ少々私ハ伺ツテ見タノデス、帝國憲法ヲ制定爲サレタ當時カラノ樞密院ノ方ニモ、私ハ伺ツテ見タノデアリマスガ、ドウモ斯ウ云フヤウナ前古未曾有ノ、憲法解釋ニ付テノ議論ノ起ルヤウナ大法案ハ、樞密院ニ持ツテ來テ、此處デ練ルト云フコトハ、政府ノ盡スベキ務デハナイカ、斯ウ云フコトヲ私共ハ伺ツタノデアリマス、モウ一ツハ議會デ今此論議ヲ喧シク言フ前ニ、貴衆兩院ノ人トカ、憲法ノ學者トカ、其他ノ識者ト相談ヲシ、樞密院トモ皆非公式ニ相談ヲシテ、此議會ニ持ツテ來テモ、決シテ私ハ遅クハナイト思フ、是ハ陸軍大臣カラ御答辯ヲ戴キタイト思ヒマスルガ、是ハ刻一刻ヲ爭フト云フモノデハナイ、私ハサウ思フ、刻一刻ヲ爭ハナケレバ、陸軍ガ軍ノ責任ガ持テヌトカ、總理大臣ガ、國ガ滅ビルト云フヤウナコトハ、容易ニ仰セラレルコトハ出來ヌダラウト思フ、ソレヨリハ完全無缺ナル手續ト、此出發、内容ニ依ツテ出シタ後ニ於テモ、聊カノ心配ハナイト云フ完璧ヲ期スル用意ト云フコトノ方ガ、私ハ大切デアラウト思フノデス、能ク一ツ此點ヲ總理大臣ニモ伺ツテ置キタイ

ノハ、大體此案ノ根源ハ何處カラカト言フ
ト、今マデモ度々説明ヲ戴キマシタ如ク、
此本ハ國防ノ爲メデス、事務ハ企畫院ガヤ
ル、尻押ハ陸軍ガヤル、斯ウ云フ風ニヤッテ
行ク、無論サウデナクテハナラヌシ、是ハ
必要デアリマスガ、之ヲ非常ニ急ガレル方
方ハ戦争バカリニ一生懸命ニナラレテ——
是ハ本職デアルカラ一生懸命ニナルノハ當
然デアル、専門デアルカラ之ヲ疎カニシテ
ハナラヌシ、其苦心努力、寢テモ覺メテモ
忘レラヌ所ノ忠實ナル御考ニ對シテハ敬
意ヲ拂フケレドモ、少クトモ一國ノ總理大
臣ト云フモノハ一方ダケヲ見テハイカヌ、
全般ヲ見、初メカラ、中カラ、後カラ、國家百
年、千年ノ先マデ眼光ヲ遠ク深ク持ッテ行
カナクテハナラヌト思フノデス、人間ノ心
理ト云フモノハ洵ニ不思議ナモノデ、吾々
ガ情報ヲ聞クノニ、假令嘘ノ事デモ、一日
ニ同ジ嘘ヲ五遍違ッタ人カラ聞クト、本當カ
ト思ッテシマフノデアリマス、人間ノ心理ト
云フモノハサウ云フモノデアリマス、各大
臣ニ聽ケバ、是ハ宜イト言フ、企畫院ハ斯
ウダト言フ、陸海軍ニ聽クト、モウ急ガナ
クテハナラヌト言フ、サウナルト總理モ自
然成程サウカナト思ハレルカモ知レヌ、總
理ノ最初ノ御志ハドウデアツカ分リマセ

スケレドモ、總理ノ仰シヤル言葉尻ヲ捕ヘ
ルノデモナイガ、其言葉ノ匂、氣カラ考ヘル
ト、總理モ憲法ノ範圍ニ於テト云フヤウナ
御言葉ヲ使ハレタリ、又國民ニ不安ヲ與ヘ
ルト思フト云フヤウナ、色々ナ御言葉ガ
出テ居ルノデスガ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ
見ルト、ヤハリ周圍ノ色々ナ空氣、風、聲、
斯ウ云フモノデ總理ガ段々一方ニ固マラレ
タノデハナイカ、斯ウ云フ風ナ心配モスル
ノデアリマス、ドウデス、是ハ一ツ再檢討
ニ出發ヲナサル御考ハアリマセヌカ、私ハ
元來喋ベルコトガ嫌ヒデアルシ、又下手デ
アルカラ、此委員會ナドデ起チタクナイノ
デスガ、何ガ故ニ起ツタカト言フト、是ハモ
ウ大變ナコトニナルカラデアリマス、日本
ノ運命ガ昭々乎タルコトニ付テハ私ハ大ナ
ル確信ヲ持ッテ居ル、信念ヲ持ッテ居ルケレ
ドモ、實ニ之ヲ重大視スルノデアリマス、
間違ヘバ是ガ憲法史上ニ汚點ヲ貽スコトニ
ナル、サウ云フコトガ萬々一ニモアッデハ大
變ダト云フコトヲ心配スル、又從來ノ五・一
五事件、二・二六事件ナドノコトヲ考ヘマシ
テモ、是ハハッキリ爆發シタコトデアリマス
カラ皆サンガ御體験ノコトデアアル、此様ナ
組織ノ時ニ於テデモアレガ現レタノデアリ
マス、三月事件、六月事件——九月事件デ

シタカ、アノ事件ト云フモノハ現レヌケレ
ドモ、ア、云フ事件ノアツタト云フコトハ、
陸軍大臣ハ能ク御存ジガラウト思フ、又其
當時知ッテ居ッタト云フ人ガドンナデア
ルカ、今ドウ云フ地位ニ居ルカ、サウ云フコ
トモ聰明ナ陸軍大臣ハ皆御存ジガラウト私
ハ思フ、サウ云フコトガ吾々ノ頭ノ中ニア
ル、吾々バカリデモナイノデス、國民ハ知
ラスト思ッテモ皆知ッテ居ル、ソコハ日本ノ有
難イ所デ、政府ガ新聞ニモ書カセズ、喋レバ
打込マレルト云フヤウナ掟ニナッテ居ッデモ、
國家ノ爲ニ憂フベキコトハ、天ノ聲トシテ
國民ノ耳ニ入ッデ來ル、此聲ガアルカラコ
ソ、日本ニハ天祐ト云フモノガアルノデア
リマス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、私ハ
深ク此事ガ氣ニ掛ッテナラヌカラ、下手ナガ
ラモ茲ニ起ツヤウナコトニナツタノデアリ
マス、是ハ一ツ考ヘ直サレテ、本當ニ政府
ガ確信ヲ以テヤッタラドウデス、サウ云フコ
トヲ言ヘバ權威ガナイトカ、サウ云フ人ノ
非難攻撃ナドハドウデモ宜シイ、ソナコ
トハ國家ノ爲ニハ小サイ問題デス、全部一
ツアツサリ無ニシテ、空ニ歸ッテ、樞密院ト
モ又特別委員ヲ拵ヘテソレトモ能ク相談ヲ
シテ、政府ダケガ間違ガナイト云フノデナ
ク、サウシテ總理大臣ガ態、伊勢大神宮ニ御

詣リ下サレ、又明治神宮ニモ齋戒沐浴シテ
御詣リ下サツテ、神様ノ前ニ立ッテ、是ハ斷
然ヤラナクテハ國ガ滅ビルト云フ大確信ガ
付イテ、議會ヘ提出ナサレタナラバ、斯ウ
云フ委員會デ色々ナ疑問ガ出ゼズシテ、忠君
愛國ニ燃エテ居ル國民ノ潜在意識ガ極度ニ
發揮致シマシテ、即決可決ニナルノデハナ
イカト私ハ考ヘル、政府ハドウデス、一ツ
出直シテ、臨時議會マデヤル御考ハアリマ
セヌカ

〔豐田委員長代理退席、委員長著席〕

是ハ非常ニ大事ナコトデアリマスカラ、今
即座ニ御答辯願ハナクテモ宜シイガ、總理
ガ神様ノ前ニ立ッテ、本當ニヤラナクテハ
ナラヌノダ、何ガ出テモヤラレルト言フノ
ナラバ、又吾々ノ方デモ一ツ能ク考ヘテ見
ナクテハナラヌガ、如何デアリマセウカ

近衛國務大臣 此法案ヲ提出スルニ至リマ
シタ道行ニ於テ、内閣ト致シマシテハ政府
ノ或ル一部分カラ之ヲ強要セラレ、一部ノ
限ラレタル部面ダケシカ見ナイデ、全般的
ノ工作ヲ十分ニ致サズシテ、不用意ニ此案
ヲ出シタノデハナイカト云フヤウナ御心配
ノヤウデアリマスガ、既ニ屢、申上ゲマシタ
ヤウニ、之ニ付キマシテハ相當ノ研究モ致
シ、確信ヲ以テ出シタモノデアリマシテ、

殊ニ最近ノ國際情勢等ニ付キマシテ、審ニ
檢討ヲ致シマシテ、其必要ヲ認ムルニ至ツタ
ヤウナ次第デアリマス

○猪野毛委員 十分ナル御研究ヲサレ、色

色ナル學者ノ説ナドモ御聽キニナラレ——
政府デハ是ハ完璧ヲ期シタト云フ積リデア
ラウケレドモ、私ハ先申シタ如ク、樞密院
ノ議ヲ經ナカッタト云フコトハ、之ヲ非常
ニ輕ク竝々ノ法案ト同一ニ見タ結果デハナ
イカト云フ氣ガシテ相成ラス、ドウ云フ
學者、ドウ云フ周圍カラ聽カレタノデア
ルカ知りマセスケレドモ、從來ノ總理大臣
ハ中々料簡達ヒ——料簡達ヒト云ウト語
弊ガアルガ、觀測達ヒラシテ誤ツタコトガ
多々アル、總理ハ今デハ全ク無疵ノ疑ヲ懸
ケラヌ方ナノダカラ、從來ノ總理ノヤツ
テ來タ轍ヲ履マズシテ、アナタガ本當ニ國
家ノ爲ニ一途ニ御奉公ノ出來ルヤウニ澤山
ノ議員ハ願ツテ居ル、今マデノ總理デアナ
タ位——是ハ目ノ前デ言ウテハ御世辭ノヤウ
デラカシケレドモ(笑聲)アナタハ前世ニ
ドウ云フ善根ヲ施サレタノデアルカ知りマ
セスケレドモ(笑聲)兎モ角此人ヲ國家ノ爲
ニ、國家ノ重鎮トシテ、長ク御奉公ヲ願ヒ
タイト云フコトハ、有ユル階級ノ者ノ念願
デアルノデアリマス、誰ニ一體斯ウ云フコ

トヲ御相談ニナツタノカ、企畫院總裁トカ、
友人ノ連中トカ、所謂憲法學者トカ閣員ト
云フダケデハ非常ニ私ハドウモ物足りヌト
思フ、何モ友人、閣員、企畫院ヲ信任セヌ
ト云フ意味デハアリマセヌ、法案其モノガ
重大デアルダケニ、大事ナ所ニモ掛ケナケ
レバナラス、最近ノ例ヲ申シマス、林前
總理大臣、アレガ越境將軍デ(笑聲)武人トシ
テハ是ハ皆相當ナ人ダト言フ、是ハ御尤デ
アル、所ガドウモ「サーベル」ヲ取ツテ一遍
總理大臣ヲヤラセルト、思ウタヨリモドウ
モ偉クナイトカ云フ聲ガ出テ來タ、率直ニ
私ハ言ヒマス、何デアルカト云フト、解散
奏請ノ一件デス、アレハ周圍ノ者ガ、ヤ
レヤレ言ウタコトガ後カラ段々分ツテ來マ
シタ、ドウ云フ人間ガドウ云フコトヲ言ウ
タカラ、ア、云フコトヲヤルヤウニナツタカ
ト云フコトモ分ツタ、祭政一致デ、兎ニ角ヤレ
ナケレバ政黨ヲ一ツナニシテ、聽カナケ
レバ第三黨ト云フヤウナモノヲ拵ヘテ、ソ
レデ既成政黨以外ノ者ニハ大イニ便宜ヲ與
ヘ、如何ナル方法ヲヤツデモ、右傾デモ左傾
モ何デモヨイ、兎ニ角ニ大政黨ヲ一ツ弱ハ
ラシテヤレ、戰爭ニハ勝テルト皆言ウタノ
デシタガ、愈々戰爭ニ勝テヌヤウニナツテ來
タ、今度ハ再解散ヲヤルト言ウテ掛ツテ來

タ、其時ノ政府ノ非常ナ料簡達ヒノ邪道ヲ
履ムコトヲ、私共遺憾ニ思ウタコトガ多々
アル、アトデ陸軍大臣ニ聽キタイト思ヒマ
スルガ、新聞ニ出テ居ツタカ知ラスケレド
モ、陸軍大臣ナドモ福岡邊カラノ歸途中、
多數必ズシモ眞ナラズト云フヤウナ、政府
黨ガ少數黨ニナツテシマツタ妙ナコトヲ仰
シヤツタ、是ハ外ノ閣員モ申サレタ、「エキ
ザンブル」トシテ弓削道鏡トカ(笑聲)足利尊
氏ノヤウナモノマデ引出サレタト新聞ニ出テ
居ツタ、斯ウシテ解散ヲヤツタ結果ハドウデ
ス、必ズ私共ハ負ケルト思ウタ、案ノ如ク
ベタ負ケデス、ソウシテ議會ノ最後、アト
二日カソコラ骨折レバ全部ノ法案ガ通過シ
テシマウノヲ、之ヲ通過サセズシテ、ソウ
シテ解散シタ理由ヲ何ニカ選舉法ノ改正ヲ
兩黨ガ色々迫ルカラト云フヤウナコトヲ言ウ
タ、是ハ政府ノ方カラ間違ダト云フ釋明ガ
出タカラ安心シマシタケレドモ、製鐵ノ關
稅ノコトナドニ付キマシテハ、樞密院デ先
例ガアルカラト言ツテ、アレヲ無理ニ強行サ
レタヤウナモノデ、事實ハアンナ先例ハナ
イ、二日カ三日アレバ通過スルモノヲ勝手
ニ解散ヲ奏請シテ強ヒテ先例ガアルカラト
言ツテ樞密院ヘ持ツテ行カレタ、實ハ先例モ
何モナカッタ、ア、云フコト迄ヤラレル、是

ハドウ云フ譯カト云フト、林大將ト云フ方
ハ立派ナデアリマスガ、取巻キノ爲ニ誤
ラレタノデアリマス、其前ノ岡田內閣ノ時
モヤハリサウデアリマス、問題ニナツタ所
ノ天皇機關説、アレガ貴衆兩院ノ問題ニナツ
タ時ニドウデアツタカ、私ハ岡田總理大臣ト
ハ郷里ガ同ジデアル爲ニ能ク知ツテ居リマス
ガ、此事デ過チヲサシタクナイト思ツテ、色々
所ニ手ヲ廻シテ御忠告申上ゲマシタガ、ヤ
ハリ當時周圍ニ附イテ居ル所謂法制通ナル
者ガ差支ナイト云フカラ、法學者ガサウ言
ヘバ間違ナイノデアラウ、他ノ學者ニ聞ク
トマア宜カラウト云フ、サウ云フ時ニハ直
グ曲學阿世ノ學者ガ出テ來テ、總理ニ元氣
ヲ付ケル、此元氣ガ即チ過ツノデス、非常
時ノ時ノ元氣ハ、決シテ蝮酒ヲ飲ンダヤウ
ナ元氣デハ相成ラス、所ガ蝮酒ノ元氣デヤツ
テシマツタ(笑聲)天皇機關説ハ國體ノ本義
ニ悖ルトモ悖ラストモ明言出來ヌトカ、
何々博士ノ言ハ惡イトハ思ハヌ、俺ノ思想
ト大シタ違ヒハナイ、言葉ノ上ニ足ラス所
ガアルト云フガ如キ無信念ナコトヲ言ハレ
タカラ、是ガ二・二六事件ト云フヤウナモ
ノガ起キタ理由ノ一ツニモナツタト云フコ
トハ、是ハ兎ニ角公判ノ記事ニ依ツテモ明カ
デアル、理由ハ何處ニ在ルカ分リマセヌ、

當時ノ齋藤サンモサウデアリマス、東北ニ御歸ヘリニナル時ニ、機關説ガドウノ斯ウノト言フ者ガ少シ位現ハレタ所デ、日本ノ國體ハビクトモセス、其御信念ハ洵ニ結構デハアルケレドモ、斯ウ云フ高ヲ括ツコトヲ仰シヤル、私ハア、云フヤウナ場合ニ於テデモ、自分ノ總理ノ時ニ、又齋藤サンデモ、岡田サンデモ自分ノ後繼ギヲサシタ御方ノ時デモ、斯ウ云フ問題ガ起キテ世ヲ騒ガスト云フコトハ、是ハ自分ノ不徳ノ致ス所デアル、天地神明ニ對シテ齋戒沐浴シテ自分ハ罪ヲ謝サナケレバナラヌト云フ所ノ、斯ウ云フ清イ心ニナレバ、アノ事件ガ假令起ルノデモ、ア、早クハ起キナカッタ信ジテ居ル、此齋藤サンノ言葉ナリ、岡田サンノ言葉デモ、私ハ之ヲ非常ニ遺憾ニ思フ、ソレダカラ私ハ是ハ總理大臣ニ此點ヲ深く申上ゲルノデアリマス、ドウデス、モウ一回總理ガ思ヒ直サレテ、サウシテ兎モ角モ樞密院ニ掛ケル、アナタガ再考ヲスル、是レ位私ハ尊イコトハナイト思フ、總理大臣ガ之ヲ斷行ヲサレタト云ウタ所デ、總理ガ勇氣ガアルトカ、信念ガアルトカニ別ニ變リハナイ、ケレドモ總理ガ一步退イテ考ヘ直シテ見ラレテ、自分ガ見ル所デハ、是ハ完全ナモノデハアルケレドモ、モウ少シ樞

密院其他ノ手ヲ盡シテ見ルコトモ是ハト云フ考ヲ持タレテ、一步退イテ御考ヲ願ヒタイ、何モ進ムコトバカリガ、勇氣デモナケレバ信念デモ何デモナイ、此退クコトノ信念、退クコトノ反省ト云フモノハ、場合ニ依ッテハ決シテ前者ニ劣ルモノデハナイノダ、兎モ角總理ノ周圍ノ人ハ此案ヲ輕ク考ヘテ居ル、是ガ私ハ不安デ堪ラヌ、答辯ヲ見テ御覽ナサイ、速記録ガ茲ニゴザイマスガ、大體ハ國防ト云フ所カラ出テ來テ居ルガ、此箇條ハ皆西洋ノ翻譯デアル、サウシテ事務的ニ行カウト云フノデアル、憲法デハ斯ウ云フ解釋サヘスレバ議會ノ答辯ハ付ク、樞密院ノ先生ニ突カレタ時ニ、斯ウ出テ來タラ斯ウ言ヒ拔ケスレバ宜イト云フコトガ、アリ／＼ト法案ニ出テ居ル、ヨク政府ノ御方ハ見解ノ相違ト云フヤウナ言葉ヲ御遣ヒニナルガ、此問題ハ見解ノ相違デ撥付ケル譯ニ行カヌ、ソシテ簡單ナモノデハナイ、サウ云フ普段ノ小サイ法案ヲ扱フヤウナ考デ、見解ノ相違ナド言フノハ怪シカラヌコトト私ハ思フ、モット何カ言葉ガアルダラウト思フ、斯ウ云フ大事ナモノヲ取扱フ上ニ於テノ言葉トシテハ完全デナイ、自ラ辭句ガアラウト思フ、本當ニ大キナ勇氣ヲ以テ一步退カレテ、伊勢詣ヲシ、明治

神宮ヘ詣ッテ、モウ一遍神様ニ伺ヲ立テヨウト云フ心ニ還ッテ戴ケナイカト思フ、アナタガ其心ニナッテ下サレバ、モウ是ハ議論ナシニ行クト思フ、此案ヲ見テ御覽ナサイ、何處ニ日本ノ國體ガ現レテ居ルカ、何處ニ此感激ガアルノデスカ、日本人ト云フモノハ恐シク直覺力ノ強い國民デアルガ、一寸見テ此案ヲ閉デテ頭ノ中ニ浮ブ所ハ何デス、大ナル感激ガ湧然トシテ起キテ來マスカ、是ハ一ツノ事務トシカ見えヌ、光輝ク所ノモノガ是カラ現レテ來ナケレバイカヌ、帝國憲法デモ、又聖德太子ノ十七條ノ憲法デモ、明治大帝ノ御作リ下スツ御製ヲ拜誦シテモ、文字ハ少イケレドモ天地萬有ノ大眞理ガソコニ現レテ、感激泣カザルヲ得ナイヤウナ尊イモノニナッテ居ル、之ヲ能ク體シテ此法案デモ拵ヘテ下サラナケレバナラヌ、此法案ヲ見ルト、ドウモサウ云フ氣ガシナイ、本當ニ是ハ執拗イヤウデアリマ스가、即坐ノ御答辯デナクテモ宜シイ、私ハ總理ニ是ダケノ問ヲ殘シテ此答ヲ聽カズニ、答ハ後ノ樂ミニシテ(笑聲)御即答ガナイ方ガ、私ハ國家ノ爲ニ結構ダト思ヒマス、是デ總理大臣ヘノ私ノ質問ハ終リマシタ

○小川委員長 眞鍋勝君

○眞鍋勝委員 法理論ニ付テノ御論モア

リマスシ、又神祕的精神ヲ吐露サレ、熱情ヲ單メテノ御話ヲ承リマシテ、共ニ私感激シタノデアリマスガ、私ハ是等ノ點ニ多少似テ居リマスガ、道義の見地ヨリ見テ、總理大臣ノ御考ヲ尋ネテ見タイト思ヒマス、決シテ梓著ケテ御聽キスルノデナク、今日ハ打寛イデ御聽キラシテ見タイノデアリマスカラ、ドウカ其御積リデ御示教ヲ仰ギタイノデス、今ヤ我國ハ東洋永遠ノ平和ノ爲ニ、對支膺懲ノ師ヲ出サレテ、聖戰ノ眞只中デアリマシテ、今日ハ日本帝國ニ取リマシテハ、安危存亡、生死浮沈ノ岐ル、所デアリマス、此時此際、社稷ノ興廢榮辱ヲ度外ニ置ク冷淡者流ハ、吾々ハ之ヲ論ゼズ、又國ヲ思ハズ、社會ヲ思ハザル所ノ冷淡者流、蒼顔者流ハ率ザ知ラズ、苟モ一國ノ國民トシテ、國ノ利害存亡ヲ憂フル者ハ、必ズ其胸中ニ萬斛ノ政策ヲ藏セザル者ハナイト私ハ思フ、而シテ其政策ナルモノハ、計較熟察ノ結果、茲ニ論議ガ重ネラレテ居ルノデアリマシテ、私ハ是マデ重ネラレタ論議ニ對シマシテハ、啓發スル所多ク、君子ハ和シテ同ゼズト申シマスガ、銘々ノ確信ニ基キマシテ、其腹ノ底マデモ割ッテ、堂々ト論議ヲナサレコトハ、洵ニ頼母シクモアリ、吾々之ヲ多トスルノデアリマスガ、併ナガ

ラ世界ノ大勢ハ、方丈記デアリマスカ、「淀ニ浮ブ泡沫ハ且ツ消エ且ツ結ビテ、久シク滯マル事無シ」ト申シマス如クニ、世界ノ大勢ハ時々刻々ニ變々乎トシテ、更ニ停止スル所ハナイノデアリマスガ、此時ニ船頭ト水夫ガ華客ト相争ッテ居リマシテハ、此船ヲ彼岸ニ持つテ行クコトガ困難デアリマス、ドウカ深夜心ヲ靜カニ、吾々議員ト致シマシテモ、政府當路ノ人ト致シマシテモ、一ツ御考ヲ願ヒタイノデアリマスガ、私共ハ近衛内閣ヲ歡迎シ、之ニ期待ヲ持つテ居リマシタ所以ノモノハ、必ズヤ此内閣ニ依リマシテ、滿洲事變以來齋藤、岡田、廣田ト歴代ノ内閣ニ期待致シタト同様、政治ノ「フアッショ」化ノ傾向ニ對シテ防波堤ノ役目トシテノ期待ガ一ツト、其次ハ次ノ時代ニ適應スル新ナル施設ノ創立、此二ツノ點ニ對シマシテ吾々ハ深キ期待ヲ掛ケテ居ッタノデアリマスガ、茲ニ我國憲法制定以來五十年、劃期的ナ法案トモ謂フベキ所ノ國家總動員法案ヲ繞リマシテ、憲法擁護ノ大阪夏ノ陣ニ、吾々ノ愛敬措ク能ハザル公爵ト相對スルノ不幸ヲ悲シムノデアリマス、今日マデノ本會議或ハ委員會ノ論議ヨリ致シマシテ、各方面ニ於テ政府ノ用意ノ不十分デアルト云フコトハ、遺憾ナガラ極メテ明瞭ト

ナツヤウニ存ズルノデアリマス、今日ハ實ニ此重大問題ヲ繞ッテ、國家ノ進路及ビ有ユル機構ヲ如何ニシテ更新スベキカト云フ問題ガアルノデアリマシテ、嘗テ明治維新草創ノ際ニ方リマシテ、山縣大山公ハ、陸軍ノ創設ノ目的ノ爲ニハ、五大俊秀ヲ提ゲテ遠ク歐羅巴ニ赴カレテ研究サレ、其副産物トシテ自治制度ノ創設ニモ與ッテ力ガアッタノデアリマスガ、伊藤公ハ憲法ヲ草案スルニモ自ラ幕僚ノ俊髦逸足ヲ提ゲテ、是亦研究モシ調査モシ、刻苦致シマシテ作り上ゲラレタノデアリマシテ、是ハ唯漫然ト机上デ作ッタノデハナイ、彼等ハ肝腦血ニ塗レテ身自ラ其衝ニ當ッタノデアリマス、政府首腦者ハ先ヅソレヲ御考ニナル必要ガアリハシナイカト思フノデアリマス、是ハ徒ニ言語ヲ弄スルノデハアリマセヌ、國民總動員ヲ施行シヨウト云フナラバ、總理大臣自ラ朝野ノ俊才ヲ選テ、親シク研究ヲサレテハドウカト存ズルノデアリマス、況ヤ來ルベキ新日本ノ建設ヲ心トスルニ於キマシテハ、一層眞摯ニ御苦心セラレレコトガ必要デヤナイカト私ハ存ジマス、時局ノ重大トカ總動員ノ緊要ト云フコトヨリモ、眞摯ナル努力ト決意ガ現在ノ日本ニハ缺如シテ居ルノデハナイカト私ハ信ズルノデアリマス、然ルニ此一時憲

法ヲ中止スベキ程ノ法案ヲ、一企畫院ニ委任ヲシタコトハ些カ輕ク視ラレタノデハナイカ、ト云フヤウナ氣ガスルノデアリマス、新聞紙ノ報道スル所ニ依リマス、昨年十月此法案ヲ審議會ニ御提出ニナラントシタ時ニ、當時ノ馬場内相ハ、是ダケノ重要法案ハ國民一般ノ支援ガナケレバナラス、今ハ其時機デハナイト云フヤウナ見地カラ、暫ク見合セタガ宜カラウト云フノデ、其儘ニナッタト云フコトヲ聞イタノデアリマセヌ、若シドウシテモ今回之ヲ御提出ニナルト云フナラバ、其後引續イテ屢閣議ヲ開キデハナカッタウカト存ズルノデアリマス、成程此案ハ十數年來ノ案件デアリマシテ、企畫院竝ニ専心之ニ携ッタ諸公ハ洵ニ慎重審議ヲサレタコトトハ存ジマスルガ、之ヲ内閣ニ取上ゲテ、伊藤公ガ憲法ニ對スルガ如ク、熱心ニ閣議ニ於テ檢討ヲサレタカドウカ、僅ニ一二回企畫院總裁ノ報告ヲ受ケタト云フヤウナコトハ聞イタノデアリマスガ、此點ニ於キマシテ私ハ熱意ガ足ラヌノデハナイカ、斯ウ云フ氣ガスルノデアリマス、ソコデ前ノ猪野毛君モアレダケ精神ヲ罩メテ、モウ一遍御考ニナッタラドウ

カト言ッテ居ラレマスガ、私モ此案ガナクトモ、憲法ハ有ユル場合ヲ規定シテ然ラスル所ガナイノハ、既ニ同僚諸君ノ屢、論議シタ所デアリマスカラ、之ニ付テハ敢テ首相ノ御所見ハ伺ハウトハ存ジマセヌガ、兎ニ角是ダケノ法案ニ對シマシテ、閣議ニ於ケル所ノ論議ガ足ラナカッタノデハナイカト云フ點ハ、是非一ツ總理大臣ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○近衛國務大臣 此法案ノ研究ハ企畫院ヲ致シタノデアリマスガ、企畫院ハ御承知ノヤウニ各省カラ今御話ノヤウナ俊才ガ集ッテ居リマシテ、十分ニ檢討ヲ遂ゲマシテ、其上デ閣議ニ出シマシテ、閣議ニ於キマシテモ相當眞劍ニ之ヲ研究致シタノデアリマス

○眞鍋(勝)委員 閣議デ慎重ニ御研究ニナッタト云フ御答デアリマスガ、ドウモ政府當局ノ不十分ト申シマセウカ、檢討ノ足ラナカッタノデハナイカト云フ私ノ理由ト致シマシテハ、私共ハ各省大臣ト申シマスルト、社會ノ木鐸トシテ一世ヲ指導スルニ足ル所ノ俊髦逸材デアルト云フコトヲ常カラ考ヘマシテ、多大ノ敬意ヲ拂ッテ居ッタノデアリマス、然ルニ過般本案ガ本會議ニ提出サレマシタ時ニ、總理大臣ハ御病氣御缺席デア

リマシタガ、各省大臣悉ク御列席デアルニモ拘ラズ、閣僚諸君ノ此本案ニ對スル説明ト申シマセウカ、御答辯ニ對シテハ、本員

閣議ニ於キマシテモ慎重ニ研究ヲ致シタノデアリマス

ニ一カラ十マデ賛成シテ參ツタノデアリマス、ソレデ政黨ガ蘇ヘル望ミガアルカト申シマス

斯ウ云フコトガ書イテアリマス「近衛首相ヲ、新黨ノ首領ニ擔ギ上グル話ハ、今始ツタコトデハナイ、コレハ是迄幾回トナク蒸シ返シタル宿題ダ、ケレドモ今日ノ場合、斯ル問題ガ飛ビ出シテモ、近衛首相ハ、決シテ脇目ヲフル可キモノデハナイ、今日ノ場合、近衛公ハ首相トシテ、何ヨリモ先ヅ戦局ノ始末ヲツクル責任ノ衝ニ當リテキル、ソレヲ差シ置イテ、新黨組織ナドニ色氣ヲ出ス餘裕アリ得可キ乎、否乎、若シ、或ハ戦局ヲ始末スル爲メノ新黨デアルト云ヘバ、ソレハ猶更ラ無用デアル、何トナレバ苟モ近衛首相ガ、眞身ニ當面ノ國難ヲ濟ハントスルニ於テハ、全國一黨トナリテ、近衛公ヲ支持スルデアラウ、今更ラ何ヲ苦ンデ新黨製造ナドノ小細工ヲ要センヤダ、今日ノ新黨ハ、要スルニ行詰リタル舊政黨ノ更生手段ニシテ、政黨ノ立場カラ見レバ、強ヒテ反對スル必要ナキモ、近衛公ガ當面ノ仕事ヲ餘所ニシテ、ソレニ身ヲ投ゼネバナラヌ程ノ重大問題デハナイ、記者ハ政局ノ前途ニ就テ、此ノトコロ一番大緊張ヲ必須トスルと思フ、永續戦ハ覺悟ノ前トハ申セ、牛ノ涎ノ如クダラシシタ遣リ口ハ、決シテ最善ノ策デハ無い、北支ニ於ケル作戦ノ目醒シキハサルコトナガラ、我等ハ更

ト申シマセウカ、御答辯ニ對シテハ、本員

○眞鍋(勝)委員 此點ハ敢テ追究致シマセ

ニ一カラ十マデ賛成シテ參ツタノデアリマス、ソレデ政黨ガ蘇ヘル望ミガアルカト申シマス

「近衛首相ヲ、新黨ノ首領ニ擔ギ上グル話ハ、今始ツタコトデハナイ、コレハ是迄幾回トナク蒸シ返シタル宿題ダ、ケレドモ今日ノ場合、斯ル問題ガ飛ビ出シテモ、近衛首相ハ、決シテ脇目ヲフル可キモノデハナイ、今日ノ場合、近衛公ハ首相トシテ、何ヨリモ先ヅ戦局ノ始末ヲツクル責任ノ衝ニ當リテキル、ソレヲ差シ置イテ、新黨組織ナドニ色氣ヲ出ス餘裕アリ得可キ乎、否乎、若シ、或ハ戦局ヲ始末スル爲メノ新黨デアルト云ヘバ、ソレハ猶更ラ無用デアル、何トナレバ苟モ近衛首相ガ、眞身ニ當面ノ國難ヲ濟ハントスルニ於テハ、全國一黨トナリテ、近衛公ヲ支持スルデアラウ、今更ラ何ヲ苦ンデ新黨製造ナドノ小細工ヲ要センヤダ、今日ノ新黨ハ、要スルニ行詰リタル舊政黨ノ更生手段ニシテ、政黨ノ立場カラ見レバ、強ヒテ反對スル必要ナキモ、近衛公ガ當面ノ仕事ヲ餘所ニシテ、ソレニ身ヲ投ゼネバナラヌ程ノ重大問題デハナイ、記者ハ政局ノ前途ニ就テ、此ノトコロ一番大緊張ヲ必須トスルと思フ、永續戦ハ覺悟ノ前トハ申セ、牛ノ涎ノ如クダラシシタ遣リ口ハ、決シテ最善ノ策デハ無い、北支ニ於ケル作戦ノ目醒シキハサルコトナガラ、我等ハ更

カラズ失望致シタノデアリマス、四百六十

ス、次ニ御伺致シタイノハ、近衛公ハ現在

維持シ得ルカト申シマス、甚ダ疑問ヲ持ッ

トナク蒸シ返シタル宿題ダ、ケレドモ今日ノ場合、斯ル問題ガ飛ビ出シテモ、近衛首相ハ、決シテ脇目ヲフル可キモノデハナイ、今日ノ場合、近衛公ハ首相トシテ、何ヨリモ先ヅ戦局ノ始末ヲツクル責任ノ衝ニ當リテキル、ソレヲ差シ置イテ、新黨組織ナドニ色氣ヲ出ス餘裕アリ得可キ乎、否乎、若シ、或ハ戦局ヲ始末スル爲メノ新黨デアルト云ヘバ、ソレハ猶更ラ無用デアル、何トナレバ苟モ近衛首相ガ、眞身ニ當面ノ國難ヲ濟ハントスルニ於テハ、全國一黨トナリテ、近衛公ヲ支持スルデアラウ、今更ラ何ヲ苦ンデ新黨製造ナドノ小細工ヲ要センヤダ、今日ノ新黨ハ、要スルニ行詰リタル舊政黨ノ更生手段ニシテ、政黨ノ立場カラ見レバ、強ヒテ反對スル必要ナキモ、近衛公ガ當面ノ仕事ヲ餘所ニシテ、ソレニ身ヲ投ゼネバナラヌ程ノ重大問題デハナイ、記者ハ政局ノ前途ニ就テ、此ノトコロ一番大緊張ヲ必須トスルと思フ、永續戦ハ覺悟ノ前トハ申セ、牛ノ涎ノ如クダラシシタ遣リ口ハ、決シテ最善ノ策デハ無い、北支ニ於ケル作戦ノ目醒シキハサルコトナガラ、我等ハ更

六名ノ議員バカリデナシニ、全國民ガサウ

日本ニ於ケル時代ノ認識深キ唯一無二ノ政

事々ニ辛抱ヲ續ケテ居ル、此處ガ辛抱ノ仕

トナク蒸シ返シタル宿題ダ、ケレドモ今日ノ場合、斯ル問題ガ飛ビ出シテモ、近衛首相ハ、決シテ脇目ヲフル可キモノデハナイ、今日ノ場合、近衛公ハ首相トシテ、何ヨリモ先ヅ戦局ノ始末ヲツクル責任ノ衝ニ當リテキル、ソレヲ差シ置イテ、新黨組織ナドニ色氣ヲ出ス餘裕アリ得可キ乎、否乎、若シ、或ハ戦局ヲ始末スル爲メノ新黨デアルト云ヘバ、ソレハ猶更ラ無用デアル、何トナレバ苟モ近衛首相ガ、眞身ニ當面ノ國難ヲ濟ハントスルニ於テハ、全國一黨トナリテ、近衛公ヲ支持スルデアラウ、今更ラ何ヲ苦ンデ新黨製造ナドノ小細工ヲ要センヤダ、今日ノ新黨ハ、要スルニ行詰リタル舊政黨ノ更生手段ニシテ、政黨ノ立場カラ見レバ、強ヒテ反對スル必要ナキモ、近衛公ガ當面ノ仕事ヲ餘所ニシテ、ソレニ身ヲ投ゼネバナラヌ程ノ重大問題デハナイ、記者ハ政局ノ前途ニ就テ、此ノトコロ一番大緊張ヲ必須トスルと思フ、永續戦ハ覺悟ノ前トハ申セ、牛ノ涎ノ如クダラシシタ遣リ口ハ、決シテ最善ノ策デハ無い、北支ニ於ケル作戦ノ目醒シキハサルコトナガラ、我等ハ更

云フヤウナ感ジヲ懷イタノデハナイカ、斯

新聞紙ノ報道スル所ニ依リマス、公爵一

ドコロト云フヤウニ、辛抱第一主義デ參ッ

ヨリモ先ヅ戦局ノ始末ヲツクル責任ノ衝ニ當リテキル、ソレヲ差シ置イテ、新黨組織ナドニ色氣ヲ出ス餘裕アリ得可キ乎、否乎、若シ、或ハ戦局ヲ始末スル爲メノ新黨デアルト云ヘバ、ソレハ猶更ラ無用デアル、何トナレバ苟モ近衛首相ガ、眞身ニ當面ノ國難ヲ濟ハントスルニ於テハ、全國一黨トナリテ、近衛公ヲ支持スルデアラウ、今更ラ何ヲ苦ンデ新黨製造ナドノ小細工ヲ要センヤダ、今日ノ新黨ハ、要スルニ行詰リタル舊政黨ノ更生手段ニシテ、政黨ノ立場カラ見レバ、強ヒテ反對スル必要ナキモ、近衛公ガ當面ノ仕事ヲ餘所ニシテ、ソレニ身ヲ投ゼネバナラヌ程ノ重大問題デハナイ、記者ハ政局ノ前途ニ就テ、此ノトコロ一番大緊張ヲ必須トスルと思フ、永續戦ハ覺悟ノ前トハ申セ、牛ノ涎ノ如クダラシシタ遣リ口ハ、決シテ最善ノ策デハ無い、北支ニ於ケル作戦ノ目醒シキハサルコトナガラ、我等ハ更

カル重大ナル法案ヲ提出スルニ際シテ、各

タビ動ケバ、四百六十餘名ノ議員中四百名

メルコトヲ以テ政治ノ根本基調トシテ居

レマシタガ、或ル意味ニ於テハ妥協モ憲法

省大臣ガ之ニ參加ヲ致シマシテ非常ニ御研

ノ議員ハ其傘下ニ集ルコト難カラザル旨ヲ

政治ノ要諦ト言ハレヌコトハナイノデア

マスガ、私共ハ妥協ハ立憲政治ニ反スルト

究ニナツタノナラバ、其熱意、其研究、其信

報ジテ居リマス、此總理大臣ニ對スル國民ノ

思ッテ居ルノデアリマス、總テ強イ者ニ迎合

マスガ、私共ハ妥協ハ立憲政治ニ反スルト

念、其氣魄ノ一端デモ、アノ本會議ニ現ハ

興望ヲ以テ致シマスナラバ、衆議院ニ於テモ、

思ッテ居ルノデアリマス、總テ強イ者ニ迎合

マスガ、私共ハ妥協ハ立憲政治ニ反スルト

シテ戴クコトガ出來タノデハナイカト私ハ

或ハ貴族院ニ於テモ、多少ノ修正ヲ加ヘテ此

スルナラバ、政黨ハ自滅ノ途ヲ辿ルノデア

ル、現在ノ政黨ノ反省スベキ點デアルト私

思フノデアリマスガ、此責務多大ナル總理

案ハ通過スルカモ知レスト存ズルノデアリ

ハ確信ヲシテ居ルノデアリマスガ、政黨ニ

深キ御理解アリ、先般ノ本委員會ニ於キマ

大臣一人ヲ當テニシテ出サレタ、或ハ企畫

マスガ、自分ハ此難然タル所ノ四百名ノ集合

シテモ、立憲政治ヲ運用スルノニハ、ドウ

シテモ政黨ガ必要デアルト、斯様ニ仰セラ

院總裁、法制局長官ノ説明デ事足ルト輕ク

ノ總裁トシテ臨マル、ヨリハ、飽マデモ

レタ、其政黨ニ深キ御理解アル總理大臣ノ、

此點ニ關スル所ノ御所見ヲ伺フコトガ出來

御取リニナツタノカ、アノ本會議當日ニ於キ

明治大帝ノ御欽定ニナツタ所ノ憲法ヲ擁護シ、

サレシコトヲ私ハ實ハ望ンデ居ルノデアリ

マスガ、今日ノ政黨ハ、私政黨ノ惡口ヲ言フ

マシテ、答辯ガ御出來ニナラズニ閣議ヲ開

ノデアリマセヌガ、私見ヲ以テ致シマス、公

爵モ御存ジノ通り、是マデ數年來ト云フモ

ノハ、我が政黨——ト言フト語弊ガアルカ

イタヤウニ私ハ存ジテ居リマスガ、斯ウ云

欽定憲法ヲ擁護シ、立憲政治完成ノ爲ニ努力

サレシコトヲ私ハ實ハ望ンデ居ルノデアリ

マスガ、今日ノ政黨ハ、私政黨ノ惡口ヲ言フ

フ點ヲ考ヘマス、ドウモ企畫院本位ノ立

案デアリマシテ、企畫院トシテハ心血ヲ注

タナラバ仕合セト存ズルノデアリマス、サ

リナガラ、其御答ヲ得マス前ニ、私ハ昨夕刊

ギ、血ニ塗レマシテ考究ニナツタノデアリ

ノデアリマセヌガ、私見ヲ以テ致シマス、公

爵モ御存ジノ通り、是マデ數年來ト云フモ

ノハ、我が政黨——ト言フト語弊ガアルカ

マセウケレドモ、閣議ニ於キマシテハ今總

理大臣ノ仰セラレルヤウナ檢討ハナカッタ

ノハ、我が政黨——ト言フト語弊ガアルカ

マス、之ヲ引用致シマシテ、私ノ意見トシ

ノデハナイカト私ハ思フノデアリマスガ、

其點如何デスカ

テ御答辯ヲ願ヘレバ結構ナノデアリマス、

戦ノ目醒シキハサルコトナガラ、我等ハ更

○近衛國務大臣 只今申述べマシタヤウニ

謙讓ノ美德ヲ發揮致シマシテ、政府ノ政策

マス、之ヲ引用致シマシテ、私ノ意見トシ

戦ノ目醒シキハサルコトナガラ、我等ハ更

○近衛國務大臣 只今申述べマシタヤウニ

謙讓ノ美德ヲ發揮致シマシテ、政府ノ政策

マス、之ヲ引用致シマシテ、私ノ意見トシ

戦ノ目醒シキハサルコトナガラ、我等ハ更

ラニ敵ノ痛手ヲ押ヘネバナラス、而シテ其ノ痛手ノ押ヘドコロハ、今マ詳細ニ之ヲ語ラザルモ、支那ノ地圖ハ、明々地ニ之ヲ指示シテキル、第三國ニハ、何等ノ關係ナキ、純然タル支那ノ版圖トシテ、我等ガ斷然大打撃ヲ加ヘネバナラス要所ガ、○○○○ノ○、若シクハ○○ニ存在スルコトハ、苟モ時局ヲ明察スルノ君子ハ、必ラズ首肯スルデアラウ、ト云フコトモアルノデアリマスガ、私ハ同感ノ氣ガスルノデアリマス、若シ御答ヲ得マスレバ、仕合セト存ズルノデアリマス

○近衛國務大臣 私ハ貴族院ニ席ヲ持チマシテカラ既ニ二十年ニナリマス、今後モ貴族院議員ト致シマシテ、憲政ノ發達ノ爲ニ微力ヲ捧ゲタイト考ヘテ居リマス

○眞鍋(勝)委員 私ノ間ニ對シテビツタリ來ナイノデアリマスガ、敢テビツタリシタ御答ヲ願ハウトハ存ジマセヌ、ト申シマスノハ、私ハ此總動員法案ハ、私ガ申ス迄モナク、全員一致本當ノ總動員法案デアルコトガ時局緩急ノ際ニ必要デアルトハ存ズルノデアリマスガ、此法案ニ對シマシテ、遺憾ナガラ私共ハ論議ヲ重ネナケレバナラスノデアリマスガ、此法案ニ對シマスル政府ノ説明デハ、私ハ實ハ満足シマセヌ、此法案ハ或

ハ此時局ニ對スル所ノ認識ヲ深メル爲ニ、

國民ヲシテ準備ヲ爲サシメ、覺悟ヲ爲サシメルト云フヤウナ御説明モアリマスルガ、本當ニ此時局重大デアルコトヲ認識セシメマスノニハ、私ハ色々ナ方法ガアルト思フ、其一ツハ實ハ時間ヲ省ク關係上、陸軍大臣ト總理大臣ニ御聽キシテ戴キタイノデアリマスガ、屢、此法案ガ總括的ノ委任命令ニ委スルト云フコトハ忍ビ得ザル所デアルカラシテ、之ヲ法文化シテハ如何ト云フ問ニ對シマシテ、陸軍ハ千變萬化スル所ノ事態ニ對シテ、中々之ヲ法文ニ現スコトハ不能デアルト云フヤウナ見解ヲ取ラレテ居ルノデアリマス、私ハ此千變萬化ト云フコトニ對シテ實ハ了解ニ苦シムノデアリマス、

成程用兵、作戰、出帥ト云フコトニナリマスレバ、敵ノ情勢ニ依ッテ變化スルノデアリマスカラ、ソレニ對應シテ千變萬化スルコトハ當然デアリマスケレドモ、其千變萬化ニ應ジマス所ノ國民ノ覺悟ヲ促シ、用意ヲサセ、準備ヲ行ハスト云フコトニ對シマシテ、其基本的ノコトハ法文ニ書キ得ナイコトハナイト思フノデアリマシテ、此點カラ致シマシテドウモ千變萬化ニ對シテハ満足出來ヌノデアリマス、此意味ヨリ致シマシテ、何故ニ此千變萬化ガイケナイカト云

フト、實ハ今回ノ事變ハ私等ノ持論ヨリ致シマスレバ、逆ヲ行ッテ居ル、實ハ此日支

事變ハ私共ノ主張カラ言ヘバ、支那ナリ、「ソビエト」露國ニ對シマシテ國防ノ安全感ヨリ致シマシテ、對大陸政策ノ調整ト云フコトヲ唱ヘ、又財政經濟ノ我國ノ發展上カラ致シマシテ、對南方政策ノ樹立ト云フコトヲ唱ヘテ來タノデアリマス、然ルニ今度ノ戰ガ起ツタ以上ハ、サウ云フ常ノ主張ヲ論議スル場合デアアリマセヌカラシテ、即チ渾身ノ努力ヲ掛ケテ贊意ヲ表シマシテ政府ト共ニ戰勝ヲ祈ッテ居ルノデアリマス、要スルニ昔ノ古イ歌ニ「攀登ル麓ノ道ハ多ケレド同ジ高嶺ノ月ヲ見ルカナ」ト云フノガアリマス、攀登ル麓ノ道、即チ方法手段ハ甚ダ多イケレドモ、結局其處ニ登ッテ眞如ノ月ヲ見ルト云フコトニ至ッテハ一ツデア

ル、即チ對大陸政策ノ調整、對南洋政策ノ樹立ト申シマシテモ、結局我が東洋永遠ノ平和ノ爲デアル、東洋永遠ノ平和ノ爲ニハ、先ヅ支那ガ多年ニ互ッテ抗日、排日、侮日ヲ盡シテ事茲ニ到ッタノデアルカラシテ、之ヲ徹底的ニ膺懲ヲ致シマシテ、膺懲ノ結果彼等ヲシテ反省セシメ、提携セシメントスルノデアリマスカラ、逆手ヲ取ッテ今度ノ戰トナッタノデアリマス、戰ニナッタ以上ハ徹底

的ニヤル、既ニ我軍ハ北支ヲ席捲致シ、中

支ニ於キマシテモ首都南京、竝ニ上海ヲ攻略シテ居リマスガ、是ダケデハマダ支那ヲ徹底的ニ參ラス譯ニハ行カヌ、ドウシテモ是レ以上本當ニ此聖戰ノ目的ヲ貫徹致シマスル上ニハ、久シキニ互ッテ英吉利ノ文明ヲ扶植シ、歐羅巴ノ文明ヲ扶植シテ居リマス所ノ長江一帶ヲ我手ニ收メナケレバナラス、ソレニハドウシテモ漢口迄行カナケレバナラスシ、又中支、北支ガ片付キマシテモ、南支ガ殘ッテ居ッタナラバ、何時再ビ斯ル不幸ヲ見ナケレバナラスカモ知レヌノデアリマスカラ、之ヲ徹底的ニ膺懲ノ目的ヲ貫徹スル上ニ於キマシテハ、ヤハリ廣東ヲ攻略シテ英國トノ取引ヲ斷チ、援助ヲ絶ツト云フコトニ至ラナケレバナラス、即チ北支、中支、南支ヲ抑ヘマシテ、茲ニ北、中央、南ト各、政府ガ出來レバ宜シウゴザイマスガ、何レ中支ニモ出來マセウシ、マダ南支ノ方ハ片付キマセヌガ、是等ノ政府ガ出來マシタナラバ、之ヲ一纏メニスル所ノ政府ガ出來タナラバ、之ヲ援助シ、國防ナリ、外交ナリ、財政經濟ノ點デ之ヲ抑ヘマシテ、支那膺懲ノ實ヲ舉ゲ、彼等ヲシテ反省シ提携セシメル、是ダケノコトヲヤル、而シテ海岸封鎖ヲシテ居ッタナラバ、私ハ此目的ヲ貫

徹スルコトハ容易デアラウト思フ、此處マデヤラナケレバ此支那問題ト云フモノハ片付カスト思フデアリマス、又北支ヲ席捲シ、南京攻略マデハ洵ニ目覺シク行ツタノデアリマスガ、其後甚ダ渉々シク參ラナイヤウナ状態デ、國民ハ一體何處ニ結論ヲ付ケルノカ、一體日支事變ハ如何ナル所ニ始末ヲ付ケルノカト云フコトハ、我國民バカリデナシニ、世界モ其眼ヲ以テ見テ居ルノデアリマス、我國ガ斷行シテ居リマス膺懲ノ實ヲ擧ゲ、提携ガ出來ルト云フコトデ、擧國一致ノ實ヲ擧ゲナケレバナラスコトハ言フ迄モナイ、之ヲヤルノニハ總動員法モ必要デアリマセウガ、是ハ既ニ多數ノ委員カラ質問ガアリマシタ如クソレトノ缺陷ガアル、其缺陷ヲ押通サウトスルト、ドウシテモ摩擦ガアル、此相剋摩擦ヲ排スルト云フコトガ、近衛内閣ニ對スル重大ナル國民ノ期待デアッタノデアリマス、此爭アル法案ヲ押通サズトモ、斷乎タル所ノ決意ヲ示シ、コ、デヤラナケレバ此對支問題ノ結論ガ付カスト云フコトヲ、國民ニ如何ナル方法カラ以テシテ御示シニナツタナラバ、何モ總動員法ヲ出サズトモ、國民ハビツタリ政府ト共ニ一ツニナツテ、擧國一致ニナツテ、此非常時ヲ乗切ルコトハ疑ハヌ、日本人ハ藤田東湖ノ正氣

之歌ニモアリマスガ、秀テハ不二嶽ト爲リ、發シテハ萬葉ノ櫻ト爲ルト云フヤウニ、國民ハ一旦緩急ノ際ニハ身ヲ鴻毛ノ輕キニ比シ死ヲ視ルコト歸スルガ如シト云フコトガ、我が國民デアアル、此國民デアリマスルカラ、斯様ナ憲法ヲ停止デモスルヤウナ處ガアル法案ヲ出シマセズトモ、アルダケノモノハ全部曝ケ出シテ此國難ニ赴クト私ハ思フノデアリマスカラ、ドウカ斯ウ云フ點ヲ御考慮ニナリマシテ、其決意ヲ國民ニ示スト云フコトニナレバ、此總動員法案ヲ出サズトモ、是ガ摩擦ヲ經テ、或ハ修正ヲ經テ、兩院ヲ通過スルヨリモ、其目的貫徹ト云フ點ニ對シマシテハ、ソレ以上ノ效果ガアルト私ハ信ズルノデアリマスガ、總理大臣ハ其點ニ付テ如何ナル御考ヲ御持チデアリマスカ

○近衛國務大臣 國民政府ニ對シテ、政府ガ如何ナル政策ヲ以テ之ニ臨ムカト云フコトハ、屢々今日マデ聲明シタ通りデアリマス、サウシテ蔣政權ノ壞滅スベク、有ユル方策ヲ今後モ尙ホ續ケテ居ルノデアリマス、此國家總動員法案ハ是マデ既ニ陸軍大臣等カラモ申上ゲマシタヤウニ、此支那事變ニ直接之ヲ用ヒルト云フノデハナイノデアリマシテ、將來ニ萬一起ルベキ戰爭ニ對シテノ備デアリマス、是ハ自ラ別問題デアリ

マス

○小川委員長 眞鍋君ニ申上ゲマスガ、モウ一時間ヲ越エマシタガ如何デセウカ、其積リデ御自制アラシコトヲ望ミマス

○眞鍋(勝)委員 私ハ今ノ總理大臣ノ御答デアリマスガ、御答ガ私ノ質問ノ趣旨ニ及バナカッタノヲ遺憾トスルノデアリマスガ、陸軍大臣ニ對スル御質問モ同様ト御理解ヲ願ヒタイ、第二點ハ總動員法ハ擧國一致デナケレバナラスト思フ、積極的效果的デナケレバナラス、又國情ニ適スルモノデナケレバナラス、相剋摩擦ヲ生ズル法デアッテハナラマト思ヒマスカラ御一考ヲ煩ハシタイト思ヒマスガ、日本ノ國ハ權力關係デ出來タ國デハナイコトハ、賢明ナル總理大臣モ御承知ノ通りデアリマス、權力ノ關係デ出來タ國デモナケレバ、權利ノ關係デ出來タ國デモナイ、倫理的關係デ出來タ國デアリマス、義乃君臣、情兼父子ト云フヤウナ、雄略天皇ノ御詔勅ニモアル通り、是ハ國體ノ眞髓ニ接シタ有難イ御言葉デアリマスガ、此倫理的觀點ヨリモウ一度御賢察ヲ願ハレヌモノカト思ヒマス、倫理的關係デ出來タ日本デアリマスカラ、西洋流デ謂フ所ノ或ハ支那語デ謂フ所ノ、專制、抑壓ノ精神ナドト云フモノハ、藥ニシタクモナイ、偶ニハ役人ガ惡イコト

ヲスルヤウナコトモアル、或ハ昔ノ大名ナドデモ惡イコトヲシタ者モアルガ、天皇ト日本臣民トノ間ニ於キマシテハ、未ダ嘗テ相離レルト云フヤウナコトハナイノデアリマシテ、總テ 天皇陛下ノ下ニ於テ臣民ガ相談ヲヤッテ來タコトハ、神代ノ昔カラ行ハレテ來タコトデアアル、天照大神ガ天安河原ニ於テ「神集ヒニ集ヒタマヒ、神議リニ議リ給フ」ト云フコトガアリ、聖德太子ノ憲法ニモ「夫レ事ヲバ獨リ斷ズベカラズ必ズ衆ト共ニ宜シク論ズベシ」ト云フコトガアリマス、即チ是ハ滿場一致デヤレト云フコトニナルノデアリマスガ、日本ニ於キマシテハドウ云フコトヤラウト致シマシテモ、上御一人ノ外ハ臣民トシテ一人デ自分ノ思フ通りノコトヲ國家ノ上ニヤラウト云フコトハ許サレナイノデアリマス、是ガ日本ノ仕來リデアアル、此重大ナル所ノ法案ハ滿場一致的ニ御處理ニナルヤウニ御考慮ハ願ハレナイノデアリマスガ、殊ニ明治十四年十月十二日、國會開設ノ御勅諭ノ中ニ、洵ニ有難イコトガアリマス、即チ「願ミルニ立國ノ體、國各宜キラ殊ニス、非常ノ事業、實ニ輕舉ニ便ナラス、我祖我宗、照臨シテ上ニ在リ、遺烈ヲ揚ケ、洪漢ヲ弘メ、古今ヲ變通シ、斷シテ之ヲ行フ責、朕カ躬ニ在リ」ト洵ニ有

難イ御言葉デアリマスガ、是等ノ點モ併セテ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス、即チ「立國ノ體、國各宜キヲ殊ニス」ト、言葉ハ甚ダ短イケレドモ、洵ニ有難イ御言葉デアル、獨逸ハ獨逸、伊太利ハ伊太利、日本ハ日本デアル、今申上ゲタ如ク此法案ヲ滿場一致のニ御處理ニナル點カラ致シマシテ、モウ一遍總動員法案ニ付テ御考ヲ願フコトハ出來ナイモノデアリマスガ、此點ヲ一ツ……

○近衛國務大臣 此法案ハ今御話ノ如ク日本精神、日本主義ト相關シテ居ルト云フヤウナ御言葉ガゴザイマシタガ、サウ云フ風ニハ政府トシテハ考ヘテ居リマセス、政府トシテハ此案ハ皆サンノ十分ナル御理解ヲ得マシテ、滿場一致御通過下サルコトヲ確信致シテ居リマス

○小川委員長 眞鍋君ニ申上ゲマスガ、昨日デ大體各派ノ質問ヲ一巡シマシテ、西尾君カラ申合セニ依リマシテ一時間位ノ所デ各自自制ラシテ居ラレルノデアリマス、眞鍋君ニ於カレマシテモ其大體ノ空氣ニ鑑ミラレマシテ、質問ヲ簡略ニ、纏リヲ付ケテ戴キタイノデアリマス、ドウカ結論ニ御入リヲ願ヒマス

○眞鍋(勝)委員 ソレデハ私ハ簡單ニ申上

ゲマスガ、私ハ此法案ニハ人物ノ總動員ガ出來テ居ナイヤウニ思フ、勿論經濟的ニ積極的ニ動員ガセラレナケレバナラスガ、我國ノ人物ガ、果シテ適材適所ニ總動員ガ出來テ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見ルト、此經濟ニ於キマシテモ總動員スル爲ニハ自ラ其途ガアツテ、適材適所ヲ忘レテハナラス、其局ニ當ル人ニ其人ヲ得ナケレバイケマセヌ

ガ、之ヲ統制強化スル所ノ資材物資ガナクテハナラスノデアリマス、之ヲ集メ、之ヲ按排スルニモ其人ヲ要スル、是等ノ點カラ考ヘマスルト、今度ノ總動員法ハ餘程其點ヲ閑却サレテ居ルノデハナイカ、例ヘテ申シマス、金儲ケニ巧ミナ人ハ必シモ經濟理論ヲ巧ミナ人デハナイ、經濟學者必シモ金儲ケニ巧ミデナイ、又金儲ケニ巧ミナ人必シモ學理ニ通ゼヌノデアリマス、ヤハリ適所適材、餅屋ハ餅屋ト云フコトニシナケレバナラスノデアリマスガ、此點ニ餘程考慮ガ缺ケテ居ル、説明ヲシナケレバ分ラスカモ存ジマセヌガ、斯ウ云フヤウナ積極的ニ產業ヲ開發シテ、サウシテ國家ノ役ニ立テルト云フコトヨリモ、人間ノ自由ヲ無視シ、却テ國家產業ヲ萎縮セシメル處ガアル點モアリマシテ、甚ダ消極的ノ國家總動員法ト存ズルノデアリマスガ、サウ云フヤウ

ナ感情ハ總理大臣ハ持クレナイノデアリマセウカ

時間ヲ省ク意味ニ於キマシテ續ケテ申上ゲマスガ、私ハ第三點ト致シマシテ、憲法擁護的立場カラ、ドウシテモ此案ニハ贊成スルコトガ出來ヌ、之ヲ詳シク論ジマスレバ又長クナリマスガ、私共ハ此間ノ憲法五十年ノ式典ニ際シテ「憲章ヲ奉遵シテ愆ラス」云々ノ御勅語ヲ拜シ、而シテ又此憲法制定當時ノ五十年ノ昔ヲ回顧致シマシテ、憲法ヲ尊重スルト云フコトニ對シマシテハ、二ツノ意義ガアルト存ズルノデアリマス、一ツハ憲法發布ト云フ歴史ノ事實ヲ含ム政治的意義デアリマス、今一ツハ憲法其モノノ内容ヲ尊重スルト云フ制度上ノ意義デアリマス、憲法發布ハ明治維新ノ結論トモ言フ、明治維新ハ言フ迄モナク、徳川幕府ヲ倒シ、王政トナッタ大變革デアリマス、此明治維新ノ精神ハ何カト言ヘバ、一君萬民政治ノ創設デアル、維新ノ前ハ徳川幕府ガ日本ノ政權ヲ握ッテ居ッタノデアリマスガ、此徳川幕府ヲ倒シマシテ、一君萬民ノ政治ニ還シテシマッタノデアリマス、此憲法ハ日本ノ建國ノ精神ヲ明ニシ、政治ガ如何ニ行ハレルカノ大本ヲ規定シテ居ルコトハ言フ迄モナイノデアリマス、白雲去來

シテ山動カザルガ如ク、此憲法ハ不磨ノ大典デアリマスカラ、之ヲ吾々ハ尊重シナケレバナラスコトハ當然デアリマス、此憲法ニ對シテ、少シデモ之ヲ蹂躪スル處ガアルト云フヤウナコトニ對シマシテハ、吾々ハ飽マデ之ヲ擁護シナケレバナラス、此憲法擁護ノ立場ト、モウ一ツハ第四點ト致シマシテ、私ハドウシテモ此法案ハ憲法ノ精神ニ違反スルモノデアルト存ズルノデアリマス、此點ヲ一ツ委員長ノ御許ヲ得マシテ少シ申上ゲテ見タイ、サウシテ私ハ質問ヲ打ちリマス、本法ニ依ッテ委任サレル勅令事項ハ包括的廣範圍ニ過グルガ故ニ、此勅令事項ノ中法律ニ規定シテ差支ナイモノニ付テハ、出來得ル限り詳細ニ法律ニ規定スベキデハナイカト云フヤウナコトニ對シマシテ、何時カノ委員會ノ席上デ是モ屢、論議サレマシタガ、近衛首相及ビ政府側ハ、單一的且ツ勅令ニ包括委任ノ總動員立法ノ立前ヲ執ッテ讓ラス、總理大臣ハ勅令事項ヲ法律ニ規定スルコトハ不可能ダ、考慮ノ餘地ナシトノ御答デアリマシタガ、私共ハドウ考ヘマシテモ不可能ト云フコトハ甚ダ了解ニ苦シムノデアリマス、一體是モ憲法ハ、法律又ハ之ニ代ルベキ緊急ノ勅令及ビ戰時事變ノ場合ニ於ケル大權事項ノ規定ヲ以テ、常

時及び戰時事變ニ處スルノ途ヲ明示シテアルニ拘ラズ、是等ノ規定以外ノ逸脱致シマシテ、戰時ニ處スル爲メ、平時ニ於テモ施行セラルベキ所ノ廣汎ナル事項ヲ、單ナル行政廳、即チ政府ノ勅令ニ委任セントスルノハ、憲法規定以外ニ間道ヲ作ルモノデアリマシテ、憲法違反デハナイカ、大權ヲ拘束スルモノデハナイカト云フ論難ニ對シテ、政府ハサウデナイト言ッテ居リマス、成程之ニ對シテハ幾多ノ制定サレタ例ハアリマシガ、但シ茲ニ問題ニナルノハ、委任勅令ノ範圍ガ非常ニ廣範圍ニ互ル點ハ、制度ノ問題ノ上カラ、且ツハ憲法上ノ精神論ノ上カラ、重大ナル所ノ戰時政治問題タルコトハ爭ハレスノデアリマシテ、一部ノ委任ト廣汎ナル全部ノ委任トハ質ヲ異ニスル、一部ノ委任ノ例ガアリマシタトテ、全部ノ委任ノ前例トハナラス、要スルニ斯ノ如キ法案ハ、結局憲法中止ノ獨裁政權ノ下ニ於テノミ行ハレルベキモノデアルト云フ、吾々ノ主張ヲ解消セシムルニ足ル辯明ガナイコトヲ遺憾ト致スノデアリマスガ、此最後ノ點ニ對シマシテ、首相ハ憲法ノ精神ニ違反スルモノナリトノ點ニ關シ、如何ナル御所見ヲ持ッテ居ラレマスカ、此點ヲ御伺致シマス

○近衛國務大臣 國家總動員ノ目的ハ人的物的ノ資源ヲ動員シマシテ、其資材能力ヲ戰時ニ對シテ活動セシメルデアリマスカラ、先程御尋ノ如ク、戰時ノ場合ニ全然有ユル經濟活動ヲ、個人ノ自由ニ委セテ置クト云フコトハ、此總動員ノ趣旨カラ申シマシテ、完全ニ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデアリマス、隨テ茲ニ或ル程度ノ統制強化ヲスル必要ガ起ッテ來ルノデアリマス

第二ノ點ハ廣汎ナル委任勅令ガ憲法ノ精神ニ反スルト云フ御話デアリマスガ、之ニ付キマシテハ既ニ屢、申述ベマシタヤウニ、政府ト致シマシテハ斯ノ如キ見解ヲ持ッテ居ラスノデアリマス

○小川委員長 猪野毛君カラ發言ヲ求メラレテ居リマス——猪野毛君

○猪野毛委員 一寸議事進行デ——先程私ガ發言致シマシタ中ニ、大學ノ先生ガ不健全ナル思想デ不健全ナル講義ヲスルト、其處カラ出デ來ル所ノ官吏、新聞記者ナドモ其思想ガ不健全ダ斯ウ云フ事ヲ申シマシタガ、ソレハ其處カラ出タ者ガ、今日官吏ナリ、新聞記者ニモ居ルカラ、今ノ官吏、新聞記者ガ不健全ダ、サウ云フ意味デハアリマセス、若シサウ云フ風ニ聞エマシタリ、又ハ私ノ言ウタコトガソレニ近イコトデア

リマシタナラバ、ソレハ私ハ訂正致シマスガ、私ノ申シマシタ心ハ、サウ云フ意味デアリマセス、一寸外カラサウ云フ御注意ヲ受ケマシタカラ、一言申上ゲテ置キマス、今ノ新聞記者モ、官吏モ健全ニ國家ノ爲ニ努力シテオ居デニナル、斯ウ云フ意味デス

○小川委員長 山崎常吉君

○山崎委員 私ハ近衛總理大臣ニ對シマシテ、私共モ心配シテ居リマスガ、又全國民モ大變心配シテ居ル點ニ付キマシテ、二ツバカリ御尋シタイト考ヘマス、私共ガ本案ニ對シマスル所ノ意思表示ハ、總理大臣ガ先程オ見エニナラナイ前ニ一應申上ゲテ置キマシタカラ、願クハ後日速記録ヲ御覽ニナッテ戴キタイト思ヒマス、申上ゲル迄モナク、本法案ハ現在ノ時局ニ、取りマシテハ、何トシテモ立法化サネバナラナイ情勢ニアルト私共ハ考ヘマス、申上ゲマスナレバ、現在戰、更ニ國際情勢ヲ考ヘマシテノ將來戰ニ備ヘマスノニハ、斯様ナ全體ノ強力ナモノガアッテ、ソレガ有效ニ發動ヲ爲サネバナラナイト云フコトハ深く考ヘテ居ル次第デゴザイマス、併ナガラ此法案ハ、先輩委員諸君ガ色々御議論ニナラレマシタ如クニ、私共モ一抹ノ——イヤ、一抹ドロデハナイ、將來ニ於キマシテ、多大ノ杞憂ヲ持

タザラ得ナイノデアリマス、ソレハ誰人モ考ヘラレマス如ク、近衛總理大臣及び近衛總理大臣ノ幕下ニ居ラレマスル所ノ閣僚諸君デアラレマシタナラバ宜シウゴザイマセウケレドモ、併シ近衛總理大臣モ何時マデ政府ノ首班トナッテオ居デニナルカト云フコトニ付キマシテ、現實ガ恰モグラツイテ居ルノデハナイカト云フ位ニ國民ニ考ヘサセラレルノデアリマス、此點ニ付キマシテ、此廣範圍ナ人的、物的、總テヲ包含致シマシタ所ノ、全國民ニ取りマシテハ大變ニ大切ナ法案、此運用ヲ何人ガスルカト云フコトニ付キマシテ、杞憂ヲ持ッ者デゴザイマス、重ネテ申上ゲマスルガ、近衛總理大臣及び其幕下ノ方々ナレバ宜シウゴザイマス、併ナガラ私共最近ノ情勢ヲ考ヘマスノニ、又全國民ノ心配ヲ致シマス所ハ、長イ間政治ノコトニ付キマシテ心配ヲシテ來タ國民ハ、一體政治ノ中心ヲ誰ニ頼ッテ宜イカト云フコトニ付キマシテ非常ニ迷ッテ來タノデゴザイマス、過去ニ於キマシテ廣田內閣或ハ林內閣、此二ツノ內閣ヲドノ程度ニ國民ハ信頼シテ居ッタノデアラウカ、思ヒ半バニ過ギルモノガアルト考ヘマス、更ニ一方政黨ト致シマシテモ、現在ノ政黨ノ狀態、是ハ洵ニ遺憾ナガラ國民ノ信頼ヲ置ク所ト

ナッテ居リマセス、唯一ニ國民ガ頼ッテ居リマスノハ、突如トシテ生レタ近衛内閣――

近衛サンデアツタナラバ此憂鬱ナ國內ヲ明朗化シテ呉レルノダラウト云フヤウナ工合ニ考ヘタコトハ、是ハ爭ハレナイ事實デゴザイマス、私モ希望ヲ持チマシタ、所ガ其後内閣内ノ色々ノ人事行政其他ノコトガ、ドウモ頼リニナルヤウナ、頼リニナラナイヤウナ状態デアルト云フ雲行ガ低迷シタコトヲ御存ジト思ヒマス、併ナガラ進ンデ第七十三議會、本議會ノ劈頭ニ於キマシテ、近衛首相ハ施政方針ヲ御述ベニナッテ、其後各議員ノ質問ニ對シマシテ、政治ニ對スル、政黨ニ對スル將來性ヲ斷乎トシテ御披露ナサツタノデゴザイマス、ソコデ私共ハ宜シイト云フ一ツノ確信ヲ持チマシタ、ソレハ確ニ組閣ノ當初ニ於テハ、成ベク相剋摩擦ヲ避ケルト云フ考デアツタケレドモ、併ナガラ此事變ニ於テ國內革新ノ斷行ノ爲ニハ、相剋摩擦モ或ハ甘受セナケレバイケナイカモ分ラナイト云フヤウナ御言葉モ承ツタノデアリマス、ソレデ是ハヤルナ、ト云フヤウナ考ヲ持チマシタ、併シ其後ノ事情ハ又段々ト變化致シマシタ、私ハ急速ニ飛ンデ申上ゲマスガ、本議會ニ近衛内閣ノ唯一ノ革新案トシテ提案サレマシタ所ノ電力國家

管理案ハドウデアツタカ、識者モ國民モ殆ド之ニ對シテ心配ヲシテ居リマス、骨抜キニナツタ、ソレガ政府ノ斷乎タル所ノ決意ヲ示サズシテ貴族院ニ廻ツタ、此案ノ運命ハ一體貴族院ヘ行ツテ如何ナル状態ニナルカト云フコトヲ考ヘル時ニ、私共ハ國民ト共ニ非常ニ心配セザルヲ得ナイノデアリマス、一體近衛内閣ノ「ポイント」ハ何處ニアルカト云フコトヲ考ヘサセラレマス、國民ハ齊シク此點ニ付テ心配ヲシテ居ルノデアリマス、又此劃期的ナ法律案、人モ物モ總テラ包含スル所ノ此法律、是ガ又衆議院ニ依ツテ難航ニ難航ヲ續ケテ居ルデハナイカ、斯様な諸點ニ付キマシテ、近衛總理大臣ハ如何ナル決意ヲ持ッテ居ラレマスカト云フコトヲ一ツ御伺シテ見タイト考ヘマス

更ニモウ一ツ、近衛總理大臣ハ蒲柳ノ質デアルト云フコトハ定評ニナリマシテ、國民齊シク御氣ノ毒ナト心配ヲシテ居リマス、近衛内閣ハ、近衛總理大臣ハ、此議會ヲ切抜ケタナラバ退クカモ分ラナイト云フヤウナコトモ、國民ノ間ニ心配ニナッテ居リマス、之ニ對シテ近衛總理大臣ハ、此難局ヲ切抜ケル爲ニ、飽迄モ斷乎一大決意ヲ以テ進マレル御考ガアルカト云フコトヲ御聞キシタイト思ヒマス、考ヘマスルノニ、今國民ノ求メテ居

ルモノハ何カ、ソレハ薄弱ナル態度ヤ、煮エ切ラナイ手段ニ満足スルモノデハ斷ジテアリマセス、強力ナル、冷徹ナル指導者ノ選擇ニ迷ッテ居ルノデアリマス、近衛總理ハ此重大ナル時局ヲ決然トシテ乗切ル所ノ偉大ナル決意ヲ持ッテ居ラレルカドウカト云フコトヲ重ネテ伺ヒタイト思ヒマス、私ハ或本デ斯ウ云フコトヲ見マシタ、「此君ノ下此國ヲ護リテ吾レ死ナン」此決意ガナクテハ現在ノ非常時局ヲ脊負ッテ立ツコトハ出來ナイノデハナイカト云フ考ヲ持チマス、ドウカ國民ヲ迷ハサナイヤウニ、近衛總理大臣ノ御決意ヲ示シテ戴キタイト考ヘマス、甚ダ失禮ナコトヲ申上ゲマシタガ、ドウカ此二點ニ付キマシテ先ヅ御答ヲ願ヒタイト考ヘマス

○近衛國務大臣 此内外重大ナル時局ニ大命ヲ拜シテ居ル身デアリマス、微力ヲ捧ゲマシテ君國ノ爲ニ奉公ヲ致シタイ決心ヲ持ッテ居リマス
○山崎委員 總理大臣ノ御心持ハ能ク分ッテ居リマスガ、今御答ヲ戴キマシタ程度デゴザイマスナレバ、今マデ私共ガ議席デ數度御伺シマシタコトト大差ハゴザイマセス、私ノ御尋シタイト思ヒマスノハ、此迷ッテ居ル國民ヲ脊負ッテ此國難ヲ、今申上ゲマシタ

如ク「此君ノ下此國ヲ護リテ吾レ死ナン」此決意ノ下ニ御進ミガ願ヘルト云フ此一言ヲ御漏シテ願ヒタイ、ソレハ此國家總動員法案、之ニ對シマシテ、國民ハ迷ッテ居リマス、近衛サンナラ宜シイ、併ナガラ後ニ生レル内閣ガドウデアラウカ、是ガ爲ニ國民ハ迷ハザルヲ得ナイノデアリマス、若シ近衛總理大臣ガ御都合上御辭メニナル場合ガアツテモ、近衛總理大臣ノ眼鏡ニ叶ッテ生レル所ノ内閣デアツタナラバ、國民ハ又安心ヲスルデゴザイマセウ、私ハドウカ此一言ヲ總理大臣カラ承リタイト御願スル次第デゴザイマス

○近衛國務大臣 此困難ナル時局ヲ收拾致シテ行ク上ニ於キマシテ、私ハ最モ責任ヲ感ジテ居ルノデアリマス
○山崎委員 如何ナル御都合ガアラレマスカ、ハッキリシタ御答ノ願ヘナイノヲ洵ニ遺憾ト致シマス、私共ハ國民ト共ニ一ツノ杞憂ヲ持タザルヲ得マセス、又後日御心持ヲ御聞カセテ願ヘル時機ガアリマシタナラバ、御伺シタイト考ヘマス、私ノ近衛總理大臣ニ御聞キシマス點ハ此程度デ打切りマス
○小川委員長 川崎末五郎君
○川崎委員 總理ハ連日洵ニ御疲勞ノコトト思ヒマス、カルガ故ニ私ハ總理ニ對シテ

サウ長い時間ヲ取りタクナイノデアリマス、極メテ簡單ニ一二ノ事ダケヲ御伺致シマス其代リニソレハ是非總理ヨリ御答ヲシテ戴キタイノデアリマスカラ、暫ク一ツ御許シヲ願ヒタイ、此總動員法案ノ取扱方ニ付キマシテハ、既ニ先輩ノ齋藤氏ニ致シマシテモ、牧野氏ニ致シマシテモ、尙ホ本日ハ猪野毛君或ハ眞鍋君、ソレハ衷心ヨリ自己ノ所信ヲ披瀝サレテ、總理ノ御考慮ヲ煩ハシテ居ラレルヤウデアリマシテ、私ト致シマシテモ各先輩ノサウ云ツタ心持ニ付キマシテハ、其感ヲ等シウスル次第デアリマス、敢テ私ハ更ニ總理ニ此事ニ付テ御心ヲ惱シタクハ考ヘテ居リマセヌ、唯私ハ今回ノ議會ニ於キマシテノ、私ノ一議員トシテノ率直ナル感ジヲ申上ゲテ、御耳ニ入レテ置キタイ、今更私ハ兎角ノコトヲ申上ゲマセヌガ、此議會ニ於キマシテハ私ハ議員ト致シマシテ、ドウシテモ此内閣、殊ニ吾々ガ我國ノ現狀竝ニ將來ヲ考ヘマシテ、眞ニ近衛總理ノ健在ヲ吾々ハ希望シ、近衛總理ニ期待スルガ爲ニ、大抵ノコトハ我慢シテ——我慢ト云フコトガ惡ケレバ大抵ノコトハ政府ノ方針ヲ御援ケスル、龐大ナル豫算ニ致シマシテモ、其他ノ各種ノ法案ニ付キマシテモ、吾々議員ト致シマシテハ、文句ヲ言ヘ

バ多少ノコトハ文句ヲ付ケ得テモ、成ベクサウ云フコトハ吾々ハ此際我慢スル、御遠慮ヲスル、サウシテ 陛下ノ御信任ヲ得テ居ラレル此内閣ガ此時局ヲ何トカ切抜ケル爲ニ、自由ニ自分ノ手腕ヲ發揮スル、又自分ノ抱負經綸ヲ遂行サレル、サウシテ此難局ヲ打開サレルヤウニシテ戴キタイ、斯様な意味ニ於テ私達ハ十分ニ此政府ヲ御援ケスル意味デ、又自由ノ手腕ヲ發揮サセテ、政府ガ政策、國策ヲ遂行スル上ニオヤリニナリ易イヤウニシテ上ゲタイト、甚ダ失禮デアルカモ知レマセヌガ、私ハサウ云フ考ヲ持ッテ居ル、デスカラ私ハ細カシイ事ハ文句ヲ言ヒタクナイ、成ベクサウ云ツタ意味デ私ハ控ヘテ居ル積リデアリマス、併ナガラ吾々議員ト致シマシテ、職務ヲ行フ場合ニ於キマシテ、政府モ 陛下ノ信任ヲ得テ居ラレル政府デアッテ、直接國政變理ノ責任ヲ御執リニナリ、其重任ニ御當リニナッテ居ルノデアリマスガ、吾々議會ト致シマシテモ、是亦 陛下ノ議會デアアル、陛下ノ衆議院デアッテ、吾々ハ立法ニ翼賛スルコトヲ言ヒ付カッテ居ルノデアリマス、其職務ヲ行フ場合ニ於テ、吾々ハ忠實ニ行ハナケレバナラス、斯様な見地カラ國家ノ將來ノ爲メ、又日本ノ國策ノ上カラ言ウテ、ドウシテモ政府ニ考慮ヲ

煩ハサナケレバナラス、今一應反省ヲ促シテ置カナケレバナラス、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、吾々ハ場合ニ依レバ政府ニ嫌ナコトモ申サナケレバナラスシ、反省モ促サナケレバナラス、是ハ決シテ近衛總理初メ閣僚諸公ニ對シテ徒ナル感情デ、或ハ反對センガ爲ニ反對スルノデアリマセヌ、吾々モ職責上國家國民ノ爲カラ考ヘマシテ言ハザルヲ得ナイコトヲ、寧ロ非常ニ遺憾トスルヤウナ心持デ、私ノヤウナ至ラス者デモ、實ハ審議ニ當リテ居ル積リデアリマス、併シ自分ハサウ云フ心持デモ、或ハ場合ニ依レバ其心持ニ反スルコトヲ言フコトガアルカモ知レマセヌガ、私ハサウ云フ風ニ眞面目ニ考ヘテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ齋藤先輩ガ申サレタヤウニ、内閣ノ諸公ニ於カレマシテモ、斯様な意識デ以テ御進ミヲ願ヒタイ、今ヤ朝野ヲ舉ゲテ舉國一致ヲ要スルコトハ言フマデモナイ、斯様な場合ニ於キマシテ、例ヘバ茲ニ政府ト議會トノ關係ヲ見マシテモ、政府ノ提案シタ豫算其他ノ各案ハ總テ鵜呑ミニシロ、總テ之ニ聽從セヨ、少シデモソレニ反對シ、修正シ、或ハ之ニ質問ヲシ、反對ノ口吻ヲ漏ラスノハソレハ怪シカラストカ云フヤウナコトデ——現在ノ閣僚諸公ニハ決シテサ

ウ云フ御考ヲ御持チニナル方ハ居ラシヤラスト思ヒマスガ、若シサウ云フヤウナ御考ヲ御持チノ方ガアルトスレバ、是ハ非常ニ誤ツタ考デアッテ、是ガ即チ知ラズ識ラズノ内ニ、一口ニ世間カラ官僚獨善デアルト云フ非難ヲ蒙ル、ソレハ潜在意識ガソコニ發露シテ居ルモノト私ハ言ハザルヲ得ナイ、吾々モ反省シテ、今申上ゲタヤウナ氣持デ事ニ當リタイト思ヒマスカラ、總理初メ閣僚諸公ニ於カレマシテモ、ヤハリ吾々ノ意見ヲ能ク靜ニ冷靜ニ聽キ、而シテ其是ナルモノハ之ニ從フ、即チ「廣く會議ヲ起シ萬機公論ニ決ス」デ、苟モ吾々ガ、議會ニ於テ職務ヲ行フ場合ニ於テハ、尋ネテ以テ、一定ノ意思ヲ發表シ、決議スルコトガ、是レ即チ萬機公論ニ決スル譯デアアル、政府ト雖モソレハ虛心坦懷ニ聽取サルベキモノデアルト思フ、是ハ政府ノ威信ヲ害スルモノデモナケレバ、國家ニ不忠ナル所以デモナイト思フ、併ナガラ私ハドウシテモ政府ト吾々ト見解ヲ異ニスル場合ニ於テハ、自ラ 陛下ノ御裁斷ヲ俟タナケレバナラスヤウナ場合モアリマセウケレドモ、心持トシテハ私ハサウ云ツタヤウニ、オ互ガ相手方ノ立場ヲ諒解シ合ッテ、相手ノ立場ニ同情ヲ持チ、理解ヲ持チ、而シテオ互ガ力ヲ協セテ

行カナケレバナラス、ソレヲ一カラ十迄聴ケト、言フ、ソレヲ聴カナケレバ怪シカラスト言フナラバソレハ吾々カラ言ヘバ協力デハナクシテ、盲従ニ過ギナイ、屈服ニ過ギナイと思フ、吾々ハ個人トシテハ如何ニナリマシテモ、議會トシテハ、飽マデモ盲従、屈服ヲ肯ズル者デハナイ、飽マデモ吾々ハ協力シタイト思フノデアリマスカラ、此點能ク御考ヲ願ヒタイト思ッテ居ルノデアリマス、此機會ニ於テ是ダケヲ先ヅ總理ノ御耳ニ入レテ置キタイ、簡單ニ御尋致シタイトコトハ、之ヲ總理カラ御伺致スコトハ或ハ甚ダ恐縮カト思ヒマスガ、此總動員法ノ中ニ補償ノ委員會ノ方ニ付キマシテハ、是ハ議決機關ニナッテ居ルヤウニ思フノデアリマス、而シテ最後ノ審議會ノ方ハ諮問機關ニナッテ居ル、一方ハ議決機關デアリ、一方ハ諮問機關デアル、此點ハドウ云フ考デ總理ハサウ云フヤウニ御決メニナッテノデアリマセウカ、先ヅ此點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○近衛國務大臣 只今川崎君ガ御述ニナリマシタ最初ノ、此法案ヲ審議シテ行ク上ノ心持ニ付キマシテハ、私ハ全ク御同感デアリマス、其事ニ付キマシテハ嘗テ初メテ此委員會ニ出席致シマシタ時ニ申述ベマシタ

ヤウニ、本當ニ此法案ニ付キマシテハ、皆サント御協力ヲシテ結論ニ達シタイト思フノデアリマス、只今ノ御尋ノ審議會ト補償ノ委員會ノコトハ、是ハ性質ガ相當異ナルト思ヒマス、此點ニ付キマシテハ政府委員ヨリ御答ヲ致サセマス

○青木政府委員 補償ノ方ノ委員會ハ、大體ニ於テ金額ヲ決定スルト云フ限ラレタ仕事ヲ任務ト致シテ居ルノデアリマス、隨テ是ハ議決機關トナッテ居リマス、第五十條ノ審議會ハ、重要ナル事項ニ付テ審議致ス爲ニ諮問機關トナッテ居リマス、是ハ事柄ノ性質、又從來ノ幾多ノ先例モ大體サウ云フ風ニ區別ガ出来テ居ルヤウニ考ヘテ居リマス

○川崎委員 今政府委員ノ御答辯ガアリマシタガ、私ハ時間モアリマセヌカラ、敢テソレニ付テ討論ノコトハ申上ゲマセヌ、唯私達カラ言ヘバ、單ニ金額ヲ決スル、左様ナ輕微ナモノデアルカラ是ハ議決機關トスル、片方ハ總動員ニ付テ本法施行ニ關スル重要事項ヲ審議スル、事重大デアルカラ是ハ諮問機關トスル、洵ニ政府ニ於テハ好都合デアアル、其點ニ付テハ見解ノ相違デアリマスカラ、敢テ此點ハ重ネテ御尋ハ致シマセヌ、唯總理ト致シマシテハ、能ク御耳ニダケハ入レテ置イデ戴キタイ、尙ホ此構成

ニ付キマシテハ、主トシテ國家總動員審議會デアリマスガ、先日來伺ッテ居リマスルト、此構成ハ大體今マデノ審議會ノ例ニ倣ッテ、或ハ各廳ノ關係高等官、或ハ學識經驗ノアル者、其中ニハ貴衆兩院議員ヲ入レルト伺ッテ居ルノデスガ、是ハ時間ノ省略ノ意味ニ於テ、若シ違ッテ居レバ後デ訂正ヲ願ヒマスガ、果シテサウ云フ構成デアレバ、之ニ付テ御伺スル前ニ、私ハ多少私見ニナリマスケレドモ、總理ノ御意見ヲ確メテ置キタイ、一體此審議會ニ於キマシテ、此審議會ノミナラズ、他ノ政府ノ或ハ總理ガ主宰サレ、或ハ各省大臣ガ主宰致シマス各種ノ調査會トカ委員會ガゴザイマスコトハ、今更私ガ申ス迄モナイ、其場合ニ於テ大體ノ先例ト言ヒマスガ、常ニ官制上ニ於テハ、構成ト致シマシテハ先ヅ關係各廳ノ高等官、是ガ第一次デアアル、ソレニ次イデハ場合ニ依レバ貴衆兩院議員ト云フコトヲ講ッテ場合モアルシ、謳ハナイ場合モアル、ソレカラ學識經驗ノアル者、斯ウ云ツタ意味デ構成サレテ居ル、是ガ普通デアリマス、而シテ實際ノ事實カラ言ヘバ、關係アルカ無イカ知ラヌガ、各省ノ事務次官ナリ或ハ政務官ナリ、サウ云ツタ方、或ハ局長トカサウ云フ役人ノ高等官ノ方ガ、寧ロ大半ト言ウタラ或ハド

ウカ知リマセヌガ、大抵ノ場合ニ於テ少クトモ半數近イ、或ハ半數ヲ超シタモノガ其構成ヲ成シテ居ル、斯ウ云フ形デ構成サレテ居ル、ソコデ或ハ大學ノ教授デアルトカ、或ハ民間ノ「エキスパート」學識經驗アル者ト云フヤウナ其少數ト、實際ノ代表者ハ貴衆兩院議員ヲ申譯ニ二、三人入ルト云ツヤウナ構成ニナッテ居ル、私ハ其點ニ付テ常ニ疑ヲ持ッテ居ル、而シテ實際ノ會議ノ有様ヲ見ルト、多ク關係各廳ノ高等官ノ委員ノ方ハ、ドノ會議デモ、特殊ノモノハ別ト致シマシテ、概括的ニ申シマスレバ、或ハ失禮ニ當ルカモ知レスガ並ビ大名デ、默ッテ居ルダケデアッテ、諮問サレタ案ニ付テ可否ノ意見ヲ言フノデモナケレバ、或ハ普通ノ場合ニ於テ一言半句モ發言セズシテ、大抵發言スル者ハ貴衆兩院ノ方デアルトカ、民間ノ方デアルトカ、斯ウ云フ方ガ發言スルダケデ、採決モ取ラナイ、形式ハ整ヘラレテ居ルケレドモ、實際ニ於テドノ調査會、ドノ委員會ニ於テモ——其代リ政府カラ言ヘバ、政府ノ意ノ儘ニ自由ニナリマスカラ樂デアリマスガ、果シテサウ云フコトデ、ソレノノ委員會ノ會ノ目的ヲ達スルニハ本當ニ能率ヲ擧ゲテ居ルカ、本當ノ目的ニ合致シテ居ルカト云フコトニ付テ、私ハ

非常ナ疑ヲ持ッテ居ル、私ノ考カラ言ヘバ、役所ノ事ハ關係各廳ノ高等官ノ方ガ態、サウ云フ委員會トカ審議會ニ入ラナイデモ、ソレハ各々關係ノ役所ノ事務ニ付テハ平素連絡ヲ付ケテ、其事項ニ付テノ連絡ヲ取ル、内部ノ仕事ハ此方法デオヤリニナッテ、斯ウ云フ委員會トカ、調査會ト云フモノニ付テハ、ヤハリ主トシテ民間ノ方々ノ意見ヲ聽ク、其ノ衆智ヲ其處ニ——衆智ト言ウタラ或ハ僥越カモ知レマセヌガ、兎ニ角民間ノサウ云フ人ノ意見ヲ聽イテ參考ニスルトカ、更ニ又其人ノ意見ニ依ッテ安排サレルト云フ意味カラ言ヘバ、斯ウ云ッタヤウナ調査會ナリ委員會ナリハ、私ハ民間ノ者バカリデ、寧ロ關係各廳ノ高等官ト云フヤウナ者ハ入レナイ方ガ宜イト思フ、或ハ特殊ノ場合、特別ノ事情ノアル場合ハ別デアルガ、一般ノ場合ニハ、サウ云フモノハオ役所ノ内部關係ヲ連絡ヲ取リ協調ヲ取ル、企畫院モ出來テ居レバ、内閣ト云フモノモアルカラ、サウ云フモノヲ統制ヲ保ッテ、外部ニ互ニ意見ヲ徵スルトカ諮問スルトカ、議ヲ經ルト云フコトハ、ソレハ主トシテ民間ノ學識經驗アル者、或ハ貴衆兩院議員、或ハ實業家其他ノ「エキスパート」ヲ入レル、サウシテソレノ方面カラ知識ヲ其處ニ吸收スルト云フコ

トデ、意見ヲ容レル、意見ヲ聽クト云フコトガ私ハ宜イト思フノデアリマスガ、此點ニ付テ、苟モ政治ニ付テ是カラ漸次革新的ナ態度ヲ以テ臨マルルト云フナラバ、先ヅ第一歩トシテ斯ウ云フコトカラ手取早ク御始メニナツタラ宜イト思ヒマスガ、如何デアリマスカ、伺ッテ置キマス

○近衛國務大臣 只今ノ御意見ハ洵ニ御尤デアリマス、全然官吏ヲ除クト云フコトハ、是ハ出來ナイ事デアリマス、今ノ御趣旨ノ點ニ付キマシテハ、能ク諒承致シマシタカラ、今後有ユル調査會ノ構成ヲ考ヘル上ニ於キマシテ、考慮致シタイト思ヒマス

○川崎委員 總理ノ御答ヲ伺ヒマシテ、總理ノ御心持ハ能ク分リマシタ、私ト致シマシテハ、總理ニ私ノ考ヲ御諒解願ッテ、將來ノコトニ付テノ御參考ニナリマスルコトヲ、失禮デハアリマスガ非常ニ愉快ニ考ヘマス、就キマシテハ、サウ云ッタヤウナ意味ニ於テ、此五十條ノ國家總動員審議會ノ構成ニ付テハ、私ノ希望ト私ノ意見カラ申シマスレバ、今申上ゲタ私ノ意見ノヤウニ、關係各省ノ高等官ト云フモノハ餘リ入レナイデ、寧ロ民間ノ即チ學識經驗アル者ト言ヒマスガ「エキスパート」ト言ヒマスガ、殊ニ本案ノ性質カラ考ヘテ、貴衆兩院ノ議員ヲ入レテ戴キ

タイ、私ハ我田ニ水ヲ引ク意味デハアリマセヌガ、唯私ハ本案ノ運用上カラサウシタ方ガ宜イト思フノデスガ、此點ニ付テ總理ニ重ネテ御所見ヲ伺ッテ置キタイ

○近衛國務大臣 此五十條ハ御承知ノヤウニ、政府ガ廣汎ナル委任ヲ受ケルノデスカラ、隨テ國民ニ對シテモ、一種ノ不安ヲ與ヘルト云フコトヲ慮リ設ケラレタモノデアリマス、サウ云フ經緯カラ出來タモノデアリマス以上ハ、此構成ニ付キマシテハ、會テ申上ゲタト思ヒマスガ、貴衆兩院議員、民間ノ有力者等ヲ成ベク多數此中ニ入ッテ戴クコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、唯其割合等ハ尙ホ考究ヲ致シタイト思ヒマス

○川崎委員 私ノ希望カラ申シマスレバ、實際ハ民間ノ「エキスパート」ト、貴衆兩院議員ノミデ是ハ構成シタ方ガ最モ宜イト思フノデスガ、總理ノ只今ノ御言葉ニ依リマシテ、趣旨ニ於テハ變リナイヤウニ伺ヒマシテ、兎ニ角吾々ノ希望ノアル所ヲ能ク御耳ニ御留メ願ヒタイト思ヒマス、又總理ノ御答辯ニナリマシタコトニ付キマシテハ、御言葉通りニ假ニ是ガ實現サレタ場合ニ於テハ、十分ニ實行サレンコトヲ、私ハ此際ニ申上ゲテ置クノデアリマス、尙ホ此點ニ付キマシテハ、諮問ニ應ズルトアリマスガ、

私ハ總理ニ對シテハ餘リ時間ヲ取リタクナイノデ、餘計ナ事ハ申上ゲマセヌ、必要アラバ後デ政府委員ノ方ニ申上ゲマスルガ、最後ニ私ハ結論カラ言ヒマス、段々説明ヲ伺ッテ居ッテモ、重要事項ニ付テ政府ノ諮問ニ應ズルト言ヒマスルケレドモ、實際此儘デ運用シテ行ケバ、私ハ只今ノ政府ノ御答辯ニ依ッテモ、實際ニ於テハ之ニ諮問サセルノハ殆ド少イ、重要ナモノニ付キマシテハ、軍機ニ關スルモノヲ除クトアッテ之ヲ除クト云フコトニナレバ殆ド諮問スルモノハナイノデハナイカト思フ、唯喧シク言フカラ委員會ヲ設ケテ置クノダト云フ位ニシカナラスコトニナッテシマヒハシナイカト云フコトヲ惧レル、隨テ私ノ考カラ言ヘバ、之ヲヤハリ補償委員會ト同様ニ、議決機關ニシタイ、補償委員會ノヤウニ單ニ金額ヲ決定スルダケデモ、サウ云フモノヲ作ッテ居ルノニ、此重要ナ法案ヲ諮問ニ止メルコトハ、私ハ本末顛倒ダト思フ、アチラノ方ハ諮問ノ程度デ結構ダケレドモ、此重要ナ事項ニ付テ、政府ノ意思ヲ決定サレル場合ニ於テ、而モ國民ノ意思ト言ヒマスルカ、一般輿論ト言ヒマスルカ、國民ノ聲ト言ヒマスルカ、ソレヲ聽イテ、誤リナイヤウニシヨウト云ウナレバ、是ハ議決機關ニナスベキモノト

思フノデス、而シテ之ニ諮問スベキ事項ニ

置キタイ

付キマシテモ「本法施行ニ關スル重要事項ニ

○近衛國務大臣 政府ト致シマシテハ、此

付政府ノ諮問ニ應ズル」之ニ付テモ吾々ガ問

五十條ノ規定ハ諮問機關デアルコトヲ適當

題ニ致シタヤウニ、是ガ通ルトシテ假定シテ

デアルト考ヘテ居リマス

申シマスレバ、廣汎ナル所謂白紙委任ト申

○川崎委員 止メル積リデスガ、一寸御伺

シマスカ、勅令ニ委任致シテアル、是ハ總

シタイ、尙ホ勅令ノコトナドハ、一步譲ッテ、

テ其議ニ付スルト云フコトニナラナクテ

假ニ諮問ニ致シマシテモ、勅令ハ總テ之ニ

ハ、吾々議會ノ立場カラ不安トシテ居ル點

○近衛國務大臣 勅令ノ内容ニ互リマスコ

ハ除カレナイ、眞ニ除カントセバ眞ニ萬機

トハ、大體此委員會ニ掛ケルコトニナリマ

公論ニ決スベキデアル、澤山ノ委任ノコトデ

スノデアリマス

アリマスカラ、全部諮問デナクシテ、勅令ヲ全

○川崎委員 ドウモ總理ヲ煩ハスコトハ甚

部議ニ付スル、斯ウ云フコトニサレマセスカ、

ダ恐縮デスガ、勅令案其モノヲ私ハ之ニ諮

色々ナ法律上ノ議論ガアレバ、ソレハ政府委

員ノ方ニ後デ御伺致シマスガ、總理ト致シマ

シテ、サウ云フコトニ囚ハレズ、眞ニ大乘の

致シマス

ニ、本當ノ政治的ノ御考ヲ御持ニナッテ、今

○近衛國務大臣 ソレハ先例ニモナイ事デ

言ッタヤウナ勅令ヲ總テ此議ニ付スル、而シ

アリマシテ、不適當ト考ヘマス

テ之ヲ議決機關ニスル、斯ウ云フ意思ガア

○川崎委員 是レ以上總理ニ煩シマセヌ、

リ御決心サヘ付ケバ、本案ノ將來ノコトニ

唯先例々々ト仰シヤルコトニ付テハ、先ニ

付キマシテ、今マデヨリ展開スル場合ガ多

モゴザイマシタガ、サウ云フ點ヲ餘程總理

カラウト思フ、餘程見直シテ來ルト思フ、

ハ御考ヲ願ヒタイ、御答辯ハ要リマセヌ、

又ソレガ國家ノ爲ニ是非必要デアルト思フ

自分ノ都合ノ惡イ時ニハ先例ガ無イカラヤ

ノデアリマスカラ、此點ニ付テハッキリシタ

ラスト言フ、サウシテ一方デハ眞ニ國家ノ

御所見ヲ伺ッテ置キタイ、私ハ總理ヲ是レ以

爲ニ革新ヲ圖リ、刷新ヲ圖ルト云フナラバ、

上惱マスコトハ好ミマセヌカラ、是デ私ノ

徒ニ斯ウ云フ所迄モ先例ニ囚ハレズニヤッ

質問ヲ打切りマス、ハッキリ御答辯ヲ伺ッテ

テ貫ヒタイ、先例ト云フコトハ、謂ハハ從

來ノ役人ノ方々ノ仕來リト云フカ、サウ云

シテモ、今回ノ事變ノ如キハ、此前政府委

フ人方ノ考ヲ含マレテ言フダケニ過ギナイ

員モ此中ノ一部ダケ發動スル、斯ウ申シマ

ト思フ、總理トシテ思切ッテ改革ヲヤラウ、

シタガ、私ガ御伺シタイノハ、本法案ノ審

國務大臣トシテヤラウト云フナラバ、サウ

議ニ付テ、國民ハ大體憲法論ハ別トシマシ

云フ手ッ取早イ方カラ、私ハ改革ニ著手サレ

テ、三ツノ方面カラ心配シテ居ル、一ツハ

タラ宜カラウト思フ、其意味ニ於テ、私ハ

私ガ昨日秘密會ニ於テ述べタコト、今一ツ

切ニ御勸ヲ致シテ置キマス、答辯ハモウ求

ハ本法案ガ通過シマシタ場合ニ於キマシテ

メマセヌ、大變煩シマシテ恐縮デアリマシ

ハ、目下ノ政治ノ情勢カラ考ヘテ、餘程縛ッ

タ

テ置カスト、或ハ惡ク言ヘバ本法案ヲ濫用

○小川委員長 宮脇君

スル者ガアリハシナイカ、濫用スル者ナシ

○宮脇委員 極メテ簡單ニ要ヲ摘マンデ質

ト云ヘバソレ迄デアリマスクレドモ、私共

問致シマス、私ハ先ヅ第一ニ二箇條ダケニ

ハ濫用セント欲シテモ、濫用シ得ナイヤウ

付テ御伺致シマス、第一ニ御伺スルノハ

ニ縛ッテ置カナケレバナラスト考ヘル、ソコ

「本法ニ於テ國家總動員トハ戰時（戰爭ニ準

デ此第一一條ハ相當縛ッデアリマスルガ、併ナ

ズベキ事變ノ場合ヲ含ム以下之ニ同ジ）ニ際

ガラ能ク讀シテ見マスナラバ、強イテ惡

シ」ト書イテアル、私ハ總理ノ御出席ノ上デ、

用濫用セントスル者ガアリマスナラバ、ド

陸海軍大臣ドチラデモ宜シウゴザイマスカ

ウ振廻スノカト云フコトガ一ツノ心配デア

ヲ、御答ヲ願ヒタイガ、戰時ニ於テハ必シ

リマス、ソコデ戰時ト申シマシテモ、場合

モ本法ノ發動ヲ見ズト解シテ宜シウゴザイ

ニ依ッテハ發動セヌ場合ガアル、事變ト申シ

マスカ、戰時ハ必ズ發動スルノデアリマス

マシテモ發動スル場合ガアル、私ハ此第一

カ

一條ヲ前ノ見地カラ餘程考ヘテ見ナケレバナ

○杉山國務大臣 狀況ニ依リマシテ決定致

ラスト思フ、ソコデ斯ウ云フ風ニ直ス意思

シマス

ハアリマセヌカ、「本法ニ於テ國家總動員ト

○宮脇委員 サウデアリマセウ、戰時ト申

ハ大本營設置ノ戰時又ハ事變」大本營設置

シマシテモ、日獨戰爭ノ如キハ此發動ノ必

ノ戰時又ハ事變ト云フコトニ縛ッテ置ケバ、

慮ノ點ガ省ケル、而シテ本案設置ノ目的ニハ背カス、之ニ關シテ私ハ何等今マデノ經緯ニ因レズ、本法案施行ノ曉ニハ、眞ニ國民ガ協力シテ、本案ヲ守ツテ行クト云フ所ノ頭ヲ去ッテ大處高處ヨリ虚心坦懷ニ御答辯願ヒタイ

○杉山國務大臣 只今宮脇君ノ御述ベニナリマシヤウニ、之ヲ改メルコトハ考ヘテ居リマセヌ、即チ第一條ニ申シテ居リマシヤウニ「戰時（戰爭ニ準ズベキ事變ノ場合ヲ含ム……）」此場合ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ重ネテ申シテ置キマスルガ、此法案ハ是ガ發布サレマシタナレバ、平時ニ於テハ此二十一條以下ノ發動スルモノモアリマス、又必要ニ應ジテハ四條カラ二十條ノ間ニ於キマシテモ、準備計畫ヲスル爲ニ必要ナルモノハ、之ヲ發動シナケレバナラスモノモアリマスルガ、是ハ狀況ニ依ルノデアルト云フコトヲ申シタノデアリマス

○宮脇委員 準備ニ關シテハ、本案デ書イテアルモノモ、大本營設置ノ場合ト同ジデス、準備法ハ同ジデス、大本營設置ノ場合ト書イテモ、ソレハ出來マス、ソコデ私ガ申スノハ、能ク國民ノ側ニナッテ考ヘテ貰ヒタイ、之ヲ惡用濫用スル者ガナイト思ヒ

マスレバソレ迄デアリマス、併シアッテモ惡用、濫用出來ヌヤウニスル、而シテアナタハ是デ宜イト云フガ、戰時ト云フ宣戰ノ布告ガアッテモ、此法案ノ眞意ヲ考ヘテ見レバ、之ヲ發動シナイデ宜イ場合ガアルデセウ、今申シタヤウニ其場合ニ戰時ト云フコトニ名ヲ藉リテ、本案ノ發動ヲ見ナクテモ宜イ場合ニ發動スル場合ガアッタドウスルカ、是ガ一ツ、其頭ノ持主ガ此事變ヲ解釋スレバ、如何ヤウニモ解釋出來ル、何ト云ッテモアナタノ言フコトハ理窟ニナラス、宜シウゴザイマスカ、私ハ之ニ付キマシテ重大デアリマスカラ、今後私ハ自分ノ時間ガ來タ時ニ總理ニユックリ伺ヒマスカラ、先ヅ是ダケヲ伺ッテ置キタイ

○杉山國務大臣 此度ハ支那事變デアリマス、併ナガラ大本營ハ設置サレテ居リマス、サウシテ此總動員法ハ、之ヲ直チニ今施行シナケレバナラス、全部ヲ施行シナケレバナラスト云フコトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス

○宮脇委員 私ノ質問ニハ何モ御答ニナラナイ、私ハ大本營設置ニ際シト書ケバ宜イト云フノデ、大本營ヲ設置シタ場合ノ戰時若クハ事變ト書イデ置ケバ宜イ、大本營ヲ設置シテモ之ヲ發動シナクテモ宜イ、宜ウ

ゴザイマスカ、能ク速記録ヲ御覽ニナッテ戴カナケレバナラス、私ハ此次ノ時ニユックリ質問ヲ致シタイ
第二點ハ第五十條ニ付テ陸軍大臣ニ御伺シタイガ、本法ヲ施行シマスル曉ニハ統帥權干犯ノ虞ハアリマセヌカ

○杉山國務大臣 其虞ハナイト思ヒマス

○宮脇委員 第五十條ニハ斯ウ書イテアル「本法施行ニ關スル重要事項（軍機ニ關スルモノヲ除ク）」トアリマス、然ラバ本法施行ニ關スルモノニハ、軍機ニ關スルモノガアルト見テ宜イ、宜シウゴザイマスカ、モウ一遍申シマス、第五十條ニ「本法施行ニ關スル重要事項（軍機ニ關スルモノヲ除ク）」トアル以上ハ、本法施行ニ關スル中ニ、軍機ノ事項ガアルニ違ヒナイ、ソコデ企畫院總裁ガ作田君ノ質問ニ對シテ斯ウ答ヘテ居ル「軍機、軍令ニ關スル事項ハ、統帥權ニ屬スル事項デアリマス」、然ラバ第五十條ヲ見テ本法施行ノ曉ニハ、軍令ニ關スル事項ガ入ルノデアアル、軍令即チ統帥權ニ關スルコトデアアル、統帥權ニ關スル事項ハ帷幄上奏シテ、茲ニ軍令ガ成立スル、斯ウナラナケレバナラス、又本法ノ實體カラ見マシテモ、當然是ハ軍機ト看做スコトガ出來ル、之ヲ御伺シタイ

○杉山國務大臣 私共ハ軍機、軍令ニ關シテハ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、即チ純然タル——純粹ナル軍機軍令、軍機軍令ニ關スル事項、即チ憲法第十一條ニアリマスル統帥權ニ關スル事柄ハ、是ハ軍機軍令デアリマス、併ナガラ第十二條ニ於キマスル俗ニ編制大權ト申シマスル此中ニハ、統帥ニ關係ヲ持ッテ居リマスル事柄ト、軍政ニ關係ヲ持ッテ居リマスル事柄ト、又軍政ダケニ關係ヲシテ居ル事柄ガアルノデアリマス、茲ニ申シテ居リマスノハ、第十二條ニ依ル編制大權ニ依ル軍機ニ關スル事項ヲ申シテ居ルノデアリマス

○宮脇委員 前申シヤウニ企畫院總裁ノ述ベタノハ、「軍機軍令ニ關スル事項ハ、統帥權ニ屬スル事項デアリマス」ト言ッテ居ル、然ラバ茲ニ軍機ト云フ——是ハ今直チニ御答辯出來マスマイ、私ハ此事ニ付テハ重大ナ事項デアリマスカラ、全諸公ト總理ノ面前デ以テ私ハ質問ヲシマス、之ヲ能ク御歸リニナッテカラ、各官ガ協議シテ明日答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、今日ノ委員會ニ於ケル質問ガ如何ニモ長クテ仕方ガナイノデ、私ハ一ツ模範的ニヤリタイト思ヒマシテ、是ダケニ致シテ置キマス

○瀧政府委員 宮脇サンニ一寸御答シテ置

キマスガ、私ノ申シマシタノハ、軍機、軍令ハ統帥權事項ト斯ウ言ッタノデアリマス、「關スル」ト云フ字ガ入ッテ居ナイ筈デスガ、若シ入ッテ居ルトスレバ軍機、軍令ト云フ意味デス「關スル」ト云フノハ第三ニ述ベタ積リデアリマスカラ……

○宮脇委員 然ラバ一應伺ヒタイ「軍機、軍令ニ關スル事項ハ、統帥權ニ屬スル事項」ト書イテアルノデアリマスガ、若シ違ッタトスレバ、斯ウ云フ重要事項ハ早く直シテ置カナケレバナラス、要スルニ今言ウテモ駄目デスカラ、御歸リニナッテ各官デ協議シナサイ

○植原委員 議事進行デス、資料ノ要求デス、先日モ陸軍大臣ニ御願シテ置キマシタガ、昨日ノ篠原君、牧野君ト政府ノ質疑應答ニ鑑ミマシテモ、亦只今ノ宮脇君ノ質問ノ赴ク所ヲ考ヘマシテモ、結局此法案ガ通過シタ時ニ、誰ガ此全體ノ機構ヲ動かスカト云フコトガハッキリスレバ、此問題ハ餘程解消サレルト思ヒマス、ソレ故ニ此國民ノ生活全體ヲ支配スルコトノ出來ル此法案ガ戰時若クハ之ニ準ズル事變ニ因ッテ運営サレル時ニ、之ヲ運営スルノ責任ヲ持ツ者ハ全體誰カ、ドウシテ是ガ内閣ノ現在ノ制度ト相併立シテ摩擦相剋ノナイヤウニ、國民

ガ安心スルヤウニ出來ルカ、家ヲ建テルニモ「プラン」ガアル、私ノ要求スルノハ此法律ヲ運用スル所ノ「プラン」デアル、其「プラン」ガナクテ此法律ガ出來ヨウ筈ガナイ、其「プラン」ヲ定メテ戴キタイ、建築ノ言葉デ言フ「エレヴェーション」マデ出セトハ言ハヌ、此法律全體ヲ總括スル所ノ機構「プラン」ヲ、出來ルダケ迅速ニ此委員會ニ御提出ヲ願ヒタイノデアリマス、之ヲ委員長カラ政府ニ御要求ヲ願ヒマス

○小川委員長 政府ニ申上ゲマスガ、植原君ノ今ノ議事進行ノコトニ關シマシテハ度々請求ガ出テ居リマスカラ、ドウカ速ニ御提出アラシコトヲ望ミマス、是ニテ休憩シマス、午後八時ヨリ開會致シマス

午後六時四分休憩
午後八時二分開議

○小川委員長 休憩前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、山崎君ノ質疑ノ繼續ヲ許シマス——山崎君

○山崎委員 御許ヲ得マシテ御質問申上ゲマス、木戸厚生大臣ニ御尋シタイト思ヒマス、最初ニ私ハ本法案ノ制定ノ曉ニ於キマシテ、戰時又ハ事變ニ際シマシテノ勞働對策、之ニ對シマシテドウ云フヤウナ御考ヲ持ッテ

居ラレルカ、對策ガ立テラレルカ、此一點ヲ先ヅ御聽カセヲ願ヒマシテ、順次御質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 戰時ニナリマス、先ヅ考ヘラレルコトハ、第一ニ動員ガ下リマス、隨ヒマシテ各工場カラ相當ノ應召兵ガ出ルコトト思ヒマシテ、ソコニ大キナ産業上ノ缺陷ガ出來テ參リマス、同時ニ軍需工業ハ非常ナ勢デ擴張サレルコトト存ジマス、隨ヒマシテソコニ向ッテ此缺陷ヲ補フ上ニ、更ニ職工ヲ入レテ行カナケレバナラスト存ジテ居リマス、同時ニ又所謂平和産業ノ方面カラ仕事ガ縮ッテ來ル所モアリマス、隨ヒマシテソレ等ノ勞働者ヲ成ベク圓滑ニ適正ナ配置ヲスルト云フコトガ、先ヅ第一ニ考ヘナケレバナラスコトデアラウト思ッテ居リマス

○山崎委員 只今御説明ヲ願ヒマシタ點ハ當然爲サネバナライコトデアルト思ヒマス、ソコデ私ハ戰時ニ對シマスル所ノ勞働對策ニ付キマシテ、現實ノ問題ト致シマシテ、或ハ又斯様ナ權力ヲ持ツ法案ガ戰爭ノ爲ニ制定セラレマシテ發動スルト云フコトニ付キマシテハ、色々精神的ノ方面ニモ、或ハ又健康ノ方面ニモ考ヘラレネバナラナイト思ヒマス、過日ノ委員會ニ於キマシテ

同僚ノ西尾委員ガ、色々體育上ノコトニ付キマシテモ、或ハ勞働安排ノ點ニ付キマシテモ、御質問ガアツコトヲ承ッテ居リマス、私ハ先ヅ最初ニ、本案ガ制定セラレマシテ軍需品工場、或ハ各種軍需品生産工場ニ移動スル所ノ熟練工——必然ニ斯様ナ法案ガ制定セラレマシテ、國防完壁ノ爲ニ此事業ガ各所デ開始セラレルト致シマスナレバ、熟練工ガ斯様ナ方面ニ段々ト吸集ヲセラレマス、其結果一般中小ノ町工場ガ此熟練工ノ缺乏ノ爲ニ大變惱ムノデゴザイマス、此點ハ實際問題トシテ慎重ニ御考ヲ願ハネバナライナイト思ヒマスガ、此點ニ付キマシテ何カ厚生大臣ニハ具體案ガアラレマスカ、御聽カセガ願ヒタイノデゴザイマス

○木戸國務大臣 戰時ニ當リマシテ軍需工業ガ擴張セラレマスル時ニハ、何レ各方面ニ於テ若干ノ不便ハ起リマス、併ナガラ之ヲ成ベク平時ヨリ準備ヲ致シテ適正ニ勞務ヲ配置スルト云フコトニ付テハ、今後十分厚生省トシテモ其對策ヲ考ヘテ行ク積リデ居リマス、只今御話ノ中小ノ工業方面デアリマスルガ、此點ニ付キマシテハ、何レ商工當局ノ方ニ於テモ十分ナ調査ガ出來ルコトト思ヒマスルガ、ソレニ對應致シマシテ、單ニ所謂軍需ノ大工場ノミナラズ我國ノ工

業ノ状態カラ申シマス、此軍需工業ニ付
キマシテモ、相當多數中小工業ガアルノデ
アリマスルカラ、ソレ等ノ職工ノ配備ト云
フコトニ付キマシテモ、大工場ト同様ニ考
ヘマシテ、相當ノ對策ヲ講ジ、是等ノ爭奪
戰等ノ起ラヌヤウニ配置シテ行カナケレバ
ナラスト思ヒマス

○山崎委員 此問題ニ付キマシテハ、政府
ニ於キマシテハ各國ノ參考書類ヲ永年ニ互ッ
テ御研究ヲサツテ居リマスノデ、斯様な場
合ニハ斯様な方法ヲ採ラノダト云フヤウナ、
具體的ナ説明ヲ少シ御聽カセガ願ヒタイノ
デアリマスケレドモ、此場合議事ノ進行上、
時間ノ關係上強ヒテ御説明ヲ願ヘウトハ思ヒ
マセスガ、只今厚生大臣ノ御言葉ノ如クニ、
産業ガ偏ツテハナラナイノデアリマス、人ノ
氣持ト云フモノハ小サイ工場ヨリハ大キナ
工場ヘ、是ハ平時ニアツテモサウデゴザイ
マスガ、特ニ斯様な軍需産業ノ場合ニハ、
人間ハ誰デモ見榮ト云フモノヲ持チマスカ
ラ、ドウシテモサウ云フ方面ニ吸收サレ易
イノデゴザイマス、之ヲ喰止メマスノニハ、
中小工場主ハ相當ニ苦心ヲ致シマス、ソコ
デ結局喰止メル方法ト致シマシテハ、左様
ナ方面ヨリハ高額ノ賃銀ヲ拂ハナケレバ來
テ呉レナイト云フコトニナリマス、一方軍

需品工場ハ盛ンダガ、斯様な事變ガ長期ニ
亙ツタナラバ、ドン／＼ト一方ノ小サイ工
場ハ疲弊ニ傾キマス、厚生大臣ハ左様な中
小工業ノ方面ニモ軍需ノ仕事ガ廻ルト云フ
コトヲ言ハレマシタガ、確ニ是モ私知ツテ居
リマス、ケレドモ軍需關係デナイ普通ノ消
費物ヲ製造スル方面ニ特ニ響キマス、御言
葉ヲ戴キマシタ如クニ、商工省ノ方面トモ
能ク御協議下サツテ對策ヲ御立テニナルト
云フコトデゴザイマスガ、私ハ之ヲ期待シ
テ居ルノデゴザイマス、同時ニ左様な場合
ニハ中小工業ノ現業者トモ出來得ルナラバ
打合ス機關ヲ御設ケ願ヒマシテ、萬々左様
ナ方面ニ支障ヲ來サナイヤウニ、特ニ此場
合御願シテ置キタイト思ヒマス
次ニ御尋シタイト思ヒマスガ、近時勞働
階級モ勞働階級ノ社會的重要性、國家的ノ
立場ト云フコトヲ段々自覺致シマシテ、自ラ
勞働者デアルト云フコトヲ恥ヂナイ程度ニ
ナツタノデゴザイマス、是ハ國家ノ爲ニ洵ニ
喜ブベキコトダト思ヒマスガ、併ナガラマ
ダ智ノ程度ニ於キマシテハ、大變遲レテ
居ルコトヲ否定スルコトハ出來ナイト思ヒ
マス、ソコデ勞働ノ神聖ト言ヒマスガ、勞
働ノ大切ナコト、之ヲ十分自覺サシテ、勞
働者デアルト云フコトハ斷ジテ恥デハナイ、

寧ろ勞働者デアルト云フコトガ名譽デア
ルト云フヤウナ工合ニ迄、其勞働階級ノ意識
水準ヲ高メル方法ガ講ゼラレナケレバナラ
ナイト思ヒマス、是ハ特ニ産業資源ノ少イ、
加工ヲ以テ將來立行ク所ノ我國ニ於キマシ
テハ、最モ大切デアルト考ヘマス、デアリ
マスガ爲ニ、今私設ノ勞働學校ト云フモノ
ガ、各地ニ少シハゴザイマスケレドモ、厚
生省ニ於キマシテハ將來政府ガ各都市ニ勞
働學校ヲ設立シテ、技術ノ向上、日本精神
ノ鍊磨、人格ノ向上ト云フヤウナ點ヲ目的
ト致シマシテ、勞働學校ノ設立ノ必要ヲ御
認ニナラナイカト云フコトヲ私ハ御尋致シ
タイト思ヒマス
更ニ時間ノ簡略上幾ツモ御問申上ゲテ同
時ニ御答ヲ願ヘバ結構ダト思ヒマス、今一
寸私ハ統計ヲ持ツテ居リマセスガ、是ハ厚生
省ノ方ニアルト思ヒマス、年々我國産業ノ
犠牲トナツテ斃レル所ノ勞働者ガ相當ノ數
字ニ上リマス、或ハ又片手、兩手ヲ無クス
ルト云フヤウナ、産業ノ犠牲ノ爲ニ不具者
トナル所ノ勞働者モ相當アリマス、是等ハ
暫ク措キマシテ、産業ノ犠牲者トナツテ斃
タ勞働者、謂ハハ産業ノ犠牲者、其家族ノ
悲慘ナルコトハ洵ニ想像ニ餘リアルノデゴ
ザイマス、一家ヲ其腕ニ依ツテ支ヘテ居リマ

シタ所ノ家長ガ亡クナツタト云フヤウナ爲
ニ、殆ド其親、妻子ガ路頭ニ迷フト云フヤ
ウナ状態ハ、各所ニ見受ケラレマス、之ニ
對スル所ノ救済方法ハ幾ラモアリマスケレ
ドモ、ソレハ殆ド見ルベキモノハアリマセ
ス、私ハ是等ノ家族ヲ何等カノ方法デ救済
スル方法モ考ヘテ戴キタイシ、更ニ我國産
業ノ發展開發ノ爲ニ、犠牲トナツテ斃レタ産
業犠牲者、是等ニ對シマシテ、何カ神社デ
モ國家ガ設立致シマシテ祀ツテヤル、此靈ヲ
慰メテヤルト云フヤウナ施設ノ必要ガ將來
アルノデハナイカト云フコトヲ痛切ニ感ジ
マス、此問題ニ付キマシテハ三四年前デア
タト思ヒマスガ、慥カ内務省ノ社會局デゴ
ザイマシタカ、此案ガ一應立案サレタコト
ガアツタヤウニ承ツテ居リマス、併ナガラ此
時ニハ考ノ違ツタ反對者ガアリマシテ、結局
左様な反對者ガアルナラバ、コンナ難カシ
イ問題ハマア措イテ置ケト云フヤウナ工合
デ、立消エニナツタト云フコトヲ耳ニシテ居
リマス、所ガ此問題ガ外部ニ知レマスルヤ、
各地ニ於キマシテ産業犠牲者感靈祭ト云フ
ヤウナ喜バシイ催シガ行ハレマシタ、是ハ
私ハ當然ナコトデアリ、最モ喜ブベキコト
デアルト考ヘマス、戰爭ノ爲ニ斃レマシタ
所ノ戦死者ニ對シマシテハ、靖國神社ノ奥

深く永久ニ祀ラレル、是ハモウ當然ノコト
デゴザイマスガ、我國産業開發ノ爲ニ斃レ
タ労働者デモ、戦時ト平時ハ違ヒマシテモ、
國民ガ齊シク是ハ感謝シナケレバナラナイ
デヤナイカト云フコトヲ私ハ考ヘマス、ソ
レデ三四年前ニ内務省社會局デ御考ニナラ
レマシタヤウナ工合ニ、何カノ神社デモ拵
ヘマシテ、其靈ヲ祀ツテヤルト云フヤウナ點
ニ付キマシテ御考ガアラレマセウカ、是非
又是ハ何カノ方法デ實現スルヤウナ工合
ニ御考ヲ願ヒタイ、之ヲ希望スル次第デゴ
ザイマス、更ニモウ一ツ、將來益、労働ニ對ス
ル必要性ト、ソレカラ労働者ノ地位ノ向上
ト云フコトニ付キマシテハ、今労働學校ト
私ガ申上ゲマシタノハ、是ハ主トシテ技術
ツ私ハ各國ニハアルコトヲ承知シテ居リマ
スガ、労働大學、斯様ナモノヲ國家ガ設立
スルト云フ考ヲ持ツテ戴キタイ、斯ク考ヘマ
スガ、此三ツノ問題ニ付キマシテ御考ガ承
リタイト考ヘマス

○木戸國務大臣 御尋ノ第一ノ問題ハ、勞
働者ガ近時段々教養ガ向上シテ參リマシテ、
國家的ニ働イテ居ルト云、フ自覺ヲ以テヤッ
テ居リマス、更ニ之ヲ進メル意思ハナイカ、
其一ツノ手段トシテ労働學校ト云フヤウナ

モノヲ政府ニ於テ作ル考ハナイカト云フ御
尋デアッタト存ジマス、政府ニ於キマシテモ
今次事變ノ際ニ於ケル労働團體ノ態度等カラ
見マシテモ、非常ニ今日ハ此國家的自覺ヲ
以テ活躍シテ居ラレルコトニ付テハ、敬意
ヲ表シテ居ル次第デアリマス、益、此氣持ヲ
助長致シマシテ、産業人トシテ國家的自覺
ヲ促シ、眞ニ國家ノ倚託ニ副フガ如キ心構
ヲ把持サセルト云フコトニ付テハ努力シタ
イト考ヘテ居リマス、サウシテ其方法トシ
テ學校デアルトカ、或ハ講習會トカ云ツタヤ
ウナモノニ付テハ、相當ニ今後トモ施設ヲ
シテ行カナケレバナラスト存ジテ居リマス
ソレカラ第二ノ御尋ノ産業ノ犠牲者、其
産業ノ爲ニ犠牲トナツタ者ノ家族ノ悲惨ナル
境涯ニ陷ツテ居ルコトニ付キマシテハ、御話
ノ通りデアリマシテ、洵ニ同情ニ堪ヘナイ
ノデアリマスルカラ、今後トモ社會政策、
或ハ社會事業等ノ方面カラモ、此救済ニハ
十分ノ努力ヲシタイト存ジテ居リマス、唯
御話ノ神社設立ト云フコトニ付キマシテハ、
御話ノ通りサウ云フ議モゴザイマシタデア
リマセウガ、神社ヲ設立致シマススト云フコ
トニ付キマシテハ、各般ノ方面ニ付テ十分研
究致シタ上デナイト、中々決定致シ兼ねル
ノデアリマス、此點ハ御趣旨ハ何モ私ノ方

トシテ異存ハナイノデアリマス、篤ト考究
シタイト思ツテ居リマス

ソレカラ第三ノ労働大學ト云フ問題デア
リマスルガ、此問題ハ今日ノ所直チニ労働
大學ヲ作ルト云フコト迄マダ考ヘテ居リマ
スガ、將來ノ問題トシテハ漸次此方面ニ
向ツテ、教育ノ制度等ニ付テモ擴充シテ行カ
ナケレバナラス思ツテ居リマス

○山崎委員 第一ノ産業ノ犠牲トナツテ傷
イタ者、或ハ其家族ノ救済ニ付キマシテハ
御考ヲ願ヘルト云フコトヲ聽キマシテ、厚
生大臣ノ御言葉ヲ信ジマシテ満足スル次第
デゴザイマス、ソレカラ犠牲トナツテ斃レタ
産業ノ犠牲者ノ祠ト言ヒマセウカ、神社ト
言ヒマセウカ、是ハ産業經營者カラモ、或
ハ一般社會人カラモ相當注目ノ眼ヲ以テ、
同情ノ眼ヲ以テ見ラレテ居リマスモノデ、
政府ガサウ云フコトガ宜シイト云フコトヲ
御考ヘ下サイマラスナラバ、強イテ是ハ政府
ノ經濟ヲ煩ハサズトモ出來ル譯ナンデアリ
マス、私ガ承ツテ置キタイと思ヒマスノハ、
政府ガ主ニナツテ斯ウ云フ事ヲヤラレルト
云フコトニナリマスレバ、又政府トシテノ
相當ノ責任モアリマセウシ、且又經濟ノ關
係モゴザイマセウケレドモ、政府ニ於キマ
シテ厚生大臣ガソレハ宜シイト云フヤウナ

御考ガアルナラバ、是ハ直チニ生レルコト
デゴザイマス、ソレデ此點ニ付キマシテモ
ウ一度御考ヲ伺ツテ置キタイと思ヒマス、ソ
レカラ第二點ノ技術ノ向上、知識ノ高揚、
人格ノ養成ト云フヤウナ點ニ付キマシテ、
労働學校ノ建設ト云フコトニ付キマシテハ
直チニ政府ガ金ヲ出サズトモ、民間ニ於キ
マシテモ斯様ナ試ミガ爲サレルト致シマスナ
ラバ、政府ハ幾ラカノ之ニ補助金ヲ出シテ
ヤルト云フヤウナ御考ハナイデセウカ、是
モ御聽キシテ置キタイと思ヒマス、ソレカ
ラ第三點ノ労働大學建設ノ件デゴザイマス
ガ、是ハ單獨ニ労働學校ヲ設立スルト云フ
ヤウナコトハ費用ノ點モゴザイマセウシ、
色々困難デゴザイマセウガ、現在アル所ノ
大學ニ併セテ一ツノ分科ヲ設ケテモ、部門
ヲ設ケテモドウカト云フコトヲ考ヘマスガ、
重ネテ此三點ヲモウ一應御伺シテ見タイト
思ヒマス

○木戸國務大臣 第一ノ御尋ノ神社ノ問題
デアリマスルガ、是ハ所管ガ實ハ内務省ニ
アリマス、隨ヒマシテ私ノ氣持ハ先程申上
ゲタノデアリマスルガ、之ヲ民間デ設立シ
タナラバ認ムルカドウカト云フヤウナ問題
ニナリマスルト、私ハ一寸責任アル御答辯
ハ差控ヘタイト思ヒマス、殊ニ此神社ハ例

へバ民間デ作りマシテモ、無格社デアッテハ直チニ問題ガ起ルノデアリマス、何カ格式ヲ付ケナケレバナラスト云フコトニナリマスルガ、サウナリマスルト祭祀ノ祭神ト申シマスカ、其問題ガ直グ起ルノデアリマシテ、サウ云フ點カラ見マシテ、只今民間デ是ガ出来タカラト云ウテ、直グ政府ガソレヲ認メルヤ否ヤト云フコトハ、内務大臣カラ責任アル御答辯ヲ願フ外ハナイト思ヒマス、ソレカラ労働學校ヲ民間デ作ツタナラバ補助ガ出来ルカドウカト云フコトハ、今日

文部省デハ主トシテ長期講習ト云フヤウナコトデヤツテ居ルノデゴザイマスガ、若シ學校ヲ設ケマシタナラバソレニ補助スルカト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ篤ト研究シタ上デナイト、一寸責任アル御答辯ハ申シ

兼ネルノデアリマス、ソレカラ労働大學ヲ現在ノ大學ノ部門ニシテ之ヲ行フト致シマシテモ、事ガ具體的ニナリマスルト、財政其他ノ關係モアリマスルカラ、御趣旨ハ大體ニ於テ何等反對スルコトハナイノデアリマスケレドモ、篤ト考慮シタイト思ヒマス

○小川委員長 山崎君ニ一寸御注意申上ゲマスガ、アナタノ御質問ハ一時間ヲ超エテ居リマスカラ、適當ニ質問ヲ纏メラレンコトヲ望ミマス

○山崎委員 委員ノ方々ニ御許ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、決シテ御無理ハ申シマセス、是非ハ質問ヲ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス、成ベク早く済マセマスカラ、少シ時間ノ御猶豫ヲ願ヒマス

○小川委員長 本案ニ關聯シテ御質問ヲ願ヒマス

○山崎委員 關聯シテ居リマス、關聯シナイコトハ申上ゲマセス——委員長ハ先程時間ガ最早經過シテ居ルト仰シヤイマシタガ、サウ急ガレテハドウモナリマセス、先程二回御尋シタダケデ最早時間ガ經過シテ居リマスデセウカ

○小川委員長 サウデス、三回デスカラ經過シテ居リマス

○山崎委員 私ハ一寸異議ガアリマス、國民ノ代表トシテ議場ニ臨ンデ居ルノデスカラ、餘リ支障ノナイ限り御許シ願ハナケレバ困リマス、最初ニハ色々點マデ述べラレテ、今ハ束縛サレテハ實際困リマスガ、幹部ノ方々ガ左様ナ工合ニ御話下サツトスレバ仕方ガアリマセス

○小川委員長 理事會デ左様ニ相談致シマシタ、此議場ノ空氣ヲ御覽ニナリマシタラ御分リニナルト思ヒマス

○山崎委員 甚ダ恐入リマスガ、商工大臣

ト内務大臣ハ今日御見エニナツテ居リマセマスガ、次ノ機會ニ簡單ニ質問ヲ御許シ下サルト云フコトヲ留保シテ戴キタイト思ヒマス

○西岡委員 議事進行ニ付テ一寸——ソレハ全部終リマシテ、時間ノ餘リガアツタ場合ニ留保致スト云フコトニシテ、ドウカ一ツ次ニ御進行アランコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○小川委員長 サウ云フ風ニ致シマス

○山崎委員 ソレデハ陸軍大臣ニ御尋致シマス、軍管區ノ改正、聯隊區ノ改正ナンドエガ、既ニ御存ジノコトト思ヒマスガ、一縣ガ幾ツニモ跨ッテ西ニ行キ、東ニ行キ、右ニ行キ、左ニ行キト云フ、ヤヤコシイ狀態ニナツテ居リマス、是ハ行政上非常ニ困ッテ居ルノデアリマス、之ニ付キマシテ、總動員法ノ制定ノ曉ニ於キマシテハ、聯隊區ノ區域ノ改正ハ是非實行シテ戴キタイト思ヒマスガ、陸軍大臣ノ御意見ハ如何デアリマセウカ

○杉山國務大臣 聯隊區ト行政ノ區域ト一致サセマスコトノ必要デアルト云フコトハ、ズツト以前ヨリ考ヘテ研究ヲ進メテ參ッテ居ルノデアリマス、偶、此ノ度ノ事變ニ依リマシテ、今後ノ陸軍部隊ノ配置ニ付キマシテ

ハ、又相當ノ變更ガアラウカト存ジテ居リマスガ、成ベク早く行政區劃ト聯隊區トヲ一致セシメルヤウニ考慮致シテ居ルノデアリマス

○山崎委員 モウ一ツ簡單ニ御尋致シマス、是ハ私現地デモ見テ來マシタシ、又屢、耳ニスルコトデアリマスガ、私共日本國民トシテ斯ウ云フ問題ニハ軍ノ名譽ニ關スルコトデゴザイマスノデ觸レタクナイト思ヒマスガ、問題ハ申上ゲズトモモウ御分リニナツテ居ルト思ヒマス、戰地ニ於ケル肅軍ノ方法ハ相當ニ考ヘラレネバナナイノデヤナイカト云フ工合ニ考ヘマスガ、是ハ私斯様な問題デゴザイマスノデ、餘リ深クハ追究致シマセス、此點ニ對シマシテ簡單ニ御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○杉山國務大臣 山崎君ノ只今ノ御尋ニナリマシタ事柄ニ付キマシテハ、陸軍中央當局ト致シマシテモ十分ニ注意ヲ致シ、又出先ノ指揮官ニ於キマシテモ嚴ニ其實行ヲ確實ニスルコトニ努メテ居リマス

○山崎委員 有難ウゴザイマシタ

○小川委員長 川崎君

○川崎委員 モウ大分質疑ハ盡サレテ居ルヤウデゴザイマスカラ、私ハ極ク簡單ニ御尋致シタイト思ヒマス、隨テ閣僚或ハ政府

委員デ結構デス、簡潔ニ御答願ヒタイト思ヒマス

先ヅ御尋致シマスガ、假ニ本法ガ成立致シマシタ場合ニ於キマシテ、本法ハ何時カラ施行サレルコトニナリマスカ

○青木政府委員 附則ニアリマスヤウニ、施行ノ期日ハ勅令デ定メルコトニナッテ居リマスガ、諸種ノ準備ヲ成べく早く完了致シマシテ、此施行勅令モ出來ルダケ早く出シタイト考ヘテ居リマス、期日ハ只今ノ所申上ゲラレマセス

○川崎委員 此勅令ヲ以テ定メラレルト云フコトハ、準備整ヒ次第成べく速ニ施行シタイ、斯ウ云フヤウニ承リマスガ、ソレハ能ク了承致シマシタ、而シテ段々本委員會ニ於テノ質疑應答ヲ伺ヒマシテ、大體明瞭ニナッテ來タヤウニ思フノデスガ、而モ明確ナコトハチットモナイノデアリマス、デ私ハ重複致シマスルガ、私ノ伺ッタコトガ間違ッテ居レバ私ハ訂正致シマス、此現在ノ日本ノ支那事變ヲ控ヘタ此際ニ、本法ノ所謂戰時ニ該當シテ此法ヲ運用シヨウトスレバ、實施シテ之ヲヤラウトスレバ、何時デモ其時機ニ當ッテ居ルト云フヤウニ伺ッテ居ルノデアリマス、果シテサウ云フヤウナ有様デアリマスナラバ、準備整ヒ次第本法ハ施行ヲ

サレルコトト、斯ウ云フヤウニ吾々ハ了解

シテ宜イト思フノデス、而シテ此準備ニ要スル豫算其他ノ經費ノコトニ付キマシテハ、同僚ノ河野君カラモ段々御質疑モアツタヤウニ伺ッテ居リマスガ、サウ云フ風ノ豫算關係ニ於テノ準備ハ、豫算ハ言フ迄モナク、是ハ此議會ニ於テ協賛ヲ與ヘナイ金ハ一文モ使フコトハ出來マセヌ、今後此議會ガ終リマスレバ、臨時議會ガ開カレ、バ別トシテ、然ラズンバ來ル通常議會迄ニ於テハ今吾々ガ協賛ヲ與ヘ、或ハ來ルベキ追加豫算ガ出マスレバ、ソレニ協賛ヲ與ヘタ以外ノ金ハ是ハナイノデアリマス、ガカラ現在協賛ヲ與ヘタル此豫算及ビ來ルベキ追加豫算ニ總テ準備ニ必要ナル豫算ヲ盛ッデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○青木政府委員 川崎サン御述ノ通り、本法ガ施行サレマスレバ、法律上ノ要件ハ具ッテ居ルノデアリマスカラ、必要ニ應ジテ其内容ニ互ルモノガ活動シ得ルコトニナリマス、豫算ノ關係ニ付キマシテハ、既ニ御協賛ヲ經テ居ル豫算ヲ使用シテ之ニ充當シ得ルモノモアルカト思ヒマスガ、尙ホ若干ノ追加豫算ニ付キマシテ只今研究致シテ居ル分モゴザイマス、マダ併シ確定致シテ居リマセヌカラ、内容ヲ申上ゲル時機ニハ達シテ居

リマセヌ

○川崎委員 只今御答辯ヲ伺ヒマシタ、私ハモット具體的ニ申シマス、宜シウゴザイマス、此法案ガ假ニ通過スレバ、之ニ要スル、少クトモ昭和十三年度ニ要スル經費ト云フモノハ、苟モ政府ガ此法案ノ通過ヲ確信シ、國家ノ爲ニ此法案ノ通過ガ必要デアルト云フナラバ、是ハ私ノ考カラ言ヘバ、追加豫算デハナイ、既ニ十三年度ノ通常豫算ニ於テ盛ラルベキモノデアル、ソレガ盛ラレテナイ、而シテ今マダ考慮シテ居ル、假令一厘一錢ト雖モマダ今後ノ問題デアルト云フコトハ、私ニハドウモ受取レナイト思フ、是ハ私ハ強イテ追究致シマセヌ、唯此事實ヲ此處ニ明瞭ニ致シテ置キマス、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○青木政府委員 先程モ申上ゲマシタ如ク、施行勅令ガ出マスレバ、法律上ハ效力ヲ發生致シマス、其内容ノ發動ニ付キマシテハ、先般來屢、申上ゲマシタ如ク、必要ニ應ジテ必要ノ部分ガ發動スルノデアリマス、例ヘバ現ニ實行シテ居リマス工場管理ニ付テ申シマスレバ、既定ノ豫算等ニ於テ支辨シ得ルモノモアルノデアリマス、尙ホ先程申上ゲマシタ意味デ、十三年度中ニドノ程度ノ本法ニ規定シテアル物資ノ使用、需要其

他ノ事柄ガ必要ニナッテ來ルカト云フコトガ確定致シテ居リマセヌ關係上、サウ非常ニ澤山ノ經費ヲ只今マデノ所豫定シテ居リナイ次第デアリマス、必要ト認メマシタ分ニ付テハ若干ノ追加豫算モ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○川崎委員 私ハ押問答ハ嫌ヒデスカラ、モウ質問ハ止メマスガ、要スルニ幾ラ先ノコトハ分ラスト言ッタツテ、政府ガ責任ヲ以テ豫算ヲ編成スル場合ニ於キマシテハ、殊ニ此時局、事變ト云フコトニ付テ何モカモ了解致シテ居リマス、軍事ニ於テモ吾々ハ内譯ヲ聞カズシテ五十億ニ垂ントスル此豫算ヲ、欣然トシテ文句ナシニ協賛ヲ與ヘテ居ルノデ、況ヤ茲デ一千万圓ヤ二千万圓金ハ合理的ニ理窟ガアルナラバ、文句ハ言ヒマセヌ、ガカラ本當ニ法案ヲ通ス積リデ、通ルト云フ確信ガアルナラバ、今後一箇年間ニ於テ、例ヘバ軍事費四十八億幾ラ、ソレノ協賛ヲ求メラレタヤウナ意味ニ於テ、用意シテヤラレル必要ガアルト思フ、又其用意ガナケレバナラヌ、豫算ヲ離レテ仕事ヲヤラウト云フコトハ、國家トシテサウ云フコトハ考ヘラレナイ、ガカラ私ハ是レ以上ハ追究モ致シマセヌシ、私ハ御答辯ヲ求メマセヌ、唯之ニ依ッテ私ノ言ハントスル

意味ヲ能ク御含ミニナツタラ宜シカラウ、而シテ反省ナスツタラ宜シカラウ

次ニ御伺シマス、甚ダ細カイコトデ恐縮デスガ、餘リ時間ハ費シマセヌカラ御辛抱ヲ願ヒマス、本案ノ第一條ニ於テ所謂戰時、而シテ（戰爭ニ準ズベキ事變ノ場合ヲ含ム以下之ニ同ジ）斯ウ書イテゴザイマスガ、此所謂戰時ト云フモノト、憲法第三十一條ニ規定シテアル戰時ト、同じ意味デアルカドウデアアルカト云フコトヲ御伺申シマス

○青木政府委員 戰時ト云フ意味ハ同様デアラウト思ッテ居リマス

○川崎委員 然ラバ私ハ御伺シマスガ、是ハ公ニナツテ居ッタノデスガ、又敢テ咎メモシマセヌガ、私ノ仄カニ伺ヒマス所ニ依リマスレバ、所謂政府ト云ヒマスカ、企畫院ト申シマスカ、最初ノ要綱、即チ此法案ニ對スル條文ノ整理ノ第一次ノ場合ニ於テ、戰時又ハ事變云々ト云フヤウニナツテ居ッタヤウニ伺ヒマス、ソレハ果シテ事實デゴザイマスカ

○青木政府委員 御説ノ通りデゴザイマス

○川崎委員 然ラバ其所謂最初ノ原案ノ戰時又ハ事變ト、今回ノ愈、法案ニナツテ來タ時ノ戰時ト云フモノト、ドウ云フ關係ヲ

持チマスカ

○青木政府委員 私共ノ考ヘタ意味ハ當初カラ何等變ッテ居リマセヌ、但シ事變ト云フ言葉ハ從來ノ幾多ノ法令ニ於キマシテ、内亂デアルトカ、或ハ國內ノ諸種ノ所謂事變、廣イ意味ノ事變ヲ意味シタヤウニ使ハレテ居ル節ガアリマスノデ、ソレヲ排除スル意味デ、斯ウ云フ風ニ修正致シタ次第デゴザイマス

○川崎委員 サウ致シマス、今ノ政府委員ノ御答辯ニ依レバ、曩ノ戰時又ハ事變ト云フ事變ハ、スッカリ捨テ、戰時ダケヲ殘シタ、而モ其戰時ノ中ニハ所謂括弧シテ、御丁寧ニ註釋ノアリマシタ戰爭ニ準ズベキ事變ノ場合ヲ含ムト云フコト、是ハ初メカラ戰時又ハ事變ト云フ時ノ戰時ニ該當スルト御考ニナツテ居ッタノデスカ、ドウデスカ

○青木政府委員 政府ノ考ハ初メヨリ只今ノ規定ノヤウニ考ヘテ居ッタノデアリマスガ、只今申上ゲマシタ如ク、從來ノ法令ノ用語トノ關係上、誤解ヲ生ズル虞ガアリマシタノデ、ハッキリスルヤウニ改メタ次第デゴザイマス

○川崎委員 能ク分リマシタ、今度ハ陸海軍ノ方ニ御伺致シマスガ、陸海軍共ニ刑法以外ニ、陸海軍ノ特殊ノ刑法ガアル、其刑法

ノ條文ノ中ニ戰時ト云フ言葉ガ私ハアルヤウニ思ヒマスガ、其戰時ト云フ意味ハドウ云フヤウニ御考ニナツテ居ルカ、ソレヲ御伺致シマス、是ハ單ナル解釋論ノヤウデアリマスケレドモ、私ハソレガ聽テ大キイ問題ダト思ヒマスカラ、其意味デ能ク落著イテ御返事ヲ願ヒタイ

○山脇政府委員 一寸取調ベテ研究致シマシテ御答辯致シマス

○川崎委員 ソレデハ御取調ノ結果御答願ヘレバ結構デアリマス、ソコデ是ハ私ノ解釋デスカラ敢テ主張ハ致シマセヌ、我ガ日本ノ憲法ヲ讀ンデ見マス、所謂憲法ニ於ケル戰時ト云フモノハ、私ハ憲法ハ憲法ノ條章ノ中ニ於テ解釋スベキモノデアルト思ヒマス、而シテ私ノ考ヘル所ニ依レバ、憲法第十三條ニ「天皇ハ戰ヲ宣シ和ヲ講シ及諸般ノ條約ヲ締結ス」私ハ憲法ノ申ス所ノ戰時ト云フモノハ、即チ戰ヲ宣シ、而シテ天皇ガ大權ニ依ッテ和ヲ講ゼラレル、其間ヲ戰時ト云フモノト固ク信ジテ居リマスガ、如何デゴザイマスカ

○青木政府委員 戰時ニ付キマシテハ、宣戰ノ布告ガアリマシテ、明ニ戰時トナルコトガ豫想サレルノデアリマス、此戰時ノ時機、適用サレル期間等ニ付キマシテハ、或

ハ法令ノ目的等ニ依リマシテ、其目的ニ適應スルヤウニ制定サレテ居ル分モアルカト思ヒマスガ、宣戰ノ布告ガアリマシタ場合ニハ、御説ノ通りト考ヘテ居リマス

○川崎委員 私ハ今憲法上ノ用語ニ於テ申上ゲテ居ル、私ハ大日本帝國憲法ニ於テ天皇ハ戰ヲ宣シ和ヲ講ス、戰爭ハ天皇ガ御始メニナリ、講和ヲナサルノハ天皇陛下デス、ソレ以外ノ人民ハ誰モ出來ナイ、議會モ出來ナケレバ、政府モ出來ナイ、而シテ 天皇ハ戰ヲ宣シ和ヲ講ゼラレル、其間ガ即チ憲法上ノ戰時ト私ハ固ク信ジテ居ル、然ルニ目的云々ト仰シヤルケレドモ、一體此頃ノ風潮ヲ考ヘテ見マス、私ハソレノ是非批判ハ問ヒマセヌガ、日本獨得ノ欽定憲法、而シテ其事ヲ高調サレテ居ル現内閣ニ於テ、私ハ苟モ此憲法ノ第三十一條ニ於ケル戰時ト云フコトニ付テ、註釋ヲ加ヘラレルナラ、政府ノ責任ニ於テ註釋ヲ加ヘラレ、バ宜イ、併ナガラ法律上ノ目的ガアレバ、ドウ解釋シテモ宜イト云フコトハ、果シテ國體ノ明徴ヲ叫ビ、天皇ノ尊嚴ヲ高調サレル諸公ニ於テ、左様ニ輕々ニ憲法ノ條章ヲ取扱ハレルカト云フコトニ付テ、私ハ一抹ノ不安ガアルカラ御尋シテ居ル、憲法第三十一條ニ於ケル戰時ト、此十三條ニ

於ケル私ノ申シタ關係トヲ明確ニシテ下サイ

○青木政府委員 先程申上ダタ如ク憲法ノ規定ノ上ニ於テハ左様ニナツテ居ルト思ヒマス、唯目的云々ト申シマシタノハ、國家總動員法ニ於テ、實際上戰爭ト同ジ事態ガ生ジテ居ルコトハ、今日御承知ノ通りデアリマスガ、其實質ハヤハリ戰時ト何等變ル所ハナイ、而シテ國家總動員法ノ發動ノ必要ニ於テモ同様デアリマスノデ、憲法ノ所謂戰時——狹イ意味ノ戰時ト云フコトダケデハ、十分ニ此法律ノ目的ガ達セラレマセヌノデ、斯ウ云フ風ニ之ニ戰時ニ準ズル事變モ謳ツテ居ル次第デアリマス

○川崎委員 是ハ聞捨テナラスコトデス、然ラバ御伺シタイ、現内閣諸公ハ大日本帝國憲法ヲ尊重スルト言ヒナガラ、憲法ノ條章ニアル、而モ明確ナ戰時又ハ國家事變ト云フ此文字ヲ、目的ニ依ツテハドウ變改サレテモ宜イ、ドウ註釋ラシテモ宜イ、斯ウ云フ御考デアアルナラバ、私ハ伺ハザルヲ得ヌガ、ソレニ對スル所ノ判斷ハ下シマセヌ、唯私ハ憲法ノ條章ナル字句ノ解釋ニ於テ疑義ガアル、政府ガ責任ヲ以テ其註釋ヲ加ヘ、解釋ヲ加ヘルコトニ付テハ私ハ異議ハ申立テマセヌ、唯樞密院ノ官制ノ中ニ、憲法ノ

條項又ハ憲法ニ掲ゲタル云々ト云フ規定モアリマセウ、憲法ノ條章ニ於テノ字句ニ重大ナル解釋ヲ政府ガ責任ヲ以テ下スト云フ場合ニ於テ、私ハ日本ノ憲法ナリ、日本ノ政治機構カラ言ヘバ、サウ云フ憲法上ニ重大ナル疑義ガアル場合、解釋ニ付テノ疑義ガアル場合ニ於テハ、政府ガ責任ヲ執ッテ御ヤリニナレバ、ソレニ付テハ文句ハ言ヒマセスケレドモ、普通ノ考カラ言ッテ、モウ少し自分バカリ偉イ積リデナク、皆ト相談ヲスルト云フ考デアレバ、斯ウ云フコト程憲法ノ番人タル樞密院ニ御相談ニナルベキガ至當デアラウト思フガ、此點ニ付テハ國務大臣ノ御答辯ヲ求メマス

○米内國務大臣 只今戰時ニ付テノ御質問デアリマスガ、憲法上ニ於キマシテハ宣戰布告ノ當日ヨリ、平和克復ノ日マデガ戰時デアリマス、是ハ憲法第三十一條ニ於キマシテモ、或ハ先程ノ御尋ノ刑法上ニ於キマシテモ、戰時ト云フコトハ同様デアリマス、但シ宣戰布告前ニ既ニ交戰狀態ニ入ッテ居ル場合ガアルノデアリマス、ソレモ後ニナツテ遡ッテ其日カラ戰時ニスルト云フヤウナコトモアルノデアリマス、其處ハ少シ違フト思ッテ居リマス

○川崎委員 國務大臣ノ御答辯ハ能ク了解シテ居リマス、私ハ此處デ敢テ國內法ノ憲法ト國際法ニ於テ、戰時戰爭ト云フモノハドウ云フモノデアアルカ、戰爭ノ時期ガ何時始ッテ何時終ルカ、サウ云フコトニ付テ、此處ハ大學ノ講壇デアアリマセヌカラ、サウ云フコトヲ論議スル意味デアアリマセヌガ、サウ云フ意味ヨリモ、大日本帝國憲法ヲ吾々ハ飽マデモ擁護シナケレバナラスト云フ立場カラ、憲法ニ使ハレテ居ル用語ト云フモノヲ輕々ニ註釋ヲ加ヘラレ、解釋ヲ加ヘラレ、時ノ内閣ニ依ツテ左右セラレルト云フコトヲ非常ニ私ハ遺憾トスル者デアリマス、此意味ニ於テ御尋シテ居リマシテ、只今ノ國務大臣ノ御答辯ニ對シテ私ハ滿腔ノ敬意ヲ表シ、同感ノ意ヲ表シテ置キマス、而シテ私ハ此處デ邪推カモ知レマセヌガ、此一言ダケハ敢テ私ノ責任ニ於テ申シテ置キマス、此本案ノ最初ノ案ノ時ニ「戰時又ハ事變」云々ト云フ言葉ヲ御用ヒヒナツタ、是ハ一種ノ慣用句デアアリマス、併シ此戰時又ハ事變ト云フモノハ、私達ノ憲法ヲ擁護スル立場カラ云ヘバ、寧ろ戰時又ハ國家事變ト云フノガ正シイト私ハ思フデス、併シ省略ト云フコトガアリマス、「ワタクシ」ヲ「ワシ」ト云フヤウニ省略スルコトガアリマスカラ、戰時又ハ事變ハ是ハ宜シイ、其事變マデモ之

ヲ及ボスコトガドウカト云フ世評ニ顧ミラレ、敢然ト改メラレタコトハ宜シイ、其點ニハ文句ハアリマセヌ、併シ左顧右盼シ、色々考ヘテ見テドウモ戰時ダケデハ困ルカラ、中ニ括弧ヲ付ケヨウト云フコトハ、私カラ言ヘバ、是ハ邪推デアリマスケレドモ、此川崎ノ邪推ガ惡ケレバ御叱リヲ受ケマスガ、私ハ自己ノ責任ニ於テ言ウテ居ルノデアリマス、能ク聽イテ下サイ、私ハ決シテ諸公ヲ責メル譯デモ、揚足ヲ取ル譯デモナイ、是ハ都合ノ惡イト云フコトハ能ク分ッテ居リマス、其點ニ付テ私ハ理解ガナイ、了解ガナイ譯デアナイ、併シ理解ヤ了解デ大日本帝國憲法ノ文字其モノヲ、色々ニ其時ノ政府ノ都合ニ依ツテ、括弧ヲ付ケテ註釋ヲ加ヘラレルト云フコトハ、甚ダ迷惑ト思ヒマスカラ、申上ゲルノデス、ドウゾ其點ハ能ク御含ミヲ願ヒタイ、目下ノ時局ニ鑑ミ、而シテ此場合ニ於テ、ドウシテモ或ル程度此法ガ成立シタ場合ニ此法ヲ發動サセナケレバナラスト云フ意味ニ於テ、今差當リノ支那事變ニ此法ヲ適用シナケレバナラスガ爲ニ、戰爭ニ準ズベキ事變ノ場合モ是ハ含ムト云フヤウナコトヲサレタコトト思フ、是ハ私ノ邪推デスガ、私ノ邪推デアリマスカラ誤リデアレバ私ハ謝リマスガ、私

カラ言ヘバサウ云フヤウナ時ノ一時ノ便宜ノ爲ニ、國家ノ憲法ヤ此恆久法タル動員法ヲ、オモチヤニサレルコトハ私ハ心外ニ堪ヘナイ、是ハ私ノ愚痴デスカラ、答辯ハ求メマセヌ、併シ御意見ガアレバ伺ヒマセウ

○青木政府委員 川崎サンノ御意見ノアル所ハ能ク分リマシタ「戰時(戰爭ニ準ズベキ事變ノ場合ヲ含ム)」ト云フ書キ方ニ付テノ御懸念デアラウト想像致シタノデアリマスガ、是ハ政府從來ノ立法ノ用例ト致シマシテ、此含ムト云フ書キ方ハ、戰時ノ意味ヲ廣ク解釋シタト云フヨリハ、先程御説ノ如ク、又私共ノ當初考ヘマシタ如ク、戰時又ハ事變ニ際シト云フコトト同ジデアリマシテ、但シ各條毎ニ同ジ文句ヲ繰返スノガ立法技術上煩ハシイ爲ニ、ア、云フ風ニ簡略ニ致シテ居ッタ、此意味ニ外ナリマセヌノデアリマスカラ、御諒承願ヒマス

○川崎委員 モウ是以上私ハ押問答致シマセヌ、私ハ内閣諸公ヲ咎メルノデハアリマセヌ、要スルニ斯ウ云フコトヲ私ハ國務大臣ニ申スノハ甚ダ失禮デハアリマスケレドモ、御無理ダト思フ、唯輔佐官タル諸公ガオヤリニナルニ付テハ、本當ニ此法ヲ握ッテ戴キタイ、即チ憲法ハ大法デスヨ、ダカラソレヲ握ッテ戴キタイ、憲法ノ第三十一條ニ

チヤント明ニ戰時ト云フ文字ガアルノデス、ソレヲ徒ニ一時ノ便宜ノ爲ニ、括弧デ註釋サレルコトハ私心外デアアル、是ガ實際必要ナラバ、モット勇敢ニ戰時又ハ戰爭ニ準ズベキ事變ノ場合、「斯ウ書ケバ宜イデハアリマセヌカ、飽マデ内閣諸公ガ、帝國憲法ノ第三十一條ニ於ケル戰時ハ、天皇ガ戰ヲ宣シ、和ヲ講ズル、此所謂戰時以外ニモ戰時ガアルト云フコトヲ御認メニナリ、ソレヲ勇敢ニ主張サレルナラバ、是ハ吾々ノ憲法ノ解釋ト非常ニ違ヒマス、恐ラク樞密院ニ於テモサウダト思ヒマスカラ、モウ一遍出直シテ、樞密院デ此憲法上ノ疑義ヲ決定シテ戴キタイト斯ウ言ヒタイノデス、國務大臣ノ御所感如何、是ハ御所見デ宜シウゴザイマス、法律上ノ議論ヲスル必要ハアリマセヌ、御所見ヲ伺ヒマセウ

○米内國務大臣 宣戰布告ヲセザル交戰狀態ヲ、從來事變ト申シテ居リマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○川崎委員 是ニ於テ私ノ理解シ、諒解スル所ニ依リマスレバ、國務大臣ノ御考ト事務當局ノ御考トノ間ニ、私ハ斷定ハ下シマセヌガ、若干ノ齟齬ガアルト云フコトヲ感得致シマシタ、是以上是ハ追窮致シマセヌ、能ク之ヲ御考ヲ願ヒタイ、其コトダケヲ申上

ゲテ置キマス、而シテ私ハマダ言ヒタイコトハアリマスケレドモ、ヨク此戰時ト云フ言葉ガ日本ノ憲法ヤ或ハ刑法ヤ或ハ陸海軍ノ刑法ニモ使ハレ、其他ノ用語ニ澤山アリマス、私ハ一々指摘スルコトハ煩ニ堪ヘマセヌカラ今日ハ申シマセヌガ、要スルニ戰時ト云フ言葉ハ色々ナ意味ニ使ハレテ居ルカモ知レマセヌ、又サウデアリマセウ、併ナガラ此總動員法ハ、假ニ成立スレバ、重大ナ國家ノ法律デアリマス、是ハ他ノ小サイ法律ト同一視スル譯ニハ行カナイ、サウ云フ時ニハ慎重ニシナケレバナラス、而モ總理ハ多年研究ノ結果茲ニ現ハレテ來タ、サウシテ最良ノモノデアルト考ヘテ居ラツシヤル、而シテ不用意ニモ憲法ノ用語ト是トガ齟齬スルヤウナコトガアレバ、私ハ非常ニ遺憾ダト思ヒマス、況ヤ時ノ内閣ガ時ノ都合ニ依ッテ、憲法ニ使ハレテ居ル言葉ニ付テ、徒ニ註釋ヲ加ヘルノハ私ハ僭越至極ダト思フ、次ニ御同致シマスガ、第五條ニ於テ帝國臣民及ビ帝國法人ノ協力ヲ命ゼラルル規定ガゴザイマスルガ、是ト第四條ノ帝國臣民ヲ徵用スルコト云フ規定トノ關係ヲ御説明ヲ願ヒマス

○青木政府委員 關係ト云フ御尋デアリマシタガ、第四條ノ方ハ一身ヲ捧ゲテ政府ノ命ニ從ッテ、總動員業務ニ從事スルコトヲ規定シタノデアリマス、第五條ハ帝國臣民、法人其他ノ團體ガ本務トシテデナク、業ノ傍、御手傳ヲスルコト云フヤウナ意味ニ出來テ居リマスノデ、其點ニ於テ違ヒガアルノデアリマス

○川崎委員 帝國法人其他ノ團體ニ付テハ諒解致シマスルガ、第五條ニ於テモヤハリ帝國臣民モ協力セシメルコトニナッテ居ルノデアリマス、其點ノ徵用トノ關係ヲ御同致シテ居リマス、其處ヲ申シテ戴カスト私ハ理解ガ出來ナイノデアリマス

○青木政府委員 只今御尋ノ點モ同様ノ區別ガアルノデアリマス

○川崎委員 私ハ議論ハイヤデスカラ申シマセヌガ、私ノ感じト云フカ、私ノ考ヲ申上ゲテ置キマス、一體第五條ノ如キハ、協力ヲ求メル、之ヲ法律ノ根據ニ依ッテ嫌ヤデモ協力サス、強制ヲ用ヒル、サウ云フ考ハドウカ、此考ヘ方ハ此委員會デ他ノ同僚カラ度々出テ居ルカラ私ハソレヲ繰返シマセヌ、要スルニ斯ウ云フコトハ本當ニ奉仕ノ國民ガ盡忠報國ノ精神ト至誠ヲ以テ御奉公スル、何モ之ヲ法律ニ依ッテ強制スル、徵用ノ點ハ別デス、私ハ他ノ委員ト或ハ意見ガ違フカモ知レマセヌ、必要ナル場合ニ依ッテ徵用スル其規定ハ必要デアアル、ソレハ宜シイ

ガ、協力ヲ求メルコト迄モ、協力ヲ命ズルコト迄モ、法律ニ規定セナケレバ一朝有事ノ場合、殊ニ此法ガ發動スル場合ニ於テ、

有事デモ最大有事、非常ニ國家ノ將來ヲ憂ヘテ死ヌカ生キルカト云フ時ニ、誰デモ協力スルナト言ッテスルヤウナ時ニ、法律マデヲ設ケル、餘リニ諸君ハ統一病ト言ヒマスカ、法制ヲ設ケルト、法制ノ「システム」ヲ拵ヘル爲ニ、日本ノ國體ノ特殊性、

金甌無缺デ世界無比ノ國體デアリ、所謂諸君ガ仰シヤル日本精神ト云フモノヲ餘リニ無視サレ、輕視サレルト思フノデアリマスルカラ、其意味ニ於テ私ハ寧ロ斯ウ云フ規定ハ削除サレルガ適當ダト思フ、少クトモ帝國臣民ニ協力ヲ命ズルコトヲ……、是ハ

ドウカト思フノデアリマスガ、ソレハ私ノ疑問トシテ殘シテ置イテ、其點ハ敢テ私ハ答辯ヲ求メマセヌ、而シテ時間モ過ギテ居リマスカラ、最後ニ私ハ伺ッテ置ク、是ハ同僚ノ羽田君カラ質問シテ居ッタノデ、私モソレヲ伺ッテ居タ、今内務大臣ガ居ラシヤイマセヌカラ、甚ダ物足りナイノデアリマスルガ、一言伺ッテ置キマス、此新聞紙法ナリ、或ハ出版法ニ於テノ安寧秩序ト云フ觀念、ソレニ於テノ適用サレル範圍、而シテ本法ニ於ケル國防上必要ナル云々ト云フ其觀念

ト、其範圍ガ如何ナル關係ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ伺ッテ置キマス

○青木政府委員 協力ニ付キマシテハ、御説ノヤウニ是ハ餘程道德的ナ要素ガ濃厚ニナッテ居ル規定ダト思ヒマス、其點ノ違ヒハ罰則ニ於テ此條文ダケガ除外サレテ居ル、第四條ト比ベテ、御趣旨ノヤウナ意味ガ自ラ本法ニ現レテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマス、新聞紙法第二十三條ノ治安、ソレカラ本法ノ國家總動員上ノ必要ト云フ事柄ヲ比ベテ見マシテ、先般モ若干例ヲ以テ申上

ゲタト思ヒマスガ、新聞紙法第二十三條デハ、該當シナイ事項ガ總動員上ノ必要ニハアルト斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○川崎委員 只今ノ御答辯デハ満足出來マセヌガ、時間モ段々過ギテ參リマスカラ、敢テ追窮致シマセヌ、此點ニ於テハ私モ不敏ダケレドモ、實ハ圖書課長マデヤッタノデ、相當御尋シナクタッテ、私ノ見識ト云フカ、私ノ意見ヲ持ッテ居ルノデス、唯今ノ政府委員ノ方々、サウ形式論理ニ囚ハレズシテ、モウ少シ世ノ中ノ本當ノ動キト云フモノヲ、世ノ中ガ本當ニ必要トスルモノガドウ云フコトダト云フコトヲ能ク御考慮ヒタイ、而シテ本當ノ世ノ中ノ事情ニ合致スルヤウニ、副フヤウニ所謂今ノ流行リ言葉デ、即

應スルヤウニ能ク御考ニナッテ、立法ニ於テモサレタラ宜カラウト云フ一言ヲ殘シテ置キマス

而シテ最後ニ御尋致シマスガ、制裁規定ノ中デ第三十九條、第四十條ニ於テハ刑法ノ併合罪ノ規定ヲ適用シナイト云フノハドウ云フ譯デスカ、他ノ點トドウ云フ關係ガアルノデスカ

○青木政府委員 只今ノ御質問ハ司法省ノ政府委員ヨリ答辯シテ戴クコトニ致シマス

○川崎委員 私ハドノ政府委員カラ御伺シテモ宜シイノデゴザイマスケレドモ、私ハ此處デ一言伺ッテ置キマス、甚ダ川崎僭越カモ知レマセヌガ、此重大ナル法案ハ、内閣一體トナッテ渾一融和シテ、ドレガドレト云フコトデハナクシテ、皆ガ一緒ニヤラナケレバナラスト私ハ思フ、ソレヲ此問題ハ司法省、此問題ハ何處其處、要スルニ幾ラ強辯サレテモ、是ハ寄合世帯ノ繼ギハギデ間ニ合セデアッテ、何等ノ統一モナク、何等ノ連絡モナイ、各省カラ持寄ッタモノヲ是モ宜カラウ、アレモ宜カラウ、是ハ餘リヒドイカラチヨンギッテ置ケト云フヤウナコトデ、殘ッタモノヲヤレト云フ状態デアル、衆智ヲ集メレバ宜シイケレドモ、苟モ政府トシテ一體トシテ責任ヲ以テ議會ニ臨ンダ時

ニハ、司法省モナケレバ、企畫院モナケレバ、海軍省モ陸軍省モアリマセヌヨ、政府一體トシテヤラナケレバナラス、此問題ハ彼處、是ハ彼處、サウ云フコトデハ第一政府自體ノ統一ガ付イテ居ナイデヤナイカ、要スルニ是ハ杜撰ナモノデアルト云フ一言ヲ以テ、私ハ答辯ヲ必要ト致シマセヌ、寧ロ私ガ教ヘテ上ゲテ宜シイ、私ハ是デ質問ヲ打切りマス

○植原委員 一寸牽聯質問ヲ致シタイガ御許願ヒタイ

○小川委員長 簡單デアレバ許シマス

○植原委員 私ハ本日宮脇君ガ、第一條ニ對シテ意見ヲ述べラレテ居ルコトニ對シテマダ答辯ヲ求メナイノデ、又求メル意思デモナカッタノデ其儘ニナッテ居リマスガ、ソレモ何レ答辯ヲ要スルコトト思ヒマス、ソレト今ノ川崎君トノ御質問ノ間ニ丁度同ジク思想上、又此法律ノ戰時ト云フモノノ解釋ニ對シテ關聯スルコトガアリマスカラシテ、茲デ私ハハッキリ其問題ヲ糺シテ置キタイト思ヒマス、川崎君ノ御質問ニナリマシタコトハ、憲法上ノ戰時ト云フ解釋ハ憲法第十三條ノ「天皇ハ戰ヲ宣シ和ヲ講シ」是以外ニ戰時ト云フ解釋ハ憲法上ハナイ、憲法ニ於テモ其意味ヲ酌ンデ三十一條ニ戰時ト

云フ文字ガ用ヒラレテ居ルノダ斯ウ云フコトデアツタト私ハ了解シテ居リマス、ソレニ對シテ青木政府委員ノ本法第一條ノ戰時ト云フ御解釋ヲ、青木政府委員ノ御答辯ニ依レバ此戰時ハ政府ガ認定スル解釋デア

ル、憲法上ノ解釋ノ第十三條ノ「天皇ハ戰ヲ宣シ和ヲ講シ」此意味ニ於ケル所ノ戰時ト云フ意味ト違フ意味ノヤウニ御答辯ガ

アツタト私ハ思ヒマス、此戰時ト云フ意味ハ川崎君ノ御質問ニナリマシタ憲法第十三條ノ規定ノ

天皇ハ戰ヲ宣シ和ヲ講ズルト云フ意味ト、憲法第三十一條ニ於ケル戰時ト云フ意味ト、同一ノ意味以外ノ意味ハナイト

解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○青木政府委員 憲法第三十一條ノ戰時ノ意味ヲ政府ガ自由ニ決メルト云フコトヲ先

程申上ゲタノデハナイノデアリマス、先程申上ゲマシタ如ク、憲法上ノ意義ニ於テハ

十三條ノ宣戰ガアリマシテ、三十一條ノ所謂戰時ニナルト解釋シテ居リマス、政府ガ

其解釋ヲ自由ニスルト云フコトハ申上ゲナカッタノデアリマス

○植原委員 ドウモハッキリ分ラナイ、此憲法第十三條ノ戰ヲ宣シト云フノト、憲法第

三十一條ノ戰時ト云フノト同一ノ意味ト解釋シテ宜シイカト聽イテ居ルノデス

○青木政府委員 國家總動員法ニ於テ、戰時ト申シマシタノハ左様デゴザイマス、同じ意味デゴザイマス

○小川委員長 猪野毛君、一寸申上ゲマシガ、内務大臣ハ齒ガ痛ミシテ出ラレナイ

サウデアリマス、アナタノ御質問ハ十分程殘ッテ居リマスカラ、其積リデ質問ヲ繼續セ

ラレンコトヲ望ミマス

○猪野毛委員 一寸伺ヒマスガ、今ノハ時間ニ制限ヲシロト云フヤウナ御話デスカ

○小川委員長 今マデノ方ガ大體一時間位ニ自制シテ戴イテ居リマスカラ、アナタハ

今マデ五十分程質問セラレテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○猪野毛委員 實ハ私ノハ陸軍大臣、文部大臣、厚生大臣、内務大臣、是ダケニハド

ウデモ伺ハナクテハナラナイシ、外ノ大臣ニモ質問ハアリマスカレドモ、是ハ時間

ガナケレバ序ノ時デモ宜シウゴザイマスガ、ドウシテモ是ダケノ御方ニハ是非伺ハナケ

レバナリマセス、大分時間モ遅ウゴザイマスガ、十時頃マデハオヤリニナル御考デセウカ

○小川委員長 ズットヤル積リデス

○猪野毛委員 成ベク簡單ニ進ンデ行キマシガ、今申上ゲタ方々ダケカラハ、今日ニ

限ツタコトハナイガ、是非伺ヒタイト云フコトヲ豫メ申上ゲテ置キマス、陸軍大臣ニ伺

ヒタイト思ヒマスルガ、外務大臣ガ見エテ居リマスカラ、一口簡單デスカラ伺ッテ置

キマス、世間ニ傳ハル所ニ依レバ、對支中央機關ナルモノガ新設サレルヤウニ聞イテ

居リマスルガ、事實斯ウ云フ新ナル機構ガ出來ル次第デゴザイマスカ

○廣田國務大臣 御承知ノ通り支那トノ此時局中及ビ時局後ノ關係ニ於キマシテハ、

經濟問題等ニ付テ相當日本人ノ活動範圍ガ擴マルト思フノデアリマス、隨テ是等ノコ

トヲ中央ニ於テ政府ノ意思ヲ決定シ、或ハ將來作リマス所ノ開發會社等ノ指導監督等

ノ爲ニ、中心ノ一ツノ組織ヲ設ケタイト存ジテ居ルノデアリマス、併ナガラソレヲド

ウ云フ形ニ決メルカト云フコトニ付テハ目下關係省ノ間ニ打合中デアアルノデアリマス

○猪野毛委員 御話ヲ伺ッテ見レバ御尤ト思ヒマスルガ、外交一元化ト云フ從來ノ原則カラ申シマスレバ、一寸ソレニハ副ハヌ

ヤウニ思ヒマスルガ、從來ノ外務省ノ外交一元化ト云フコトハ、是ハ時勢ニ依ッテ少シ

變更ヲ加ヘナケレバ國家ノ仕事ヲヤル上ニ於テ不便ガアル、斯ウ云フ御解釋デアリマ

スカ

○廣田國務大臣 外交關係ノ點ニ於キマシテハ、飽ク迄一元化ヲ保持シテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○猪野毛委員 外交一元化ノ從來ノ原則ヲ保持スルノナラバ、外務省デ之ヲ行フ譯ニ

ハ行キマセスカ、今日ノ機構ガ不完全デア

ルト云フノナラバ、之ヲ擴大強化スルトカ、改正ヲシテ之ヲヤラナケレバナラス、外交

一元化ハヤルノデアアル、ケレドモ機構ハ外

ノ所ニ持ッテ行ッテヤラセルノデアアル、一寸辻褄ガ合ハヌヤウニモ解釋サレルノデアリ

マス、是ハドウ云フノデアリマセウカ

○廣田國務大臣 私人ノ申上ゲマシタ趣旨ハ、御承知ノ通り經濟活動ニハ各種ノ仕事ガア

ルノデ、是ハ日本内地ノ各省官制ヲ見マシ

テモ、ソレノ經濟活動ニ依ッテ主管官廳ガ違ッテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ各種ノ產

業ニ付テノ政府ノ意思ヲ決定致シマスニ付

テノ意思決定ノ機關ガ必要ニナルト思フノ

デアリマス、ドウ云フ風ニシテソレヲ調和

シテ支那デ實行スルカト云フ點ナドニ付テ

打合セヲスル必要ガアリマスノデ、是ハ無

論サウ云フ場合ハ、普通ノ時ハ内閣ニ於テ

打合セヲシテ參ルベキ性質ノモノデアリマ

スガ、特別ノ時局ノ關係モアリマスノデ、敏速ニ事ヲ運ブ等ノ趣旨カラ相當ノ打合セ

ヲスル機關ヲ設ケタイト云フコトヲ考ヘテ
居ルノデアリマス

○猪野毛委員 私ハマダ之ニ付テハ相當ノ
意見ガアリマスケレドモ、大體外務大臣ノ
意向ダケヲ承ツテ置イテ、時間ノ關係モアリ
マスカラ、是ハ是デ止メテ置キマス、又何カ
ノ機會ニ承ルコトニ致シマス、次ニ陸軍大
臣ニ御尋致シタイト思ヒマス、兎モ角國家
總動員ト云フノハ、國防上必要ナコトハ悉ク
皆認メテ居ルノデアリマスルガ、問題ハ憲
法トノ「デリケート」ナ關係ニナツテ居ル點
ナノデアリマス、國防ノ完璧ハ期サナケレ
バナラス、戰爭ニハナントシテモ勝タナケ
レバナラス、併シ又一方ニ於テ憲法ノ條章
ニハ斷ジテ觸レテハ相成ラス、憲法ノ御精
神是レ 明治大帝ノ御精神ト申上ゲテモ宜
シイ、之ニハ些ノ瑕瑾モ與ヘテハナラス、斯
ウ云フノデ、實ハ私共モ甚ダ此間ノ事柄ニ付
テ苦心ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、今
マデノ答辯ヲ聽キマスルト、ドウモ政府ガ簡
單ニ此憲法ノ問題ヲ考ヘテ居ラレタヤウニ
見エル、ドナタノ憲法ニ付テノ御答辯ヲ伺ッテ
モ、極クドウモ簡單ナコトバカリ仰シヤッ
テ居ル、日本ノ憲法ハ私ガ申上ゲル迄モナ
ク、恐シキ莊嚴ナル、恐シキ世界無比ノ權
威ト尊サヲ持ッテ居ルモノデアアル、之ヲ餘リ

ニ無造作ナ解釋ヲシテ、斯ウ言ヘバ斯ウ言
ウタラ答辯ガ出來ルトカ等々、實ニ簡單ニ
考ヘテ居ラレマスガ、伺ヘバ伺フ程此大事
ナコトヲ私共ハ感ジテ來ルノデアリマスル
ガ、サウカト言フテ國防ヲ一日モ疎カニス
ルコトハ出來ヌ、戰爭ニハ勝タナクチャナ
ラスガ、此法案ヲ此議會デ十日カ二十日ノ
間ニ審議シナケレバ、ドウシテモ國防ノ安
全ヲ保持スルコトハ出來ズ、戰爭ヲヤツテモ
勝テヌト云フ風ナ御心配ガアリマセウカ、
又聽ッテ、ナニ一月ヤ二月ハドウスウト云フ
コトハナイ、モウ一遍一ツ憲法上ノ重大ナ
疑義ガアルナラバ、樞密院トモ相談ヲシ、
色々民間ノ政治家ヤ其他ノ者トモ相談ヲシ
テ、サウシテ臨時議會デモ開イテ、ソレデ
ヤツテ貫ハウカ、是ハ日時ガ一月遅レテハ大
變デアリマセウカ、ドウデスカ、一ツ斯ウ
云フ氣ニハナリ得ナイ程切迫シテ居ルカ、
勝ツ戰デモ此法律ヲ施行セズニヤレバ負ケ
ルト云フ考カ、單刀直入ニ御説明ヲ願ヒタ
イノデアリマス

○杉山國務大臣 今後ノ情勢ノ變化ニ付キ
マシテハ、全ク豫想ヲ許サスノデアリマ
シテ、此支那事變ノ狀態カラ考ヘマシテ、
又隣邦諸邦ノ情勢カラ考ヘマシテ、最モ速
ニ之ヲ制定致シマスル事柄ガ、國防上緊要

事デアルト感ジテ居リマス、尙ホ只今此總
動員法ヲ立案スルニ當リマシテ、研究ガ不
十分デアルカノ如キ御話デアリマシタガ、
其點ハ度々申上ゲマシタ如ク、十數年掛リ
マシテ研究ヲ重ネタ結果、而モ今日斯ウ云
フ情勢ニ於キマシテ、速ニ此制定ヲ必要ト
スルト云フコトヲ感ジテ御協賛ヲ願フ次第
デアリマス

○猪野毛委員 十數年モ研究サレタモノノ
内容ヲ大體知ツテ居ル、私ハ資源局ノ審議會
委員トシテ、相當資源局ナドデ研究シタ材
料モ知ツテ居リマスガ、外國ノ色々斯ウ云フ
機構ノ内容トカ、又内地ノ經濟、財政、人
員、サウ云フモノニ付テハ成程何十年ノ研
究ヲ經ラレマシタラウケレドモ、憲法ト是
ト果シテドウ云フ風ナ關係ヲ持ツカ、議會
ニ掛ケルカ、又議會ニ掛ケズシテ行クニハ
ドウカ、斯ウ云フ點ニ付テモ二十年ノ研究
ヲ積ンデ居ルト云フノデアリマセウカ、他
ノ末梢ノ事務ノコトハ御研究ニナツテ居リ
マセウガ、一番大切ナ本案ノ魂トナル點ハ
此處デアリマスガ、憲法上ニ付テモ二十年
モノ研究ヲヤツタノデスカ

○杉山國務大臣 憲法ノ條章トノ關係ニ付
キマシテモ、十分ニ研究致シマシテ、之ニ
低觸スルコトナシト云フ信念ヲ持ッテ提出致

シテ居ルノデアリマス

○猪野毛委員 其信念ガ勿論ナクテハ本案
ヲ議會ニ出スコトハ出來マセヌガ、此信念
ヲ作ル所ノ源泉ニ——、詰リ參謀ト言ハフ
カ、智者ト言ハフカ、「ブレーン・トラスト」ト
言ハフカ、茲ニ吾々ガ非常ニ物足りナイ點
ガアル、何トシテモ是ハ樞密院ノ議ニ掛ケ
ナイト云フコトハ、萬全ヲ期シタト云フコ
トハ、モウ是ハ理窟ハ別トシテ常識ノ上ニ
於テ言フコトハ出來ナイノデス、最モ日本
ニ於テ吾々ハ忘レテハナラス所ノモノハ、
憲法ノ條章ト憲法ノ御志デアラウト思フ、
陛下ノ御志ヲ忖度スルノハ畏多イノデアリ
マスケレドモ、陛下ハ決シテ憲法上疑義ガ
アルヤウナコトナラバ、樞密院ヘ何度掛ケ
テモ、陛下ハ御苦勞ダト云フ有難イ御言
葉デ、此政府ノヤウニ省イテヤツテモ大丈夫ダ
ト云フヤウナコトヨリハ、モット疑義ガアル
ノナラバ、幾ラデモ一ツ掛ケヨトノ大御心
ノヤウニ拜サレル、私ハ養老五年ノ 元正天
皇ノ御詔勅ヲ拜シマス、斯ウ云フ有難イ
コトガアル、「朕德菲薄ニシテ民ヲ導クコ
ト明カナラズ、夙ニ興キテ以テ求メ、夜ニ
寐ネテ以テ思フ、身ハ紫宮ニ居レドモ心ハ
黔首ニ在リ、卿等ニ委ネルコト無クンバ何
ゾ天下ヲ化セン、國家ノ事萬機ニ益有ラバ

必ズ奏聞ス可シ、如シ納レラレザルコト有
ラバ重ネテ極諫ヲ爲セ、汝面從シテ退イテ
後言有ルコト無カレ、斯ウ云フ尊イ勿體ナ
イ御言葉ヲ臣下ニ對シテ賜ハッテ居ラレル、是
ハ 元正天皇御一人ニ止マラズ、神武天皇
以來悉クノ 聖天子ノ國ヲ思ハル、御志デア
ルト伺ハレル、私共ハ此議論ノ分レルコト
ガ何ガ恐シイカト云ヘバ、憲法ノ事柄デス、
之ヲ無造作ニ取扱フヤウナ考デハ到底イカ
ス、陸軍大臣モ國務大臣デアリマスカラ、
憲法ニ付テモ無論シツカリシタ信念ヲ持ッテ
居ラレルコトハ疑ヒマセスガ、法制局トカ
司法省トカ企畫院其他ニ御聞キニナッテ、大
丈夫カ、大丈夫ダ、ソレデハト言ッテ大乗的
ニ行カレタモノト思フ、私ハ大乗的ニ行カ
レタコトヲ咎メマセス、咎メマセスケレド
モ、愈之ヲ議會ニ出シマシテ、色々議論ガ
出ルノハ——議員ノ心配ハ茲ニアルト云フ
コトヲ聰明ナル陸軍大臣ハ直感ナサルダラ
ウト思フ、十分ナル確信ヲ持ッテ出シタト言
フガ、事務當局ガ色々手コノ手ヲ用ヒ
テ答辯サレノデ、ドウモ私共臍ニ落チヌ
點ガ澤山アル、私ハ戰時ノコトニ付テハ全
ク素人デアリマスケレドモ、コ、一月ヤ二
ヶ月デ、此法案ガナケレバ日本ガ勝テナイ
ト云フヤウナコトハ、オドケニモ私ハ考ヘ

ラレナイ、吾々ハモット自信ト自尊心ヲ持ッ
テ居ル、ソレヨリハ恐ルベキコトハ、兎モ
角議員ニ一通リノ説明サヘ出來レバ、後ハ
ドウデモ宜イ、是ダケヲ早クヤッテ、輪廓ヲ
拵ヘテ、國防ノ完璧ヲ期サウデハナイカト、
斯ウ云フ大難把ノ、憲法ヲ考ヘナイ思想ガ
非常ニ私ハ恐ロシイ、苟モ此憲法ニ對シマ
シテ嚴格ヲ缺イタ所ノ考ノアル者ガ、萬一
戰爭ニ行クトシテモ、此兵隊ハ十分ノ働キ
ハ出來マセス、此人ハ飛行機ニ乗ッテ飛ンデ
モ、必ズ過ヲセナケレバナラヌコトヲ恐レ
ル、私ハ此心ナクシテ教育ヲ施シテモ、立
派ナ生徒ハ出來ス、私ハ斯ウ云フ風ニ考
ヘテ居ル、兎モ角齊戒沐浴シテ、天地神明
ニ誓ッテ、サウシテ此政治ヲヤル、日本
ノ祭政一致ハ此處カラ出テ居ルト思ヒマ
ス、是ハ私ガ申ス迄モナイコトデアリマ
ス、從來吾々ノ耳ニ聽イテ居ル所デハ、
隨分大難把ナコトヲ耳ニスルノデス、
憲法ダッテ國アッテノ憲法ダカラ、兎モ角
一ツ戰爭ニ勝タナクテハナラヌカラト、斯
ウ云フコトヲ能ク聽ク、此戰爭ニ勝ツ所ノ
信念、是ハ吾々モ大賛成ダ、ソレハ出先ノ
若イ者ガ言フナラバ仕方ガナイ、日本ヲ離
レテ戰線ニ立ッテ居ル兵隊ハ、憲法モ、家モ、
皆頭ヲ空ニシテ、兎モ角戰ッテ勝ッテ、天皇

陛下ト國家ニ御奉公ヲスル、身命ヲ捧ゲル
ト云フ氣持ヨリ外ハ何モノモナイト云フコ
トニハ私共ハ聊モ異議ハナイガ、苟モ國務
大臣、或ハ陸軍大臣等中央國務ニ當ラレ居
ル人々ハ、此間ノ事情ニ對シマシテ、充分
冷靜ニ、沈著ニ、一時ノ勢ニ乗ラズ、忠言
ヲ言ハレル者ガアレバ之ヲ聽ク、サウシテ
萬遺憾ナイト云フコトヲ見届ケナクテハイ
カスト私ハ思フ、憲法ヲ輕ク扱フヤウナ考
ノ者ハ、政治ヲヤッテモ碌ナ政治ハ出來ヌ、
先ニモ總理大臣ニ申上ゲタガ、陸軍大臣ガ
オ居デニナツカオ居デニナラナクツカ知
リマセスガ、之ヲ私ハ按ズル、私共ノ信念
ハ、日本ハ戰ッテモ決シテ負ケナイ、又國防
ノ完璧ヲ期スル爲ニハ、命ヲ投出シテモ異
議ノナイ者バカリデス、是ハ申上ゲル迄モ
ナイ、憲法ノ紛糾ヲ來シ、後世ニ禍ガ來ル
ヤウナ虞ガアルトナッテハイケナイト云フ
心配、是ガ洵ニ痛シ痒シト申シマスカ、兩
方ヘノ心配ニナッテ居ル、今マデノ過去ノ出
來事ヲ見マスルト、大丈夫ダ——ト云フコ
トヲ能ク仰シヤルケレドモ、大丈夫デナイ
コトモ中々アルノデス、從來ノ機構デ以テ
シテモ中々危ナイコトガアッタ、五、一五事
件、二、二六事件、三月事件、十月事件ト
云フモノモアッタ、今度此機構ガ出來マス

ト、善用スレバ善デアルガ、豫想ノ出來ヌ所
ノ萬々一ノコトガアルト——最悪ノ場合ト
云フコトヲ申サレマスガ、サウ云フコトマ
デ考ヘテヤッテ貰ハナケレバナラヌ、陸軍大
臣ハ將來ニ對シテサウ云フ邊ノ保證ヲ御持
チニナルコトガ出來マスカ、モット完全無缺
ナモノニシテ、二十日ヤ三十日ハドウデモ何
トカナル、モウ一ツ考直サレルコトガ、國
家ノ爲ニ宜シイデヤナイカ、斯ウ考ヘルノ
デアリマスガ如何デアリマスカ
○杉山國務大臣 本法案ニ付キマシテハ、
各機關ニ於キマシテ、十分慎重ニ研究致シ
マシタ、憲法ノ條章ニ十分ニ鑑ミマシテ、
此案ハ出來タモノデアリマシテ、私共ハ只
今猪野毛君ノ御注意ニナツタヤウナ點等ニ
付テハ、サウ云フ虞ハナイト信ジテ居リマ
ス
○猪野毛委員 是ダケ私ハ申上ゲマス、私
ハ申シタクナイコトヲ申上ゲタノデ、私ノ
國家ニ對スル義務ト申シマスルカ、國民ニ對
スル義務ト申シマスルカ、總理大臣ニモ、
陸軍大臣ニモ、是ダケ申上ゲテ、ソレデ今
ノヤウナ御答辯デアラナラバ、私ハ兎モ角
其通リノ御答辯ヲ御答辯トシテ承ッテ置キ
マス、尙ホ陸軍大臣ハ、軍部大臣ガ現役ノ
大中將デナクチャナラヌト云フコトデ、何

年カ以前ニ官制ノ改正ヲサレタノデアリマスガ、今モ尙ホ陸軍大臣ナリ海軍大臣ハ、現役ノ大中將デナケレバナラナイト云フ、斯ウ云フ御考デアリマセウカ

○杉山國務大臣 左様ニ考ヘテ居リマス

○小川委員長 猪野毛君ニ申上ゲマスガ、實ハ昨日議事進行ニ付テハ、御聴キニナッタデアリマセウガ、重複シナイヤウニ、又縁ノ遠イコトハ避ケルヤウニ、時間ヲ制限シテ議事ヲ進メタイト云フ議場ノ空氣モアリマシテ、理事會デハ大體一時間位ノ質問ヲ御願ショウト云フコトニナッテ居リマシテ、既ニ各質問者ハ皆サウ云フ所デ御自制下サテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ所モ御考戴キマシテ、質問ヲ成ベク調整セラレンコトヲ望ミマス

○猪野毛委員 議事ヲ急クコトニ付テハ諒承致シテ居リマシタガ、如何ニモ此案ガ重大デアリマスカラ、念ニハ念ガ入リマスカラ、餘計ナ時間ガ掛ツタ所ガアレバ、皆様ノ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、私ノ質問モ重複スルカ分リマセヌガ、此途カラ問ウタカラ斯ウ云フ御答辯ガアツタ、ダカラ富士山ニ登ルノニ、駿河ノ方カラ登ッテ見タカラ、今度ハ甲斐口カラ登ッテ見タラ、何トカ良イ所ノ眞理ヲ發見スルコトガ出來ナイカト、

斯ウ云フ私ノ考ナノデアリマス、此點ヲ一ツ御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソコデ陸軍大臣ニ御尋致シマスガ、何ガ故ニ現役ノ大中將デナクテハ、陸軍大臣、海軍大臣ニ不便ナ所ガアルノデセウカ

○杉山國務大臣 今日ノ世界ノ軍隊ノ編成裝備ハ、著シク變ッテ參リマシテ、又兵器モ始終進歩改善ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、是等ノ點ニ關聯致シマシテ、統帥ト軍政トノ連絡ヲ十分ニシ、國防ヲ完全ニ致シマスル爲ニハ、在郷ノ大中將ヨリハ、現役ノ者ガ宜シイト考ヘテ、現役ト云フコトニ規定サレテ居ルノデアリマス

○猪野毛委員 御尤ナ次第デアリマスガ、現役ノ大中將デナクトモ、官制ノ上ニ斯ウ云フコトヲ規定セズトモ、現役以外ノ大中將デモ、結構ヤリ得ルト云フヤウナコトヲ能ク言フ人モアルノデスガ、私ハ全ク軍ノコトハ素人デアリマシテ、陸軍大臣ガサウ仰シヤルナラバ、サウカト一應承ッテダケ置キマス、尙ホ陸軍大臣ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、假ニ今度ノ法案ガ通過ヲ致シタト假定シテ、此新機構ノ長官ハ武官デアリマスカ、文官デアリマスカ、又文官ガ都合ガ好イカ、武官ガ都合ガ好イカ

○杉山國務大臣 此點ニ付テハ屢、御説明申

上ゲタヤウニ、國家總動員法ノ調整統一ヲ致シマスノハ内閣總理大臣デアリマシテ、内閣總理大臣ガ之ヲ總テ致スノデアリマス

○猪野毛委員 内閣總理大臣ノ下ニ行フト云フコトニ付テハ聴キマシタガ、此間陸軍大臣ガ、假ニ其下ニ一ツノ國務省ノヤウナモノガ出來ルナラバ、之ヲ軍需省ト言ヒマセウカト、斯ウ仰シヤイマシタガ、此方ノ次ノ大將ト云ヒマセウカ、親方ト云ヒマセウカ、ソレニハ文官ト武官ト、ドチラガ宜シウゴザイマセウカ

○杉山國務大臣 只今御尋ノ點モ、慥カ昨日政府委員カラ御説明申上ゲタヤウニ存ジマスルガ、之ヲ實行致シマスル所謂施行機關ト致シマシテハ、各省ガ之ニ任ズルノデアリマシテ、若シ事態ガ非常ニ重大ニナリマシテ、各省ノ施行機關デハ十分デナイト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、或ル部分ニ於テ更ニ強力ナ機關ヲ作ル必要ガアリト考ヘテ居ルノデアリマス

○猪野毛委員 是マデ拵ヘタ所ノ機構以外ノ御話デゴザイマセウネ、アナタノ仰シヤルノハ……

○杉山國務大臣 各省デ施行機關トシテ必要ナル仕事ヲ致スノデアリマスルガ、其持ッテ居リマスル各省ノ力ニ於キマシテ、出來

ルダケ強大ヲ致シマシテモ、情勢上或ル部分ニ於テ、モット大キナ機關ヲ作ラナケレバナラヌト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、各省ノ持ッテ居リマスル施行機關ト、更ニ強力ナル機關ヲ作ルヤウナ場合モアルト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ大キナモノガ出來マシテモ、是ガ皆各省ヲ通ジテノ施行機關デアアルノデアリマス

○小川委員長 マダ長イデスカ

○猪野毛委員 モウ一寸デス

○小川委員長 ドウカ此空氣ヲモ能ク御認メ下サランコトヲ望ミマス

○猪野毛委員 私ノ疑問バカリデハナイ、能ク一ツ國民ニ諒解ヲサセナクテハナラス、デアリマスカラ、三分五分ノコトハ一ツ……今ノハ大體分リマシタガ、寧ロ私ハ軍需省ト云フヤウナモノニナレバ、此軍需省ノ長官ハ軍部ノ人ノ方ガ宜イト、簡單ニ私ハ感ズルノデアリマスガ、ドウデアリマセウカ、疑ヲ國民ニ持タセルコトヲ成ベク避ケネバナラヌカラ……

○杉山國務大臣 最モ適任ノ人ガソレニ就ク方ガ宜シイト思ヒマス

○篠原委員 議事進行ニ付テ——質問者ノ總通告數ハ三十八名ニ及ンデ居リマス、今マデ濟ンデ居リマスノガ十七名デアリマス、

尙ホアト二十一名ノ質問者ガアリマスノ

ダト思フ

デ、ドウゾ各派ノ打合濟ミデアリマスカラ、

○小川委員長 一寸申上ゲマスガ、外ノ方

委員長ニ於テ相當質問ヲ調整サレンコトヲ

モ皆サウ云フ質問シタイ箇條ガ澤山アルノ

希望致シマス

デアリマスガ、皆自制サレテ居リマスカラ、

○小川委員長

注意ヲシテ居リマスガ、其

其邊ハ猪野毛君ニモ能ク御分リノコトト私

注意ヲ御聞キアランコトヲ望ミマス

ハ思ヒマス

○猪野毛委員

大體能ク分リマシタガ、陸

○猪野毛委員 サウ云フ次第ナラバ、私ハ

軍大臣ノハ一時保留致シテ置キマス、大體

一時遠慮ヲ致シテ置キマス

ハ濟ンダト云フ意味ニ於テ保留致シテ置キ

○濱田委員 マダヤレスコトハアリマセヌ

マス、尙ホ文部大臣、厚生大臣、内務大臣

ケレドモ、十時モ過ギマシタノデ、此邊デ

ニモ殘ッテ居リマスガ、厚生大臣、文部大臣

散會セラレテハ如何デスカ

ハ居ラレマスガ、時間ガ餘リナイヤウデア

○三田村委員 只今篠原理事カラ議事進行

リマスガ、ドウ致シマセウカ

ノ發言ガアリマシタノデ、ソレニ一言加ヘ

○小川委員長

今議事進行デモ御聞キニナッ

テ申上ゲタイト思ヒマス、本會議ヲ通ジテ

タ通りデアリマスカラ、外ノ方カラモ又不

既ニ此委員會ガ開會サレルコト十數日ニ

服ガ出マスカラ、ドウカ御自制アランコト

及ンデ居リマス、其間先輩ノ各委員カラ熱

ヲ望ミマス

心ナ質疑應答ガ繰返サレタノデアリマス、

○猪野毛委員 マダ文教ニ付テ重大ナコト

此委員會ノ席デ伺ッテ居リマスルト、大概憲

ガアリマスシ、又國民ノ體位ニ付テ隨分大

法論ニ終始シテ居ラレルヤウデアリマス、

切ナコトガ殘ッテ居リマスガ、皆サンガドウ

ドウモ大政黨ヲ結成サレテ居ラレル方々

デモ宜イ、大雜把ニ進メト云フノナラ、私

ハ、其代表者ニ依ッテ、所謂大局ノ問題、總

ハ止メテモ宜シウゴザイマスガ、其ヤウニ

括的ナ問題ハ審議シ盡サレテ居ルヤウニ思

無暗ニ進行シナクテハナラヌ譯ガアリマセ

ハレルノデアリマス、私ハ此委員ノ席ヲ汚

ウカ、成程議事ハ進行シナクテハナリマセ

シテ居リマスル一人ト致シマシテ、從來

ヌケレドモ、少クトモ此案ニ付テ議員ダケ

ノ法案審議ノ經過ニ鑑ミマシテモ、衆議

デモ諒解サセルト云フコトガ、非常ニ大切

院ニ於ケル法案ノ審議ハ最モ重大ダト思

ヒマス、ソレハ委員會ニ於ケル政府當局ノ

○小川委員長 マダヤリマス、御疲レノ方

説明ハ、此法ノ運用上或ル程度有權的ナ解

ハドン／＼御歸リ下サイ

釋ヲ持ツモノデアリマス、法案成立ノ後ニ

○今井委員 咽喉ヲ痛メテ居リマスカラ、

於ケル運用上大切ナ參考ニナルノデアリマ

席ヲ變ヘルコトヲ御許シテ願ヒマス——私

ス、其意味カラ、此委員會ニ於ケル質疑應

ハ枝葉末節ニ互リマス質問ハ差控ヘマシテ、

答ヲ考ヘテ見マスルト、遺憾ナガラ法案ノ

此場合本案ノ根本精神ニ付テ軍部大臣竝ニ

内容其モノニ關スル質疑應答ハ全ク皆無デ

政黨出身ノ中島國務大臣ニ御尋致シタイト

アッタト言フテモ宜イ位デアッタ、少シ言葉

思ヒマス、質問ニ入ルニ先ダッテ一言本案

ガ強イカモ分リマセヌガ、少クトモ此總動

ニ對スル政府ノ態度ニ付テ所見ヲ述ベテ見

員法成立ノ後ニ於ケル運用上ノ參考トナル

タイト思ヒマス、私ガ申上ゲル迄モナク、

ベキ質疑應答ハ、サウ澤山行ハレテ居ナイ

ト思ヒマス、私ハ各委員諸君カラ最重要法

案トサレテ居リマスル國家總動員法案ノ審

要法案デアルコトハ申上ゲル迄モナイノデ

議ニ當リマシテハ、當局者ガ之ヲ運用スル

アリマスガ、斯ノ如キ重大ナル法案ヲ議會

上ニ於テ、又其適用ヲ受ケル國民ノ側カラ

ニ提出シテ、其協賛ヲ求メラレル政府ノ態

シマシテモ、十分ニ理解シ得ル程度マデ、

度ハ、當初カラ輕率ノ憾ミガアリ、嚴肅ヲ

法案其モノノ内容ニ立至ッテ審議シタイト

缺キ、眞劍ヲ缺キ、熱意ヲ缺イテ居ルト云

思フノデアリマス、ソレガ此委員會ノ權威

フコトニ付テハ、殆ド衆口一致ノ狀態デア

デアラネバナラスト思フノデアリマス、隨

リマス、此點ニ付テハ私モ甚ダ遺憾デアリ

テマダ二十何名モ殘ッテ居ルト云フ話デア

マスガ、其分野ニ於テ、大局カラモウ既

ニ言ハレタ方々ハ、内容ニ互ッテ十分ナル

審議ヲ進メラレンコトヲ希望致シマス

〔贊成「ト呼フ者アリ」〕

シテ、政府ガ此法案ヲ議會ヘ提出サレマシ

○小川委員長 今井君ニ質問ヲ御願シマス

タ以上、政府ハ堂々ト其所信ヲ力強ク議會

〔マダヤルンデスカ「ト呼フ者アリ」〕

ニ表明セラレマシテ、勇往邁進スベキデア

ハ動トモスルト、豫算案又ハ法律案ノ議會ヲ

無事ニ通過スルコトノミニ汲々トシテ、言

ルト私ハ信ジマス（「ヒヤ／＼」從來ノ政府

ハ動トモスルト、豫算案又ハ法律案ノ議會ヲ

無事ニ通過スルコトノミニ汲々トシテ、言

ハ動トモスルト、豫算案又ハ法律案ノ議會ヲ

フベキコトモ言ヒ得ズ、行フベキコトモ行ヒ得ズ、恰モ政府ノ國務大臣ヤ委員ノ議會ニ於ケル言説態度ハ全ク戦々兢々トシテ薄氷ヲ履ム如キ感ガアツタコトハ、甚ダ痛嘆ノ至リニ堪ヘナイ次第デアリマス、併シ斯ノ如キ卑屈ナル政府ノ態度ハ、近衛内閣ニ於テハ斷ジテアツテハナラスト思フ、ドウカ本案ノ審議ニ際シテハ、政府ハ信念ニ立脚シテ何處マデモ勇往邁進シテ戴キタイ、此希望ヲ一言質問ニ先ダツテ申述ベテ置キマス

總理大臣、司法大臣、内務大臣等ニ對ス

ル質問ハ、御見エニナリマセヌカラ、保留致スコトヲ御許シ願ヒマシテ、先ヅ政黨出身ノ中島國務大臣ガ御見エデゴザイマスカラ御尋致シマス、政黨側ノ委員ノ方ノ御説ヲ伺ツテ居リマス、此國家總動員法案ハ、軍部ノ大臣ダケガ非常ニ熱意ガアルケレドモ、他ノ閣僚ハ餘リ熱意ガナイ、斯ウ云フヤウナ御意見ヲ伺ツテ居リマスガ、苟モ廟議一決シテ議會ニ協賛ヲ求メラレル法案ニ對シテ、軍部ノミガ熱心デ、他ノ閣僚ガ不熱心デアルト云フヤウナコトハ、斷ジテ私ハアツテナラスト思フ、然ルニサウ云フ考ヲ懷ク者ガ非常ニ多イ、私ハ殊ニ政黨出身ノ中島國務大臣ハ、自己ノ責任ヨリスルモ、本案ニ對シテ絶對ニ其必要ナル所以ヲ議會ニ向ッ

テ力強ク表明シナケレバナラス責任ガアリハシナイカト思ヒマス、本案ニ對スル國務大臣ノ信念所信ヲ此機會ニ承リタイト存ジマス

○中島國務大臣 御答致シマス、本案ニ對シテ軍部大臣ノミガ熱意ガアツテ、其他ノ大臣ハ熱意ガナイト云フ噂ガアルト云フ御話デアリマシタガ、熱意ノ點ニ於テ決シテ輕重ノアル筈ハアリマセヌ、私ハ本案ニ對シテハ何人ニモ劣ラス熱意ヲ以テ其通過ヲ望ンデ居ル者デアリマス

○今井委員 只今中島國務大臣ノ極メテ明快ナル答辯ヲ得マシテ私ハ満足致シマス、重ネテ御尋致シマス、若シ本案ガ不成立ニ終ツタ場合、國防上萬全ヲ期シ難イト云フ御考ヲ御持チニナツテ居リマスカ

○中島國務大臣 此委員會ニ於ケル委員諸君ノ熱心ナル御論議ヲ拜聴致シテ居リマスルガ、此熱心ナル論議ハ、ヤハリ委員諸君ガ國家ヲ思フ熱情カラ出テ居ルノデアツテ、私ハ現在ノ所此案ガ通過シナイヤウナコトハ萬一ニモナイト云フコトヲ確信致シテ居リマス

○今井委員 勿論御承知デモアリマセウガ、先月ノ二十四日ニ本案ガ本會議ニ上程セラレマシタ際、政黨代表者ノ演説ヲ拜聴致シ

テ居リマス、政友會、民政黨共、本案ハ正ニ大權ノ干犯デアルト斷定セラレテ居リマス、若シ言フガ如ク本案ガ大權干犯デアリトスルナラバ、爾餘ニ於テ枝葉末節ノ質問ヲスル迄モナイト私自身ハ考ヘテ居リマス、政黨ノ代表者ノ演説ハ、本案ヲ大權ノ干犯ナリト斷ジテ居ル、中島國務大臣ハ、本案ガ大權ノ干犯デアルト云フ此政黨代表ノ意見ニ對シテ、如何ナル御考ヲ御持チデアリマスカ

○中島國務大臣 議員ハ國民全體ヲ代表シテ居ラレル方々デアリマスルカラ、此重要ナル法案ニ對シテハ、國民ノ誤解ヲ避クルト云フコトニ重大ナル責任ガアル、其意味ニ於テ色々ノ角度カラ此法案ニ對シテ論議ヲシ、ソレニ對シテ政府ノ適當ナル答辯ヲ得テ、國民ノ誤解ヲ一掃シヨウト云フ熱意カラ出タモノデアラウト考ヘルノデアリマス、而シテ本案ガ大權干犯デアルカナイカト云フコトニ付キマシテハ、絶對ニ大權ノ干犯ニアラズト云フコトヲハッキリ申上ゲマス

○今井委員 政黨ノ代表者ハ本案ヲ大權干犯ナリト斷ジ……(斷定シテ居ナイ)ト呼フ者アリ(斷定致シテ居リマス)(ソナナ質問ハナイ)ト呼フ者アリ(質問デアアル、何ヲ

云フカ、斷定デナイト云フナラバ、此處ニ速記録ガアルカラ御覽ナサイ、二月二十四日ノ本會議ニ牧野委員ハ「此立法ハ正ニ大權ノ干犯デアリマス」ト速記録ニアリマス、ソレカラ二月二十五日民政黨ノ池田議員ハ「私共ハ牧野君、齋藤氏ト同ジク、大權ノ干犯ナリト云フコトニ何ノ疑ガアリマセウト思ツテ居ルノデゴザイマス」ト斷定シテ居リマス、只今之ニ對シテハ中島國務大臣ガ、斷ジテ大權ノ干犯デナイト云フコトヲ言明セラレマシタ、私ハ國務大臣ノ意思ヲ能ク諒承致シマシタカラ、此點ハ満足致シマス

尙ホ伺ヒタイコトモアリマスガ、時間ノ關係ガアリマスカラ、軍部大臣ニ伺ヒタイト思ヒマス、只今御聴キノヤウナ次第デ、本案ニ對スル大權干犯論モアリマスガ、勿論軍部大臣ハ御尋スル迄モナク、本案ガ斷ジテ大權干犯ニアラズト云フ固イ信念ヲ御持チノコトト思ヒマスカラ、私ハ其點ハ御尋致シマセヌガ、畏クモ軍人ニ賜リマシタル御勅諭ニ「一、軍人ハ忠節ヲ盡スヲ本分トスヘシ」ト云フ御訓ヘガアルト私ハ記憶致シマス、日本國民トシテ何人ト雖モ、軍人ナラズトモ 天皇陛下ニ忠節ヲ捧ゲナイヤウナ非國民ハアル筈ガナイト云フコトハ勿論デアリ

マスケレドモ、特ニ軍人ハ忠節ヲ本分トシ、

忠節ヲ生命トシテ生キナケレバナラス、軍

部國務大臣ハ此點ニ付テ、身ヲ以テ範ヲ部

下ニ垂レナケレバナラス立場ニ在ルノデハ

ナイカト思ヒマス、ソコデ本案ニ對スル大

權干犯ニ付テハ、今申上ゲタヤウナ譯デ申シ

マセヌガ、二十五日ノ政黨代表ノ質問ニ斯

ウ云フコトガアル、「斯ノ如キ違憲ノ法、サ

ウシテ我國ノ國體ニ反スルヤウナ法案ヲ、

強ヒテ協賛セヨト仰セラレテモ、吾々ハ斷

ジテサル不臣ノ法案ニ協賛シ」不臣デス、「不

臣ノ法案ニ協賛シ不臣ノ罪ヲ犯スコトハ

出來マセヌ」斯ウ言ハレテ居ル、政黨代表者

ノ演說デアル、一體不臣ト云フ言葉ハ私ガ

言フ迄モナク、一言ニシテ申セバ忠節ノ反

對ノコトドラウト私ハ解釋シマスガ、此點

如何様ニ御解釋ニナッテ居リマスカ、伺ヒタ

ウゴザイマス、軍部大臣ノドチラデモ宜シ

ウゴザイマス

○杉山國務大臣 不臣ト云フコト、ソレ

ハ恐ラクサウ云フ意見ヲ述ベラレタ議員

ハ、言葉ノ使ヒ方ニ於テ氣持ガ進ミ過ギテ

サウ云フ言葉ガ出タノデアッテ、本當ニサウ

云フ心持ヲ持ッテ居ルノデハナイト私ハ感

ジテ居リマス

アナタノ御氣持ハ私ニ分ルノデアリマス、

アリマススケレドモ、答辯トシテハ實ニ苦シ

イ答辯ダト思フ、若シ言フガ如ク本案ガ國

體ニ反スル不臣ノ法案デアリ、本案ニ協賛

スルコトガ日本國民トシテ不臣ノ罪ヲ犯ス

コトデアルト言フナラバ、斯様ナ不臣ノ法

案ヲ立案シテ、サウシテ議會ヘ提出シタコ

トハ、陸軍大臣モ海軍大臣モ既ニ不臣ノ罪

ヲ犯シテ居ルト云フコトニナル、私ハ斯様

ナ事ヲアナタ方ガ「議員ノ意見ヂヤナイ

カ」ト呼フ者アリ「勿論意見デアリマスケレ

ドモ、言論ハ自由ダケレドモ、絶對ト云フ

モノデハナイ、自ラソコニ限度ガナケレバ

ナラス、「各議院ニ於テ無禮ノ語ヲ用キル

コトヲ得ス」ト云フコトガ議院法ニアリマ

スケレドモ、斯様ナコトハ無禮ナント云フ

問題デハナイ、無禮ヨリモット「超越シ

タ洵ニ由々シイ用語ドラウト思フ、不謹慎

ト思ヒマセヌカ、國務大臣ハ各議院ニ於テ

議場ノ秩序ヲ紊ル者アル時ニハ議長ニ對シ

テ注意ヲ喚起スルコトヲ得ト云フ法文モア

リマススケレドモ、其紊亂トハ形ノ上ダケノ

紊亂デハナイト思フ、言語ノ上、用語ノ上

ニ於テモ、紊亂ト云フコトハ廣義ニ解釋ス

ベキモノダト思フ、然ルニ斯様ナ言論ガ議

ズ、閣僚寂トシテ聲ナキ有様デアッタ、私ハ

實ニ閣僚ノ信念ヲ疑フ、陸軍大臣ハ先日自

分ノ部下ガ委員會ニ於テ、不用意ノコトヲ

言ッタ其爲ニ、態々翌日ノ委員會デ、遺憾

ノ意ヲ表明シタ、私ハ遺憾ノ意ヲアナタガ

表明シタコトハ適當ノ處置ト思ヒマスルケ

レドモ、如何ニ議員ノ言論ガ自由デアルト

シテモ、斯ウ云フコトニ對シテアナタ方ハ

之ヲ意見ノ相違トシテ、熱心ノ餘リ行過ギ

タ言葉デアルト思フト云フヤウナ態度デ、

晏如トシテ、ソレデ國務大臣ノ職責ニ缺ク

ル所ナキヤ、缺クル所ガナイト云フナラバ

私ハソレデモ宜イ、如何デス、此議員ノ用

語ニ對シテ、不謹慎ト思ヒマセヌカ、思

ヒマスカ、ソレダケハッカリ言ッテ載キマス

○杉山國務大臣 其言葉ニ付キマシテハ、

私ハ議場ニ於テハ、往々ニシテ議員諸君ニ

於テ斯ノ如キ狀態ニアルコトハ屢、アルト思

フノデアリマス、言葉ニ於テハ隠カナイ

ト私モ考ヘテ居リマスガ、其議場ノ心理ト

云フ方面カラ考ヘマシタナラバ、尙ホ恕ス

ル所ガアルト考ヘテ居リマス

○今井委員 只今陸軍大臣ノ御答辯モ私尙

ホ満足出來ナイノデアリマスガ、此點ハソ

レ以上私御尋致サナイコトニ致シマス（猪

途中デアリマス

○小川委員長 一段落付キマシタラ議事進

行ヲ御許シ致シマス——今井君ハ今ノ問題

ニ關聯シテデスカ

〔委員ニ諮ッテ下サイ〕ト呼ヒ其他發言

スル者アリ

○今井委員 今ノ問題ニ無論續イテ居リマ

ス、斯様ナ御意見モ政黨側ニアルシ、少ク

トモ本案ガ大權干犯デアルト云フ認識ヲ改

メザル限り、私ハ本案ノ前途ト云フモノハ

極メテ暗澹タルモノデアルト思フ、中島國

務大臣ハ本案ニ對シテ必ズ御協賛ヲ得ルモ

ノト確信スルト云フ先程御意見ガアリマシ

タガ、私ノ見ル所ヲ以テスレバ、本會議立

ニ委員會ノ空氣ヲ以テスレバ、本案ノ前途

ハ洵ニ暗澹タルモノト思ヒマススケレドモ、

假ニ此法案ガ不成立ニ終ッタ場合、國防上ノ

責任ヲ軍部大臣ハ負ヒ得ルカドウカ、負ヘ

ルカ負ヘヌカ、之ヲハッカリ御答ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス

○杉山國務大臣 國防ノ責任ヲ盡ス爲ニ十

分デナイト思ヒマス

○今井委員 私ノ軍部大臣ニ對スル質問ハ

是デ終リマス

○猪野毛委員 今井君ガ止メラレ、バソレ

リマシテ雙方トモ其信念ノ程ハ分リマシタガ、十時過ギルト皆血ガ頭ニ上リ過ギマスカラ、冷靜ニシテ又改メテ明日カラ掛ツタ方が却テ結果ガ好カラウト思ヒマス

○川崎委員 私續イテ發言ヲ求メマス、是ハ敢テ今井君ノ御質問ニ付テ兎角ノ異議ヲ挾ムノデハアリマセヌ、又之ニ對スル國務大臣ノ答辯ニ對シテ私ハ敢テ何トモ申上デマセヌ、唯此際私ハ委員會ニ於ケル吾々議員ノ言論ニ付キマシテハ、憲法ニ於テ保障サレテ居ルノデアリマス、ソレデ苟モ此議員ノ院內ニ於ケル發言ガ若シ國民ノ指彈ヲ招クトカ、世間カラ非難ヲ仰グト云フコトニナレバ、ソレハ別トシテ吾々ハオオニ院內ニ於テハ議員ノ權能ハ權能トシテ尊重シ合ハナケレバナラヌ、隨テ私達ノ院內ニ於ケル發言ニ付キマシテハ假令閣僚諸公ト雖モソレニ對シテ批判ヲサレタクナイト思ヒマス、其點閣僚諸公ニ於テモ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、而シテ議員同志ニ於テモ此委員會ニ於テ——正式ニ此委員會ナリ議場ニ於テ、若シ不滿ガアリ、若シ咎メル事ガアルナラバ、宜シク懲罰委員ナリ其他成規ノ手續ヲ御執リナサイ、ソレ以外ニ卑怯ナ方法デ、外ノ事ニ託ケテ御互ヒ同志サウ云フコトヲ言フコトハ好ミマセヌカラ、此一

言ヲ委員長ヲ通ジテ今井君ニ呈シタイ同時ニ閣僚諸公モ吾々ガ委員會ニ於テ權能ヲ以テ發言シテ居ルコトニ付テハ之ニ對シテ批判サレタクナイト云フコトヲ、是モ委員長ヲ通ジテ閣僚ニ御傳ヘ願ヒタイ

○西岡委員 散會ニ當リマシテ簡單ニ議事進行ニ付テ、先程篠原委員カラ議事進行デ申シマシタヤウニ、二十人ノ質問者ガ殘ッテ居ル、然ルニ政府ニ取リマシテモ是非非常ナ重要ナル法案デアリマス、大臣ニ事故アル方モアルデアリマセウガ、大臣ニ事故ガアルト致シマシタナラバ、ナゼ政務官ナリ何ナリ出席シテ居ラナイ先程川崎委員ノ質問ハ必シモ大臣デナクテモ答辯ハ出來ル筈デアル、私ハ茲ニ猪野毛君ノ質問ニシマシテモ、其他ノ議員諸君ノ質問ニシマシテモ、轉々トシテ行クノハ、要求致ス所ノ大臣竝ニ政府委員ガ出席ナイカラデアル、ドウカ一ツモット熱意ヲ持ッテ戴キタイ、大臣ガ御出席ナイ場合ハ、政務官ナリ他ノ政府委員ガ出席サレテ、責任ヲ以テ、所謂内閣一致、以テ此重大ナル法案ニ對シマシテハ、吾々ノ納得ノ行ダケノ御説明ガナケレバナラナイ、吾々ハ熱心ニ、眞劍ニ此議案ニ對シマシテ審議ヲ求メ質疑ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ世上ニハ如何ニモ議案

ノ遲延致シテ居ルノガ、吾々委員ニ責任アルガ如ク新聞紙ナドニモ偶、見エル、苟モ吾々ハ此議案ニ對シマシテハ本當ニ前述ベマシタヤウナ氣持ヲ以テ臨ンデ居ルノデアリマス、此國家總動員法案ニ關スル限り、吾々委員ハ熱烈ナル決意ト誠意ヲ以テ此質疑ニ臨ンデ居ル、斷ジテ怠慢ナドト云フヤウナコトハナイト云フコトヲ私ハハッキリ申シテ置キマス、委員長ヲ通ジテ政府ニ強イ注意ヲ私ハ喚起致シテ置キマス

○小川委員長 是ニテ散會シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後十時三十分散會

昭和十三年三月十三日印刷

昭和十三年三月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局